

# 花里小学校校舎トイレ改修工事

図番	図 名	縮尺	図番	図 名	縮尺	図番	図 名	縮尺
A20/01	特記仕様書 1	－	A20/17	パワーアップ教室 天井伏図	1/50	M15/01	機械設備工事特記仕様書ー 1	－
A20/02	特記仕様書 2	－	A20/18	建具配置図	1/50	M15/02	機械設備工事特記仕様書ー 2	－
A20/03の1	配置図	1/100	A20/19	建具図 1	1/50	M15/03	機械設備工事特記仕様書ー 3	－
A20/03の2	1 階平面図	1/100	A20/20	建具図 2	1/50	M15/04	機械設備工事特記仕様書ー 4	－
A20/03の3	2 階平面図	1/100				M15/05	空調機器一覧表・衛生器具一覧表	－
A20/03の4	3 ・ 4 階平面図	1/100	E09/01	電気設備工事仕様書	－	M15/06	管理普通教室棟 職員トイレ 空調平面図	1/50
A20/03の5	仮設計画図	1/100	E09/02	盤類結線図・照明器具一覧表	－	M15/07	管理普通教室棟 職員トイレ 衛生平面図	1/50
A20/04	仕上表	－	E09/03	管理普通教室棟 1階職員トイレ 電気設備改修図	1/100	M15/08	管理普通教室棟トイレ 空調 1 ・ 2 ・ 3 階平面図	1/50
A20/05	職員トイレ 平面詳細図	1/50	E09/04	管理普通教室棟 1 階トイレ 電気設備改修図	1/100	M15/09	管理普通教室棟トイレ 衛生 1 階平面図	1/50
A20/06	職員トイレ 展開図 1	1/50	E09/05	管理普通教室棟 2 階トイレ 電気設備改修図	1/100	M15/10	管理普通教室棟トイレ 衛生 2 ・ 3 階平面図	1/50
A20/07	職員トイレ 展開図 2	1/50	E09/06	管理普通教室棟 3 階トイレ 電気設備改修図	1/100	M15/11	特別教室棟トイレ 空調 1 階平面図	1/50
A20/08	普通教室棟トイレ 平面詳細図	1/50	E09/07	特別教室棟 1 階トイレ 電気設備改修図	1/100	M15/12	特別教室棟トイレ 衛生 1 階平面図	1/50
A20/09	普通教室棟トイレ 展開図 1	1/50	E09/08	特別教室棟 2 階トイレ 電気設備改修図	1/100	M15/13	特別教室棟トイレ 空調 2 階平面図	1/50
A20/10	普通教室棟トイレ 展開図 2	1/50	E09/09	特別教室棟 3 階トイレ 電気設備改修図	1/100	M15/14	特別教室棟トイレ 空調 3 階平面図	1/50
A20/11	特別教室棟トイレ 平面詳細図	1/50				M15/15	特別教室棟トイレ 衛生 3 階平面図	1/50
A20/12	特別教室棟トイレ 展開図 1	1/50						
A20/13	特別教室棟トイレ 展開図 2	1/50						
A20/14	職員トイレ 天井伏図	1/50						
A20/15	普通教室棟トイレ 天井伏図	1/50						
A20/16	特別教室棟トイレ 天井伏図	1/50						

設計室 A L L 株式会社

特記仕様書

工事概要

工事名称

工事場所

区域区分

構造、規模

別途工事

花里小学校校舎トイレ改修工事

岐阜県高山市花里町 地内

都市計画：区域内 用途地域：第2種住居地域

鉄筋コンクリート造

有り

1. 一般共通事項

① 適用範囲

② 設計図書順位

③ 質疑

④ 提出書類

⑤ 工事現場管理

⑥ 工事公害

⑦ 下請契約及び使用資材について

⑧ 規格・材料選定

⑨ 工事着手前協議

⑩ 実施状況の提出について

⑪ 電子メールの利用

⑫ 重点監督対象工事

⑬ 諸官庁手続き

⑭ 発生材の処理

⑮ ディーゼルエンジン車両の適正燃料の使用について

⑯ 工事実績情報の登録

⑰ 登録・保険

⑱ 電気保安技術者

⑲ 施工の検査等

⑳ 現地確認、建物配置

㉑ 障害物の処理

㉒ 軽微な変更等

設計図書にJIS（日本工業規格）などのマーク表示品と指定された材料及び機器は、それぞれのマーク表示のあるもの又は規格証明書の添付されたものとする。  
設計図書に記載のある品番等は全て参考品番であり、本工事に使用する材料の採用に際しては、これらと同等のものとする。  
同等品の採用に際しては監督員の承諾を受けること。  
  
1）本工事の受注者は、契約後1～2週間以内に設計書内容等について、監督員と工事着手前協議行うこと。  
2）協議に当たっては、別に定める「施工打ち合わせ記録簿」に協議事項を記入し、打ち合わせに持参すること。なお、協議日の設定については、受注者側が事前に監督員と連絡をとり設定しておくこと。  
3）協議に当たって、発注者側は監督員及び担当係長又は課長、受注者側は現場代理人及び主任技術者が出席するものとする。  
4）協議時、「施工打ち合わせ記録簿」の回答（その他）欄は監督員が記入し、最後に確認を行い監督員・担当係長又は課長の確認印を押印し、写しを現場代理人（主任技術者）が受け取ること。  
  
受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は地域社会への貢献として評価出来る項目として、工事完了までに所定の様式により提出することが出来る。  
  
「電子メールを活用した情報共有における運用指針」による他、工事着手前協議時に監督員と協議の上、決定するものとする。  
  
当該工事が高山市重点監督対象工事となった場合は、その取り扱いによるものとする  
  
工事に必要な申請、届出等の諸手続き及びその費用は請負者にて行うこと。  
  
引渡しを要するものは監督員の指定する場所に整理しリストを作成の上施設管理者へ引渡す。又、引渡しを要しないものは全て場外に搬出し下記の建設廃棄物の項、及び関係法令等に従い適正に処理する。  
処理については「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」「岐阜県廃棄物の適正処理に関する条例」「岐阜県建設廃棄物適正処理の三原則」の規定を遵守し適正に処理する。  
混合物の処理については管理型最終処分場に持込むものとする。  
  
建設リサイクル法の実施に係る岐阜県指針に基づき、工事着手前に再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を、又、工事完了後に同計画書の実施報告書を提出すること。（建設副産物情報交換システムCORISを利用すること。）  
・しない  
○ する  
工事に伴い発生する建設廃棄物のうち、次の物は再資源化施設へ搬出する。  
○コンクリート塊 ・アスファルト塊 ○建設発生木材 ・建設汚泥 ・石膏ボード 鉄骨、建具、ダクト、配管、機器等の金属類については積極的に再資源化を図る。  
  
・ディーゼルエンジンを動力とする車両にはJIS規格の軽油を使用すること。  
・ディーゼルエンジンを動力とする車両の燃料検査があった場合には協力すること。  
  
請負業者は、工事請負金額500万円以上の工事については工事実績情報の実績情報（CORINS）に契約後10日以内に登録すること。  
下請業者の選定に当たっては高山市入札参加資格停止の処置がされていないこと。  
  
建設工事保険の加入を行う。（完成期限後15日まで）加入を証する書面の写しを工事着手後14日以内に提出すること。  
  
○ 適用する ・ 適用しない  
  
○ 行う ・ 行わない  
  
○ 現地にて敷地状況、既存建築物等の状況を確認する。  
○ 建築物等の配置は、縄張りにて監督員立会いのうえ決定する。  
  
○ 地中埋設物の処理にあたっては、監督員・関係者の承認を受ける。  
○ 設計図書に記載がなく、工事に必要な仮設、撤去、移設、養生等が発生した場合は、監督員の指示のもとに速やかに対処すること。  
  
○ 現場の収まり、取り合い等の関係による協議の中で、形状寸法の軽微な変更は監督員の指示による。なお、この場合の負担金額の変更は行わない。

2. 仮設工事

① 監督員事務所

② 工事用電力・用水

3. 仮囲い・工事区画

4. 危険防止

⑤ 足場

⑥ 工事用進入路

3. 土工事

① 埋戻し及び盛土

② 残土処分

3. 建物周囲の整地

4. アスファルト舗装

5. U型側溝

4. 地業工事

1. 既製コンクリートくい

2. くい頭補強

3. くいの手継ぎ

4. 場所打ちコンクリート地業設計基準強度

⑤ 捨てコンクリート地業

⑥ 割石、玉石及び砂利地業

⑦ 防湿シート

⑧ 土間断熱

5. 鉄筋工事

① 異形鉄筋

2. 丸鋼

3. 溶接金網

④ 鉄筋の手継ぎ

⑤ 立合検査及び報告

6. コンクリート工事

① コンクリート

② 設計強度基準

③ レディミクストコンクリート

④ セメント

⑤ 混和材料

6. 軽量コンクリート

7. 無筋コンクリート

⑧ 打放し仕上げ

⑨ 型枠

⑩ 立合検査

7. タイル工事

① 陶磁器質タイル

② 汚垂タイル

8. 木工事

① 木材

2. 集成材

3. 防腐、防蟻処理

④ 断面寸法

⑤ 立合検査及び報告

⑥ 伝統的な技法

種別

使用箇所

※普通

基礎・土間・躯体

・簡易

・量中

・寒中

(F<sub>o</sub>)N・㎡

○ 18

・ 21

○ 24

(18N+3N~6N)  
(24N+3N~6N)

種別

※1類(○)標準品・特注品

・2類

種別

※普通ポルトランドセメント又は混合セメントA種

混和材

※AE剤及びAE減水剤及び高性能AE減水材とする

・その他

種別

・1種

・2種

調合

・A種

・B種

種別

・A種

○ B種

種別

(合板せき板)コンクリート型枠用合板

厚さ

○ 12

・ (mm)

工法

○ ボルト式

・ 番線式

強度試験

・ 受入時

形状

寸法

陶器質タイル

100x100

便所腰壁

TOTO ハイドロセラフロアPU薄型 奥行き600 同等品

工事名

花里小学校校舎トイレ改修工事

図名

特記仕様書1

縮尺

—

番号

A20 枚の内 01 号

設計年月日

令和 8 年 1 月

設計

設計室A.L.L株式会社

一級建築士 第206813号  
古垣内 克幸

高山市

原設計図【A2】

9. 屋根及びとい工事	
1. ガルバリウム鋼板 (滑雪タイプ)	屋根ふき形式 ・ 瓦棒葺 ・ 縦はぜ葺 厚さ 0.35 (mm)
2. 折 版 ふ き	種 類 ・ 重ね型 ・ はぜ締め型 厚さ 0.8 (mm)
3. スレート波板ぶき	種 類
4. と い	材 種 : カラーG L 鋼板製 t=0.35 軒 樋 : 角5型 受金物、補強金物@303 亜鉛メッキ 堅 樋 : φ75、金物

10. 左 官 工 事	
1. A L Cパネル用 特殊プラスター	種 別 ・ A種 ・ B種 塗り厚 ・ 3 ・ 5～7 (mm)
2. 仕 上 塗 材	種 別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 仕上げ : 洗い出し仕上
③ モルタル塗	工 法 普通モルタル：セメントはJIS規格品による普通ポルトランドセメント

11. 建 具 工 事	
1. アルミニウム製建具	種 別 ・ A種 ※ B種 ・ C種 気密性種類 ※ A－3 ・ A－4 水密性種類 ・ W－3 ※ W－4 ・ W－5 枠の見込寸法 ※ 70、80又は100 (mm)
2. 網 戸	適 用 ・ 合成樹脂製（・性能向上品） ・ ステンレス製
3. 鋼 製 建 具	鋼板厚さ ・ (mm)
4. 鋼製軽量建具	材 質 ・ 鋼板製 ・ ステンレス製 ・ アルミニウム合金
5. ステンレス製建具	曲げ加工 ・ 普通曲げ ・ 角出し曲げ
6. 自 動 扉	開閉方法 種別
⑦ 木 製 建 具	種 別 ○ A種 ・ B種 ・ C種  樹 種 表面材は見本提出により決定とする。 合 板 表面材及び下地材の合板のホルムアルデヒド放散等級はF☆☆☆☆以上とし、接着剤等についても十分注意し資材の選定行うこと。
⑧ 建 具 金 物 種 類	マスターキー ・ 有（組） ○ 無 モノロック レバーハンドル ヒンジローザー 本締り付き ドアクローザー 表示付き錠 シリンダー箱錠 ビボットヒンジ 丁番
⑨ ガ ラ ス	1) フロート板ガラス ② 型板ガラス 3) 網入板ガラス 4) 合せガラス 5) 強化ガラス 6) 熱線吸収板ガラス 7) 複層ガラス ガラス留め材 ※ シーリング ・ ガスケット
10. 重量シャッター	種 類 ・ 防火シャッター ・ 防煙シャッター ・ 開閉方式 ・ 上部電動式（手動併用） ・ 上部手動式
11. 軽量シャッター	開閉方式 ・ 手動式（錠付き） バランスシャッター
12. オーバーヘッドドア	セクション材料による種類 ・ スチール ・ アルミニウム ・ ファイバークラス 開閉機能による種類 ・ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式

12. 塗 装 工 事	F☆☆☆☆品使用
① 素地ごしらえ	木 部 ・ 木部の汚れ・付着物は面を傷つけないように除去し 油類は溶剤等で拭き取る。 ・ ヤニは削り取り又は電気ゴテ焼きのうえ、溶剤等で拭き取る。 ・ カンナ目、逆目、けば等は研磨紙P120～220を使用し研磨する。  せつこうボード及び その他ボード面 ・ 釘頭、タタキ跡、傷等はパテ処理のうえ、研磨紙P120～220を使用し研磨する。 ・ 石膏ボードの目地処理材はジョイントコンパウンドとし不陸を調整する。
2. さび止め塗料	鉄 面 ・ A種（屋外） ・ B種（屋内） 亜鉛メッキ面
③ 合成樹脂調合ペイント （SOP）	屋 外 ・ 1種 ・ 2種 屋 内 ・ 1種 ・ 2種 木 部 ・ A種 ※ B種 鉄 面 ・ A種 ・ B種 亜鉛メッキ面 ・ A種 ・ B種 木 部 ・ A種 ※ B種
4. クリヤラッカー （CL）	木 部 ・ A種 ・ B種 鉄 面 ・ A種 ・ B種 亜鉛メッキ面 ・ A種 ・ B種 コンクリート
5. フタル酸樹脂エナメル （FE）	モルタル面等 ・ A種 ・ B種 コンクリート
6. 塩化ビニル樹脂エナメル （VE）	ボード面等 ・ A種 ・ B種 コンクリート
7. アクリル樹脂エナメル （AEP）	ボード面等 ・ A種 ・ B種 コンクリート
8. つや有合成樹脂 エマルションペイント （G-E P）	ボード面等 ・ A種 ・ B種 コンクリート
⑨ 合成樹脂 エマルションペイント （EP）	ボード面等 ・ A種 ※ B種 木 部 ・ A種 ○ B種
⑩ ウレタン樹脂ワニス （UC）	木 部
11. 油性ステイン （OS）	・ キシラデコール同等品 木 部 ・ A種 ※ B種
12. 木材保護塗料 （WP）	モルタルのひび割れ補修は、シール工法とする。
⑬ その他	

13. 内 外 装 工 事		F☆☆☆☆品使用																	
<table><tr><th>材 種</th><th>色 柄</th><th>厚 さ (mm)</th><th>使用箇所</th></tr><tr><td>① ビニール床シート</td><td>・ 無地 ・ 柄有</td><td>・ 2. 5 ・ 3. 0 ・ 2. 0</td><td>手洗い、トイレ</td></tr><tr><td>2. ビニール床タイル</td><td>・ 無地 ・ 柄有</td><td>・ 2. 0 ・ 3. 0 ・</td><td></td></tr><tr><td>3. ビニル系床材</td><td>・ 無地 ・ 柄有</td><td>・ 1. 8 ・</td><td></td></tr></table>				材 種	色 柄	厚 さ (mm)	使用箇所	① ビニール床シート	・ 無地 ・ 柄有	・ 2. 5 ・ 3. 0 ・ 2. 0	手洗い、トイレ	2. ビニール床タイル	・ 無地 ・ 柄有	・ 2. 0 ・ 3. 0 ・		3. ビニル系床材	・ 無地 ・ 柄有	・ 1. 8 ・	
材 種	色 柄	厚 さ (mm)	使用箇所																
① ビニール床シート	・ 無地 ・ 柄有	・ 2. 5 ・ 3. 0 ・ 2. 0	手洗い、トイレ																
2. ビニール床タイル	・ 無地 ・ 柄有	・ 2. 0 ・ 3. 0 ・																	
3. ビニル系床材	・ 無地 ・ 柄有	・ 1. 8 ・																	
4. 合成樹脂塗り床		弾性ウレタン ・ 平滑仕上げ エポキシ樹脂 ・																	
⑤ 石膏ボードその他 ボード及び合板張り		石 膏 製 品 Vカット石膏ボード t=12.5・9.5  不 燃 製 品 ケイ酸カルシウム板 t=6 化粧ケイ酸カルシウム板 t=6																	
6. フローリング張り		工 法 ※ 乾式工法 ( ・ 釘どめ工法 ・ 接着工法) ・ 湿式工法 樹 種 ※ 表層：天然木 F☆☆☆☆ 厚 さ ※ 12 塗装品																	
7. 壁 紙 張 り		品 質 ※ ビニールクロス A A級 F☆☆☆☆																	
8. 畳 敷 き		種 別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種																	
9. カーベツト敷き		織じゅうたん ・ A種 ・ B種 ・ C種 タフテッドカーベツト ニードルパンチカーベツト タイルカーベツト ・ A種 ・ B種																	

10. 断 熱 材 F☆☆☆☆	
11. 外装サイディング	
14. 雑 工 事	
1. コーナービート	・ ステンレス製 ・
2. 階段滑り止め	・ ステンレス製 （ゴムクッション付） ・
3. 鏡	
4. 室 名 札	
5. 看 板	・ 材質：木製 ・ 寸法：幅300×高さ1000×厚25 ・ 文字：カット文字
6. フェンス	
7. 郵 便 受	
8. 錠 箱	
⑨ 天井点検口	○ アルミ600x600
10. セクショナルキッチン	
11. ユニットバス	
⑫ その他	面台 ポストフォーム W150
15. そ の 他	○ 建設年より、ボード類にはアスベスト含有が想定されるので、解体時は、アスベスト含有物として取り扱う。
① 施工時の注意事項	
② 技能士	
※適用する適用する技能士	
工事種目	技能士検定職種
仮設工事	とび
防水工事	防水施工 とび作業 ・ フォーム防水工事作業 ・ 外断熱防水工事作業 ・ 外断熱防水工事作業 ・ 合成樹脂防水工事作業 ・ 塩化ビニル防水工事作業 ・ 防水系防水工事作業 ・ 改質アスファルト防水工事作業 ・ F R P防水工事作業 ・ シーリング防水工事作業
外壁工事	建築板金 ・ 内外装板金作業 ・ スレート施工 ・ スレート工事作業 樹脂接着剤注入施工 ・ 樹脂接着剤注入工事作業
建具改修工事	左官 ・ 左官作業 タイル張り ・ タイル張り作業 サッシ施工 ・ ビル用サッシ施工作業 ガラス施工 ・ ガラス工事作業 自動ドア施工 ・ 自動ドア施工作業
内装工事	建築大工 ・ 大工工事作業 内装仕上施工 ・ 鋼製下地工事作業 建築板金 ・ 内外装板金作業 ・ フラット系床仕上げ工事作業 ・ カベツト系床仕上げ工事作業 ・ ボード仕上工事作業 ・ 壁装作業 左官 ・ 左官作業 タイル張り ・ タイル張り作業 塗装 ・ 塗装作業 躯体工事 鉄筋施工 ・ 鉄筋組立て作業 型枠施工 ・ 型枠工事作業 コンクリート圧送施工 ・ コンクリート圧送工事作業 鉄工 ・ 構造物鉄工作業 とび ・ とび作業
環境配慮工事	配管 ・ 建築配管作業 路面表示施工 ・ 溶融・溶融・溶融・溶融工事作業 ・ 加熱・加熱・加熱・加熱工事作業 造園 ・ 造園工事作業

③ 工程表（参考）	※6月16日を着工とした場合									
場所・箇所/月	6月		7月		8月		9月		10月	
	1・2週	3・4週	1・2週	3・4週	1・2週	3・4週	1・2週	3・4週	1・2週	3・4週
職員トイレ 1階 1箇所	準備工				工事					
普通教室棟トイレ 1～3階 3箇所	準備工				工事				書類整備	
特別教室棟トイレ 1階・3階 2箇所	準備工				工事					
準備工 現地調査・施工図・仮設（外部）										
・ 上記工程により、普通教室棟トイレ又は特別教室棟トイレのどちらかは、夏休み明けに開放すること。 なお、部分使用については発注者と受注者との協議による。 ・ 夏休み期間（予定）：令和7年7月18日から8月24日 ・ 学校閉庁期間（予定）：令和7年8月7日から8月17日 開校時間外・休祭日・学校閉庁期間中の作業について、校舎内ではセキュリティ施設中のため、開錠について学校と事前に協議のうえ、対応すること。										
④ フレックス工期について	・ 本工事はフレックス工期による契約方式の試行工事であり、受注者は契約日から工事開始期限日までの期間で、任意の日を工事開始日とすることができる。この場合、契約日から工事開始日の前日までの期間は、主任技術者又は監理技術者、特例監理技術者、監理技術者補佐及び現場代理人を配置することを要しないものとする。 ・ 受注者は、フレックス工期を活用する場合は次のとおり実施するものとする。 ① 落札決定の通知後、契約締結日までの間で速やかに工事開始日を通知するものとする。 ② 積算にあたっては、契約日を起算日とした工期日数分を工事期間としており、受注者が施工時期を選択することにより生じる経費については、受注者の負担とする。 ③ 契約日から工事開始日の前日までの現場管理は、発注者の責任において行うこととし、受注者は資材の搬入や仮設物の設置等の行為をしてはならない。 ④ 受注時の「工事実績コンリズ登録」は、工事開始後に監督員の承認を受け、工事開始日から土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に登録機関に登録申請しなければならない。 なお、登録する技術者の従事機関は、実工期をもって登録するものとし、フレックス期間は含まないものとする。 ⑤ 「現場代理人・技術員」は経歴書を添付して工事開始後、速やかに提出しなければならない。 ⑥ 契約締結後に工事開始日を変更する必要がある場合には、速やかに発注者及び受注者で協議のうえ、工事開始日通知書の変更を提出し、変更契約を締結すること。 ⑦ 低入札価格調査等により、入札執行通知又は入札公告に記載の工事開始期限日以降に契約締結となった場合には、契約締結日を工事の始期とし、工事の終期は工事開始期限日から工期日数を確保した日とする。									

原設計図  
【A2】

工事名	花里小学校校舎トイレ改修工事		
図 名	特記仕様書 2		
縮 尺	—	番号	A20 枚の内 02 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 1 月		
設 計	設計室 A L L 株式会社	一級建築士 第206813号 古垣内 克幸	
高 山 市			

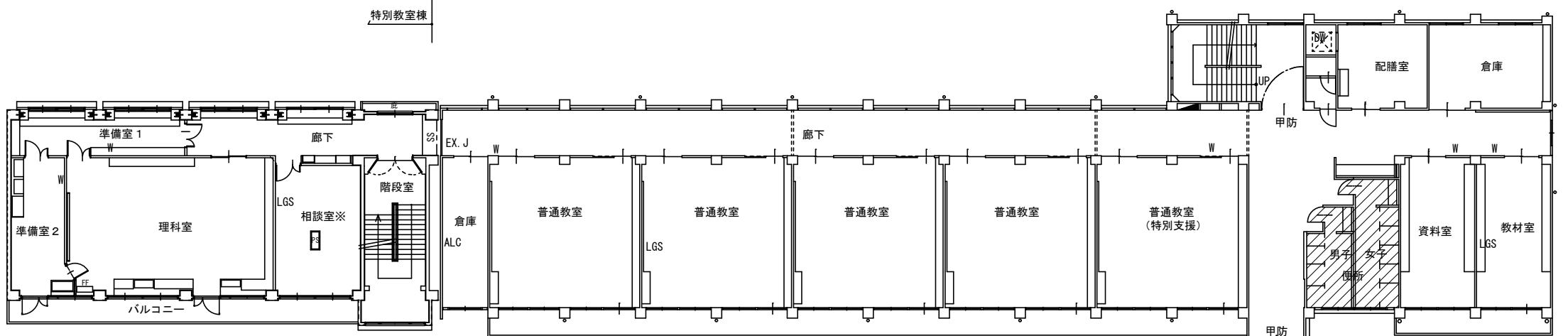
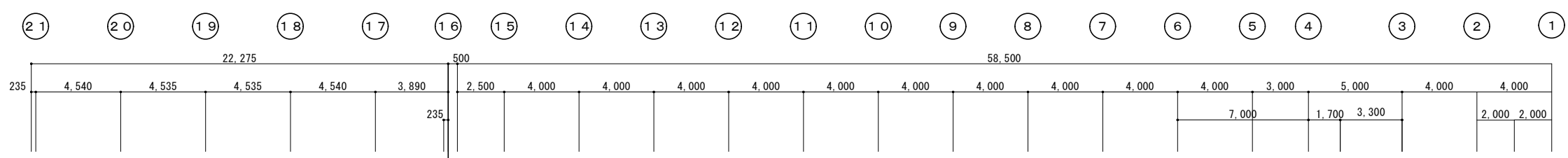
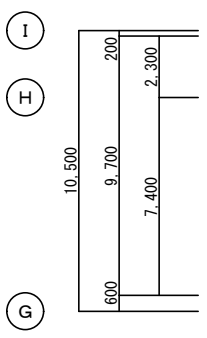
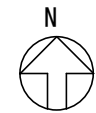


附近見取図

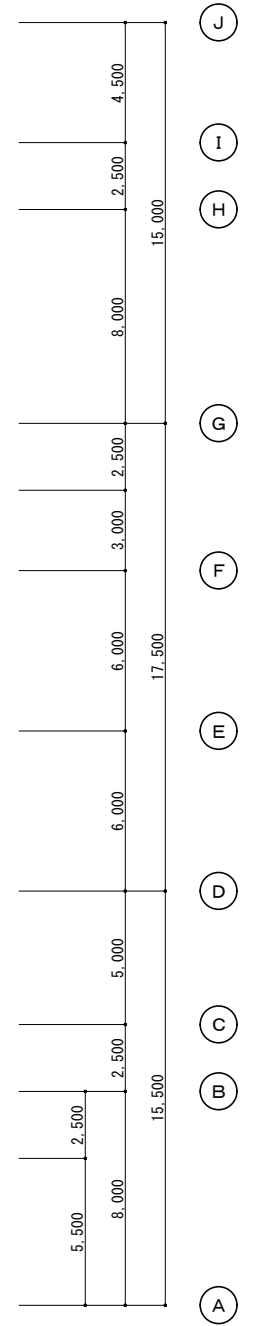
配置図 1/500

花里小学校校舎トイレ改修工事	SCALE 1/500	番号 A20枚の内 3号の1
(花里小) 附近見取図 配置図	完成 年 月 令和 8年 1月	高 山 市
設計 設計室ALL株式会社 一級建築士 第206813号 古垣内 克幸		

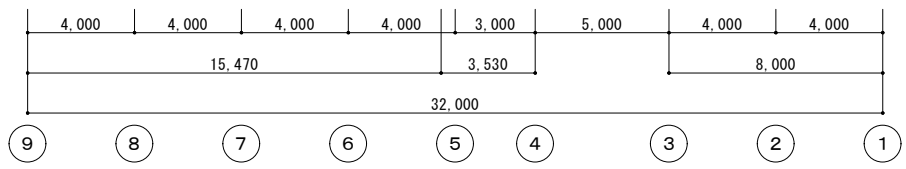




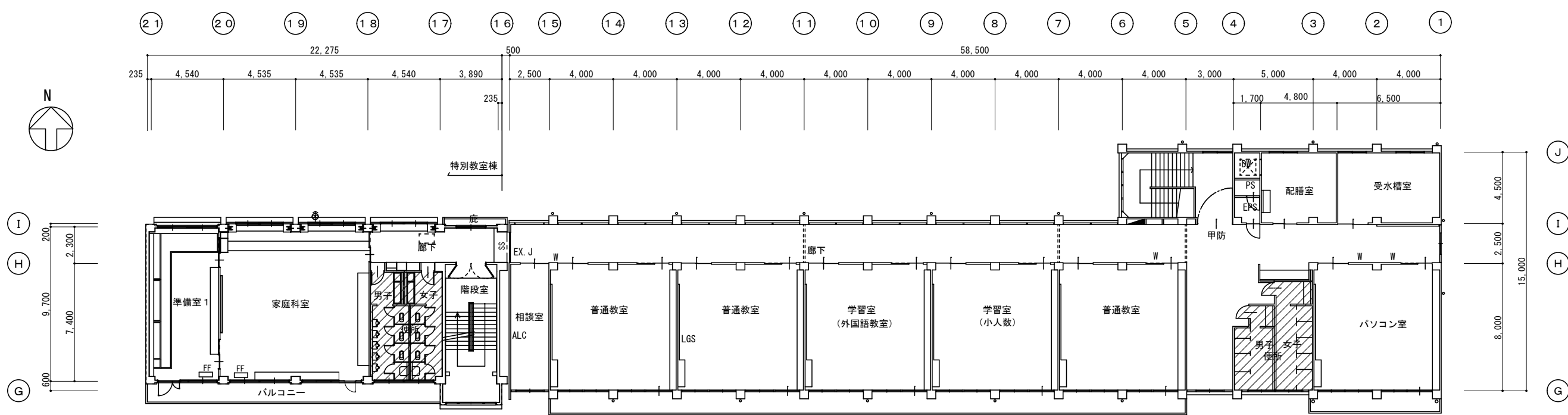
工事対象室  
※相談室は3階便所床下改修により、天井部分を施工



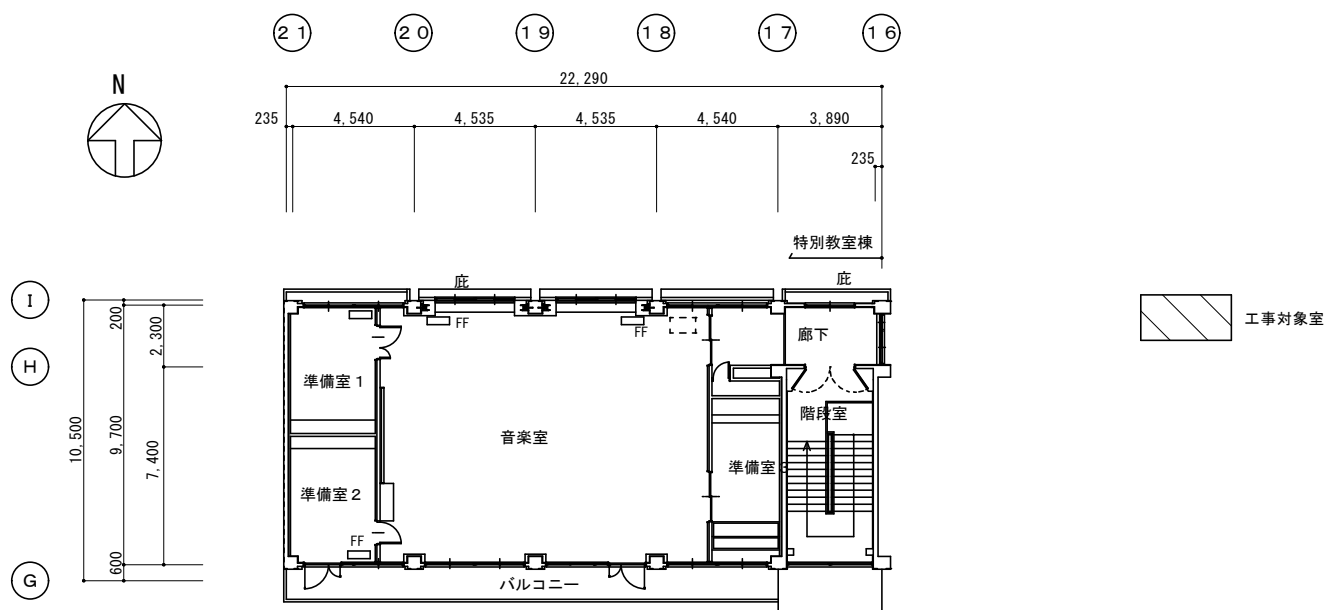
2階 平面図 1/200



花里小学校校舎トイレ改修工事		SCALE 1/200	番号 A20枚の内 3号の3
(花里小) 2階 平面図		完成 年 月 令和 8年 1月	
設計 設計室ALL株式会社	一級建築士 第206813号 古垣内 克幸		高 山 市

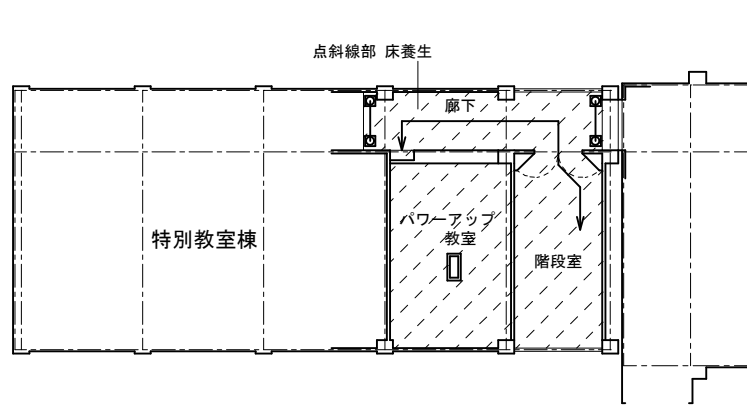


3階 平面図 1/200

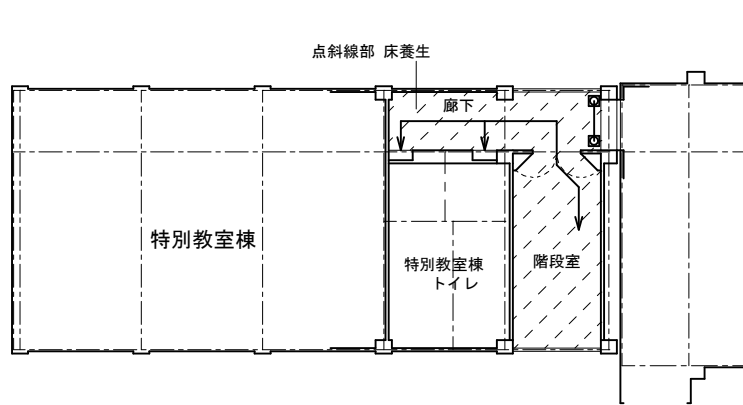


4階 平面図 1/200

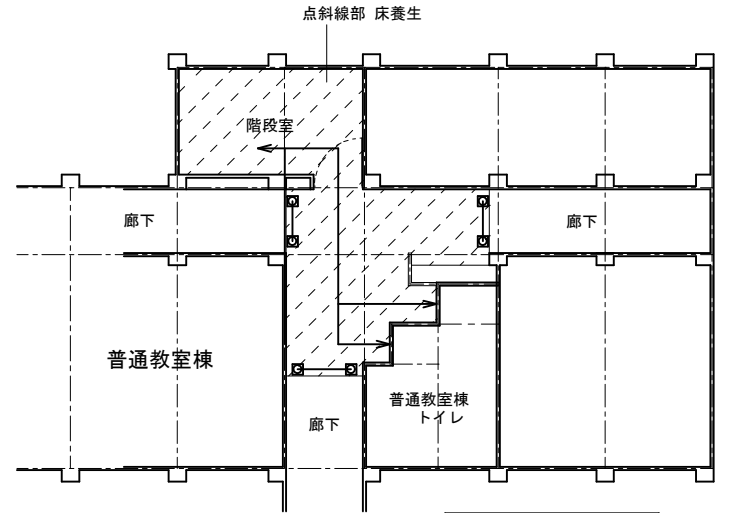
花里小学校トイレ改修工事	SCALE 1/200	番号 A20枚の内 3号の4
(花里小) 3・4階 平面図	完成 年 月 令和 8年 1月	高 山 市
設計 設計室ALL株式会社	一級建築士 第206813号 古垣内 克幸	



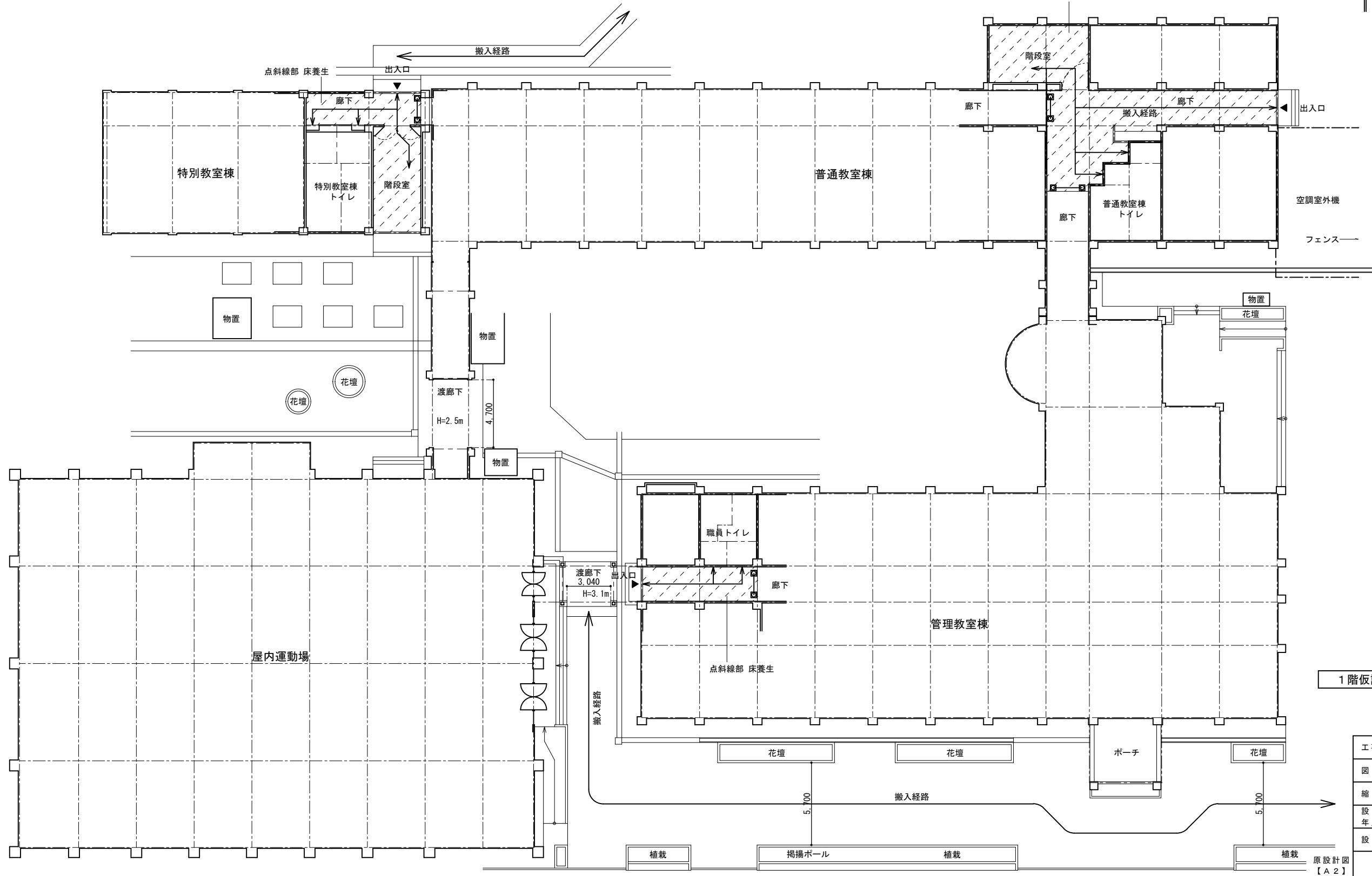
2階仮設計画図



3階仮設計画図



2, 3階仮設計画図



<凡例>  
■ カラーコーン・コーンバー

1階仮設計画図

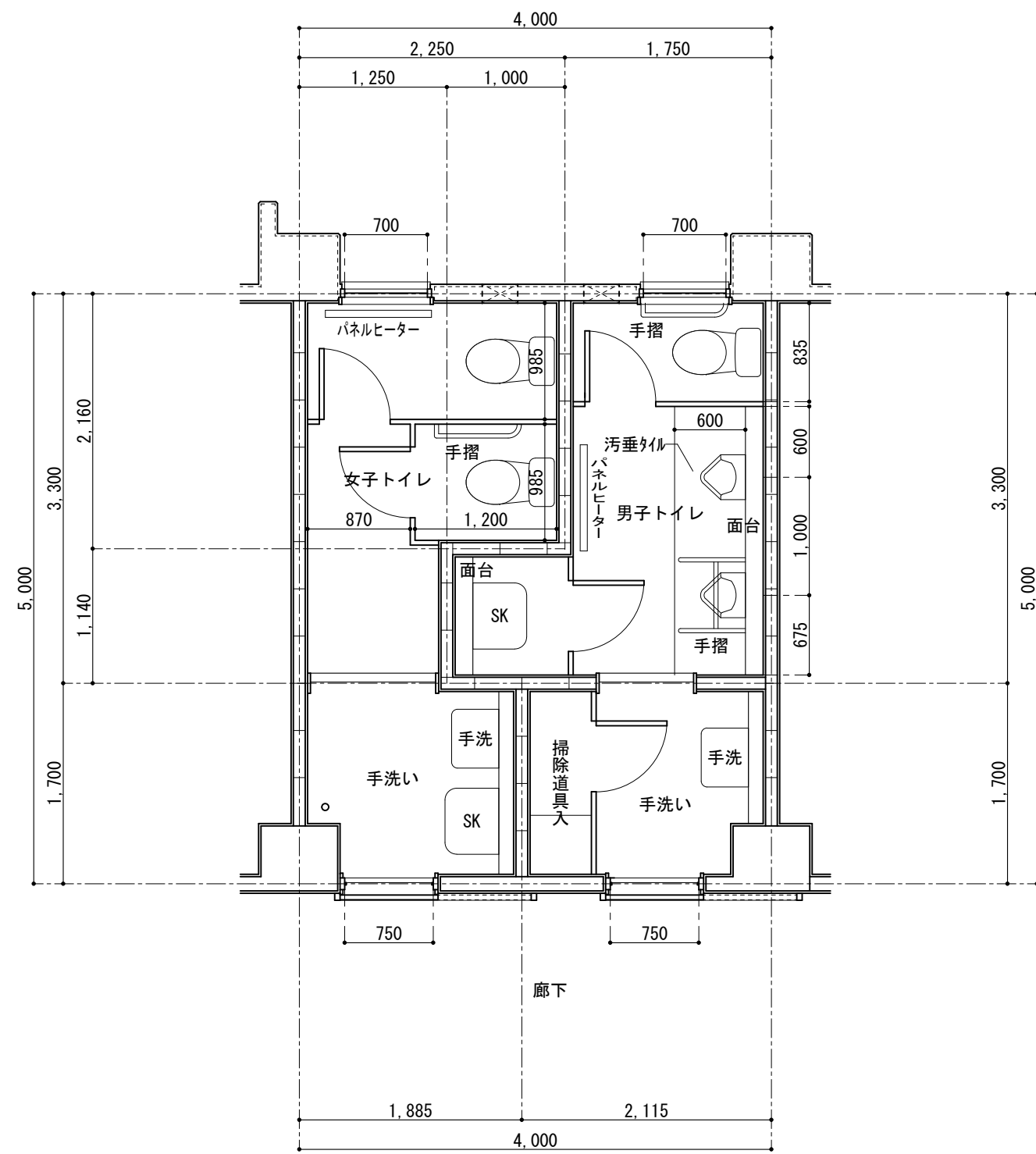
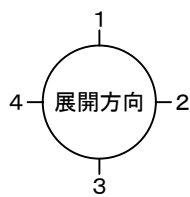
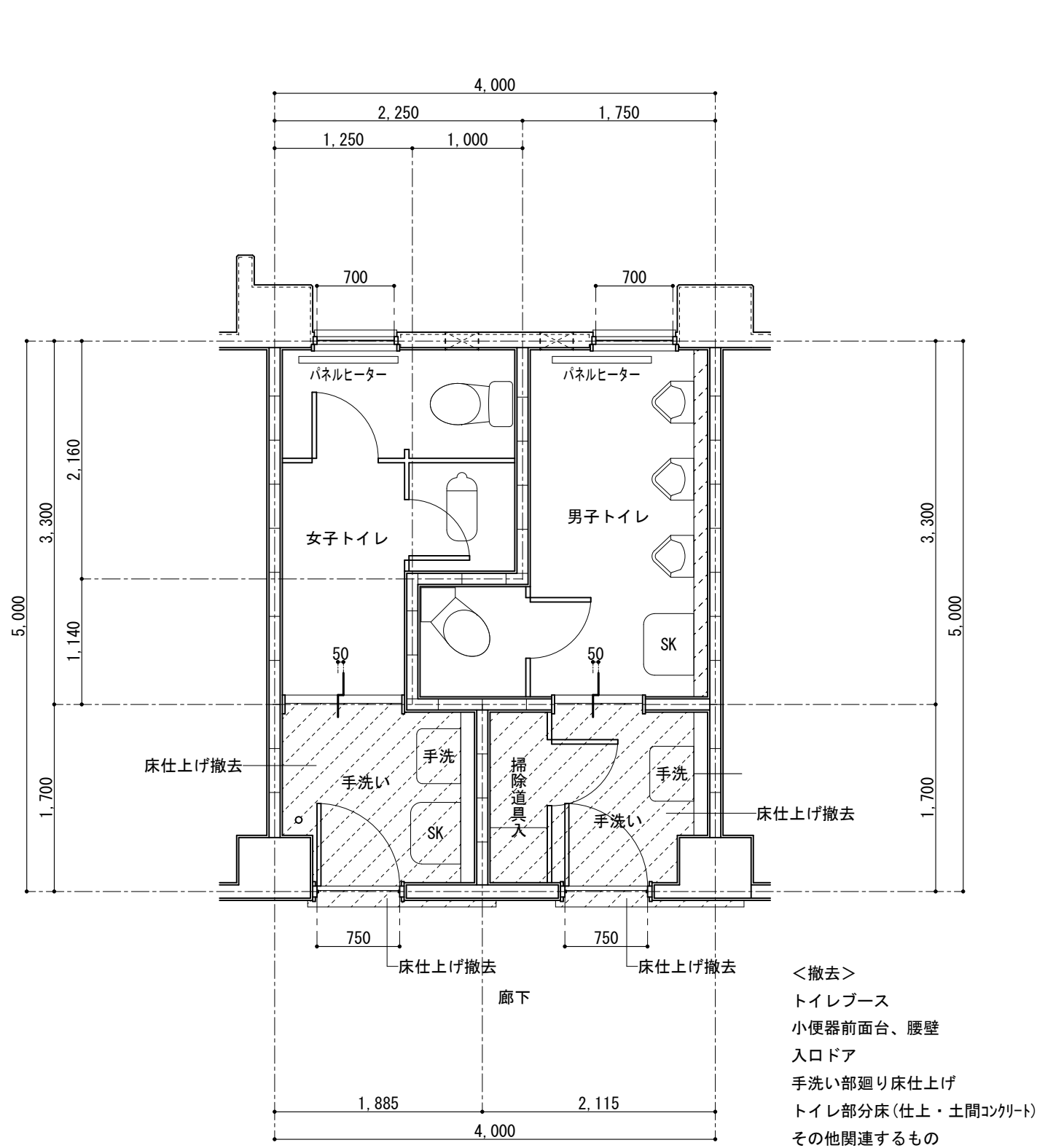
工事名	花里小学校校舎トイレ改修工事		
図名	仮設計画図		
縮尺	1/200	番号	A20 枚の内 03 号の5
設計年月日	令和 8 年 1 月		
設計	設計室A L L 株式会社	一級建築士 第206813号	古垣内 克幸
高 山 市			

原設計図  
【A2】



室名		床		幅木		壁		天井		廻縁		備考
		既存	改修	既存	改修	既存	改修	既存	改修	既存	改修	
職員トイレ	女子トイレ	タイル張り	高さ調整コンクリート 長尺塩シート厚2貼り	-	-	モルタル金こて VP 腰壁:100角タイル 撤去	モルタル部ひび割れ補修 全体EP 腰壁:モルタル薄塗り 化粧ケイ酸板張り厚6	ケイ酸カルシウム板厚6張り 撤去 (LGS下地共)	LGS下地 化粧石膏ボード厚9.5張り (トラバーチン)	塩ビ 撤去	塩ビ	既存木部 OP→SOP塗り
	女子トイレ手洗い	長尺塩ビシート厚2 撤去	長尺塩シート厚2貼り	-	-	モルタル金こて VP 腰壁:100角タイル 劣化部撤去	モルタル部ひび割れ補修 全体EP 腰壁:100角タイル撤去部100角タイル張り	ケイ酸カルシウム板厚6張り 撤去 (LGS下地共)	LGS下地 化粧石膏ボード厚9.5張り (トラバーチン)	塩ビ 撤去	塩ビ	既存木部 OP→SOP塗り
	男子トイレ	タイル張り	高さ調整コンクリート 長尺塩シート厚2貼り	-	-	モルタル金こて VP 腰壁:100角タイル 撤去 小便器部 ラインスペース CB100 撤去	モルタル部ひび割れ補修 全体EP 腰壁:モルタル薄塗り 化粧ケイ酸板張り厚6 小便器部 汁合板厚12+化粧ケイ酸板張り厚6	ケイ酸カルシウム板厚6張り 撤去 (LGS下地共)	LGS下地 化粧石膏ボード厚9.5張り (トラバーチン)	塩ビ 撤去	塩ビ	既存木部 OP→SOP塗り
	男子トイレ手洗い	長尺塩ビシート厚2 撤去	長尺塩シート厚2貼り	-	-	モルタル金こて VP 腰壁:100角タイル 劣化部撤去	モルタル部ひび割れ補修 全体EP 腰壁:100角タイル撤去部100角タイル張り	ケイ酸カルシウム板厚6張り 撤去 (LGS下地共)	LGS下地 化粧石膏ボード厚9.5張り (トラバーチン)	塩ビ 撤去	塩ビ	既存木部 OP→SOP塗り
	廊下	ナラフローリングボード厚15 部分撤去	撤去部 ナラフローリングボード厚15 UC		SOP	モルタル金こて VP モルタル 部分撤去	モルタル金コテ 既存部分も含め EP	化粧石膏ボード厚9	既存のまま	木 OP	SOP	既存木部 OP→SOP塗り 新設木部 SOP塗り
普通教室棟	男子トイレ	タイル張り	高さ調整コンクリート 長尺塩シート厚2貼り	-	-	モルタル金こて VP 腰壁:100角タイル 撤去 小便器部 ラインスペース CB100 撤去	モルタル部ひび割れ補修 全体EP 腰壁:モルタル薄塗り 化粧ケイ酸板張り厚6 小便器部 汁合板厚12+化粧ケイ酸板張り厚6	ケイ酸カルシウム板厚6張り 撤去 (LGS下地共)	LGS下地 化粧石膏ボード厚9.5張り (トラバーチン)	塩ビ 撤去	塩ビ	既存木部 OP→SOP塗り
	男子トイレ手洗い	長尺塩ビシート厚2 撤去	長尺塩シート厚2貼り	-	-	モルタル金こて VP 腰壁:100角タイル 撤去	モルタル部ひび割れ補修 全体EP 腰壁:100角タイル撤去部100角タイル張り	ケイ酸カルシウム板厚6張り 撤去 (LGS下地共)	LGS下地 化粧石膏ボード厚9.5張り (トラバーチン)	塩ビ 撤去	塩ビ	既存木部 OP→SOP塗り
	女子トイレ	タイル張り	高さ調整コンクリート 長尺塩シート厚2貼り	-	-	モルタル金こて VP 腰壁:100角タイル 撤去	モルタル部ひび割れ補修 全体EP 腰壁:モルタル薄塗り 化粧ケイ酸板張り厚6	ケイ酸カルシウム板厚6張り 撤去 (LGS下地共)	LGS下地 化粧石膏ボード厚9.5張り (トラバーチン)	塩ビ 撤去	塩ビ	既存木部 OP→SOP塗り
	女子トイレ手洗い	長尺塩ビシート厚2 撤去	長尺塩シート厚2貼り	-	-	モルタル金こて VP 腰壁:100角タイル 劣化部撤去	モルタル部ひび割れ補修 全体EP 腰壁:100角タイル撤去部100角タイル張り	ケイ酸カルシウム板厚6張り 撤去 (LGS下地共)	LGS下地 化粧石膏ボード厚9.5張り (トラバーチン)	塩ビ 撤去	塩ビ	既存木部 OP→SOP塗り
	廊下	ナラフローリングボード厚15 部分撤去	撤去部 ナラフローリングボード厚15 UC 手洗いになる部分 長尺塩ビシート厚2貼り	木 H75 OP	既存 SOP 新設 木SOP	モルタル金こて VP	既存 モルタル部ひび割れ補修 全体EP 新設 石膏ボード厚12.5 EP	化粧石膏ボード厚9 部分撤去 (LGS下地共)	LGS下地 化粧石膏ボード厚9.5張り (トラバーチン)	木 SOP	既存 SOP 手洗いになる部分 塩ビ	既存木部 OP→SOP塗り 新設木部 SOP塗り
特別教室棟	男子トイレ	タイル張り	高さ調整コンクリート 長尺塩シート厚2貼り	-	-	モルタル金こて VP 腰壁:100角タイル 撤去 小便器部 ラインスペース CB100 撤去	モルタル部ひび割れ補修 全体EP 腰壁:モルタル薄塗り 化粧ケイ酸板張り厚6 小便器部 汁合板厚12+化粧ケイ酸板張り厚6	ケイ酸カルシウム板厚6張り 撤去 (LGS下地共)	LGS下地 化粧石膏ボード厚9.5張り (トラバーチン)	塩ビ 撤去	塩ビ	既存木部 OP→SOP塗り
	男子トイレ手洗い	長尺塩ビシート厚2 撤去	長尺塩シート厚2貼り	-	-	モルタル金こて VP 腰壁:100角タイル 撤去	モルタル部ひび割れ補修 全体EP 腰壁:モルタル薄塗り 化粧ケイ酸板張り厚6	ケイ酸カルシウム板厚6張り 撤去 (LGS下地共)	LGS下地 化粧石膏ボード厚9.5張り (トラバーチン)	塩ビ 撤去	塩ビ	既存木部 OP→SOP塗り
	女子トイレ	タイル張り	高さ調整コンクリート 長尺塩シート厚2貼り	-	-	モルタル金こて VP 腰壁:100角タイル 撤去	モルタル部ひび割れ補修 全体EP 腰壁:モルタル薄塗り 化粧ケイ酸板張り厚6	ケイ酸カルシウム板厚6張り 撤去 (LGS下地共)	LGS下地 化粧石膏ボード厚9.5張り (トラバーチン)	塩ビ 撤去	塩ビ	既存木部 OP→SOP塗り
	女子トイレ手洗い	長尺塩ビシート厚2 撤去	長尺塩シート厚2貼り	-	-	モルタル金こて VP 腰壁:100角タイル 撤去	モルタル部ひび割れ補修 全体EP 腰壁:モルタル薄塗り 化粧ケイ酸板張り厚6	ケイ酸カルシウム板厚6張り 撤去 (LGS下地共)	LGS下地 化粧石膏ボード厚9.5張り (トラバーチン)	塩ビ 撤去	塩ビ	既存木部 OP→SOP塗り
	パワーアップ教室	長尺塩ビシート厚2	既存のまま	ワト幅木 H75	既存のまま	石膏ボード厚12 EP	既存のまま	化粧石膏ボード厚9 撤去 (LGS下地共)	LGS下地 化粧石膏ボード厚9.5張り (トラバーチン)	塩ビ 撤去	塩ビ	

工事名	花里小学校校舎トイレ改修工事		
図 名	仕上表		
縮 尺	-	番 号	A20 枚の内 04 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 1 月		
設 計	設計室 A L L 株式会社	一級建築士 第206813号 古垣内 克幸	
高 山 市			



既存

1F

改修

1F

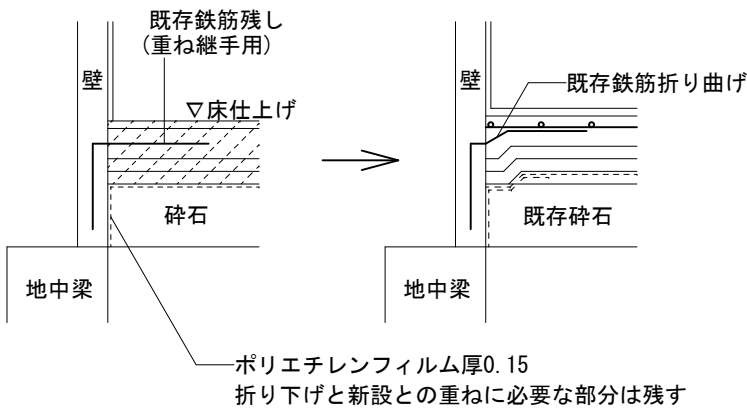
面台下ラーニングスペースは、LGS100

### <土間コンクリート撤去復旧仕様> 1F

<既存>  
タイル張り  
土間コンクリート厚120  
鉄筋 D10-@200 S.C  
捨コン厚50  
ポリスチレンフォーム厚50  
ポリエチレンフィルム厚0.15  
砕石

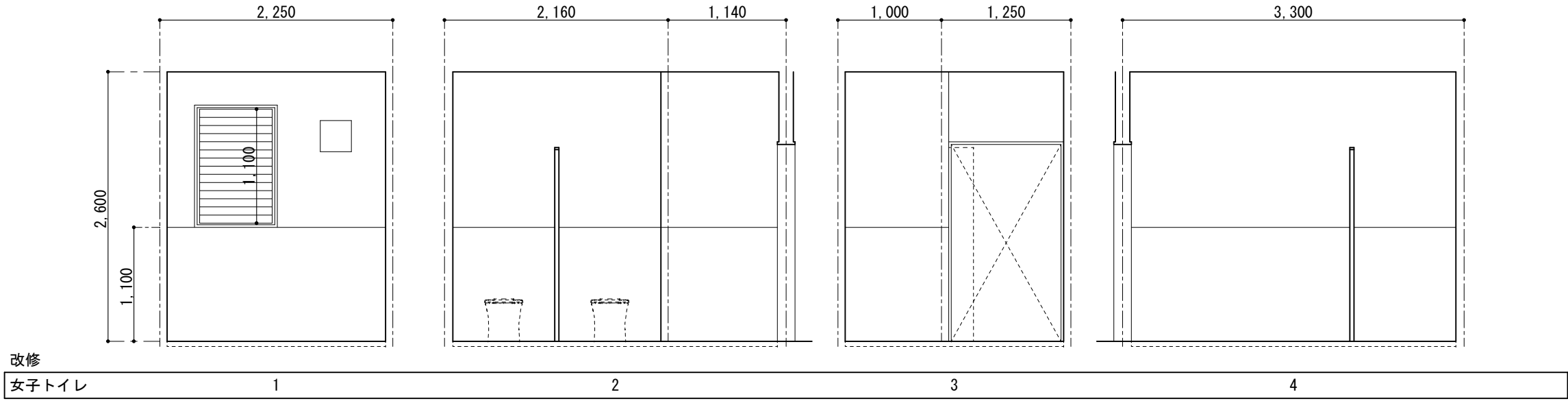
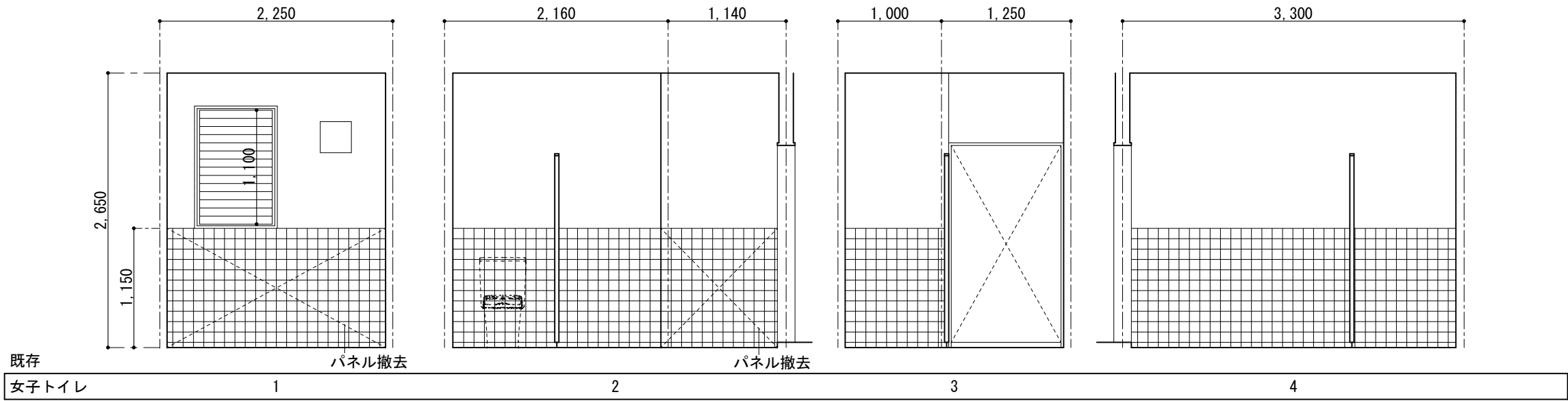
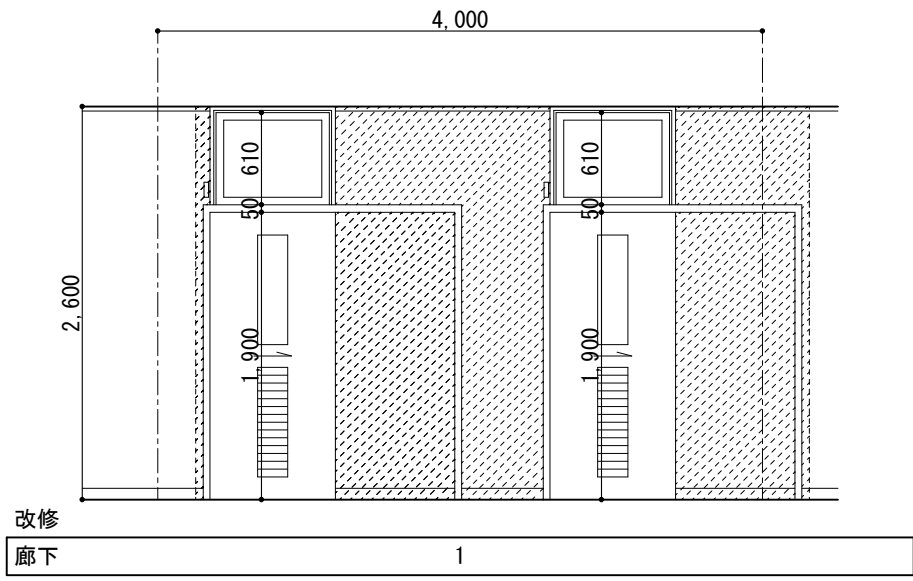
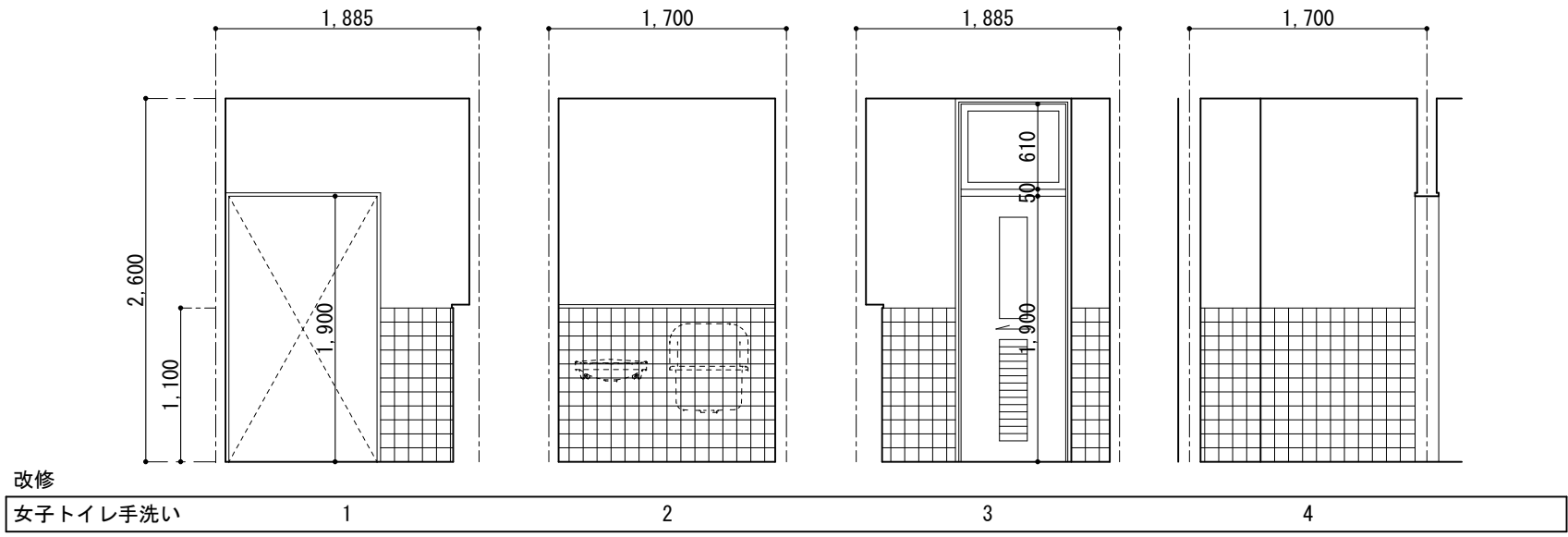
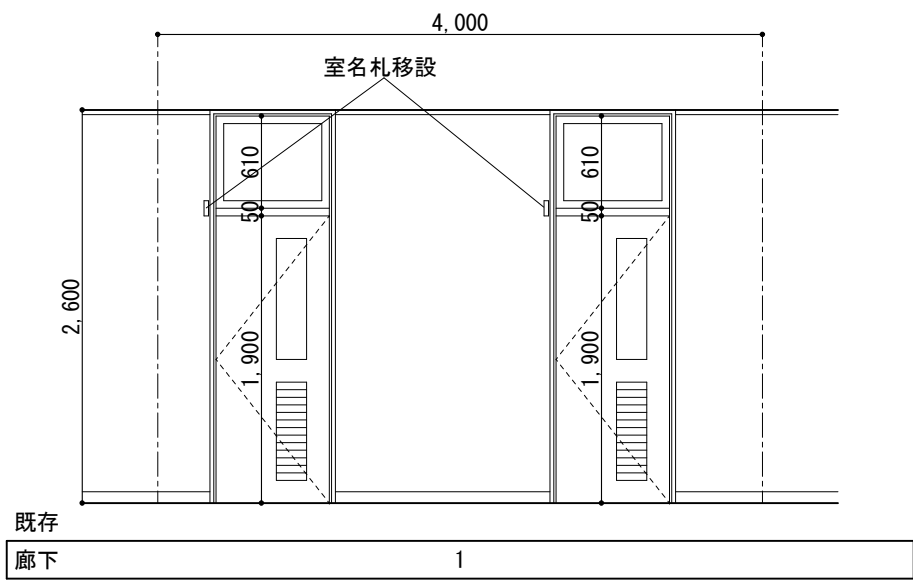
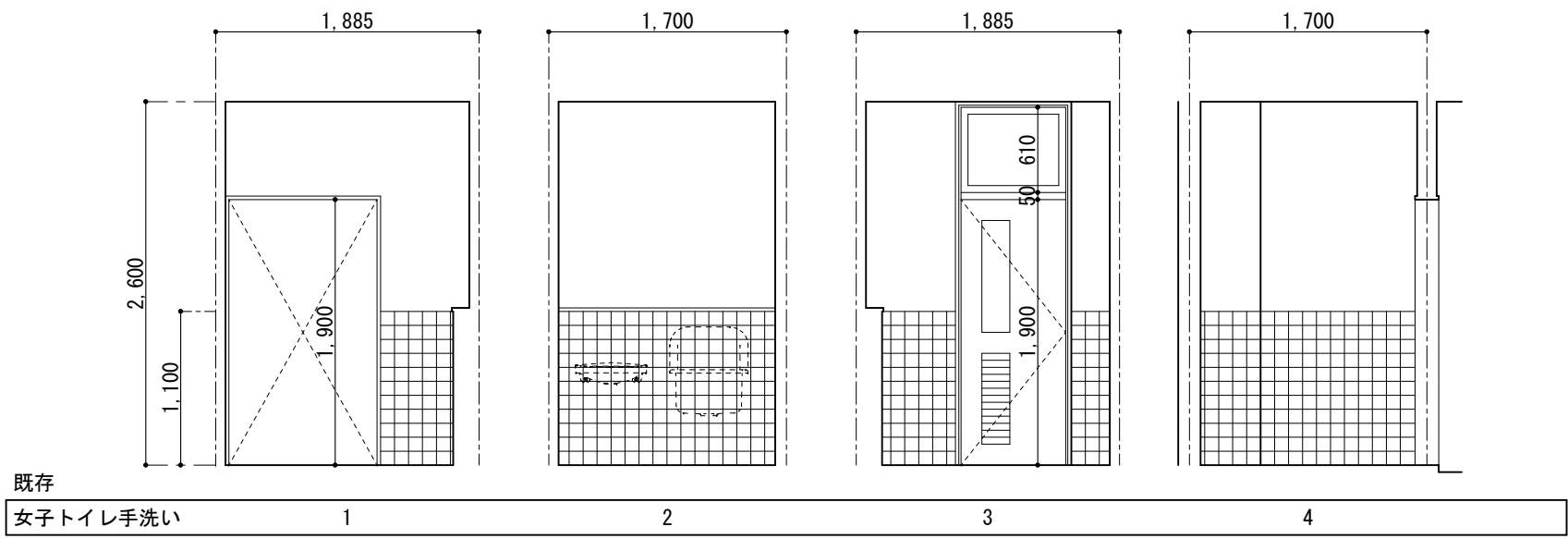
撤去

<改修>  
長尺塩ビシート貼り厚2  
モルタル金こて厚28  
土間コンクリート厚120  
鉄筋 D10-@200 S.C  
捨コン厚50  
ポリスチレンフォーム厚50  
ポリエチレンフィルム厚0.15  
砕石厚50(既存砕石の上)



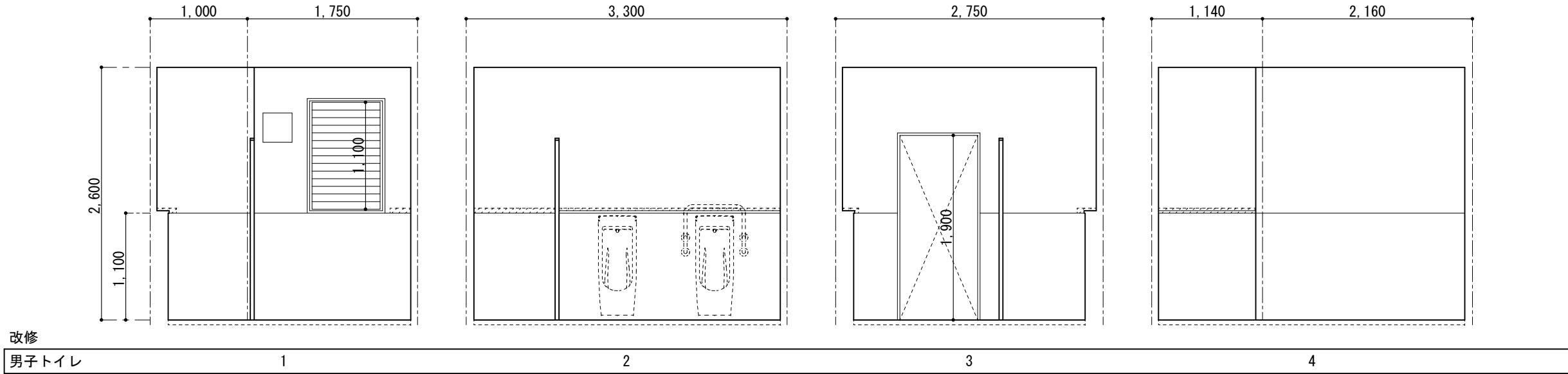
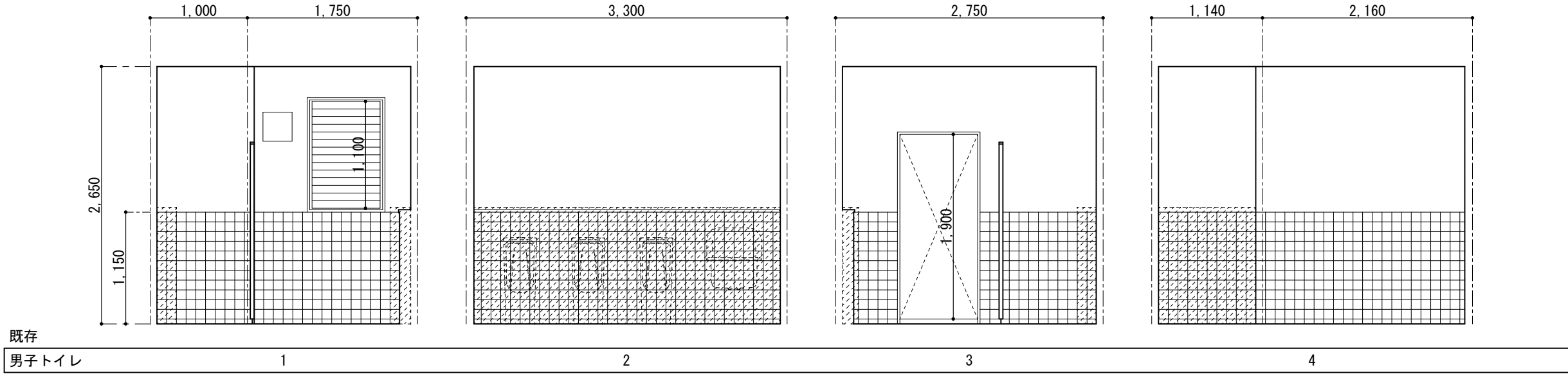
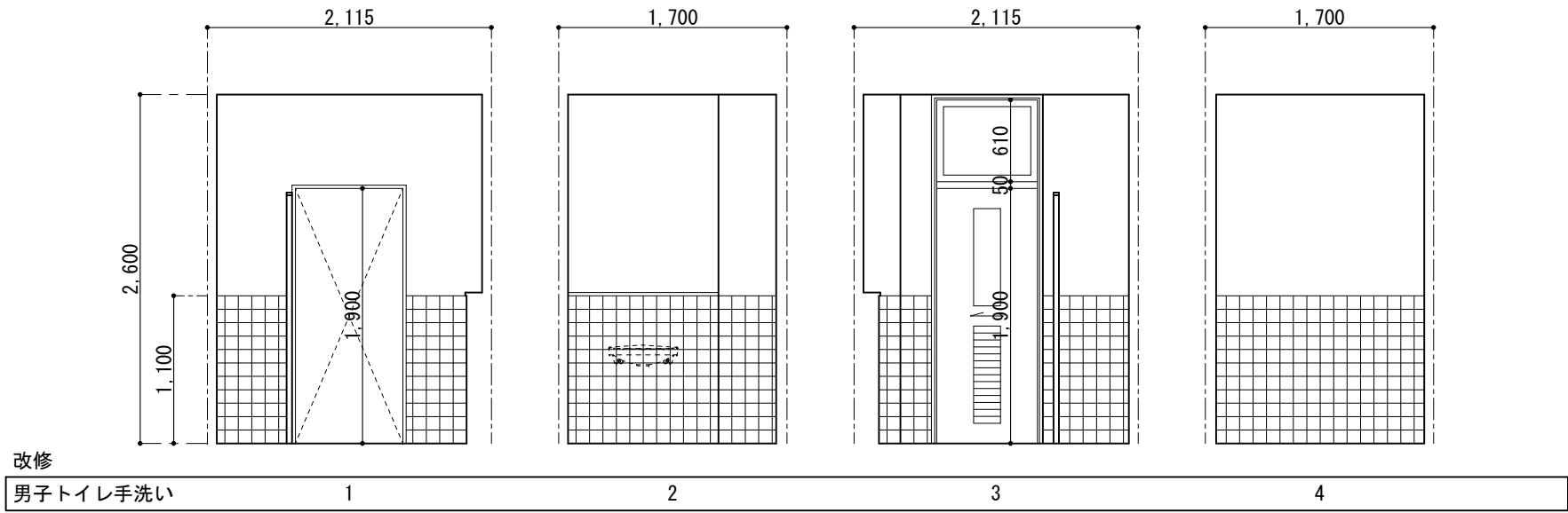
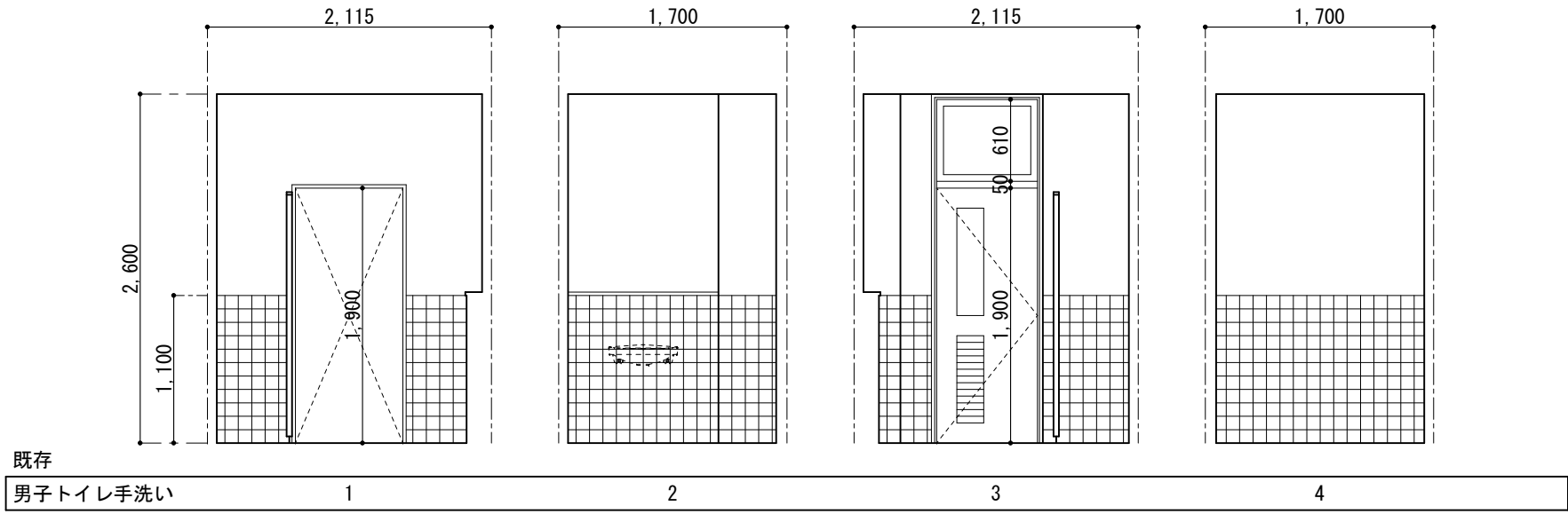
原設計図  
【A2】

工事名	花里小学校校舎トイレ改修工事		
図名	職員トイレ 平面詳細図		
縮尺	1/50	番号	A20 枚の内 05 号
設計年月日	令和 8 年 1 月		
設計	設計室 A L L 株式会社	一級建築士 第206813号 古垣内 克幸	
高 山 市			



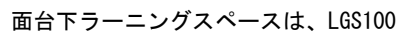
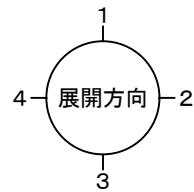
原設計図  
【A2】

工 事 名	花 里 小 学 校 校 舎 ト イ レ 改 修 工 事		
図 名	職 員 ト イ レ 展 開 図 1		
縮 尺	1/50	番 号	A20 枚 の 内 06 号
設 計 年 月 日	令 和 8 年 1 月		
設 計	設計室 A L L 株式会社		一級建築士 第206813号 古垣内 克幸
高 山 市			



原設計図  
【A2】

工 事 名	花 里 小 学 校 校 舎 ト イ レ 改 修 工 事		
図 名	職 員 ト イ レ 展 開 図 2		
縮 尺	1/50	番 号	A20 枚 の 内 07 号
設 計 年 月 日	令 和 8 年 1 月		
設 計	設計室 A L L 株式会社		一級建築士 第206813号 古垣内 克幸
高 山 市			



既存鉄筋残し  
(重ね継手用)

▽床仕上げ

砕石

壁

地中梁

ポリエチレンフィルム厚0.15

既存鉄筋折り曲げ

既存砕石

壁

地中梁

折り下げと新設との重ねに必要な部分は残す

和便器開口

開口周囲 鉄筋はつり出し

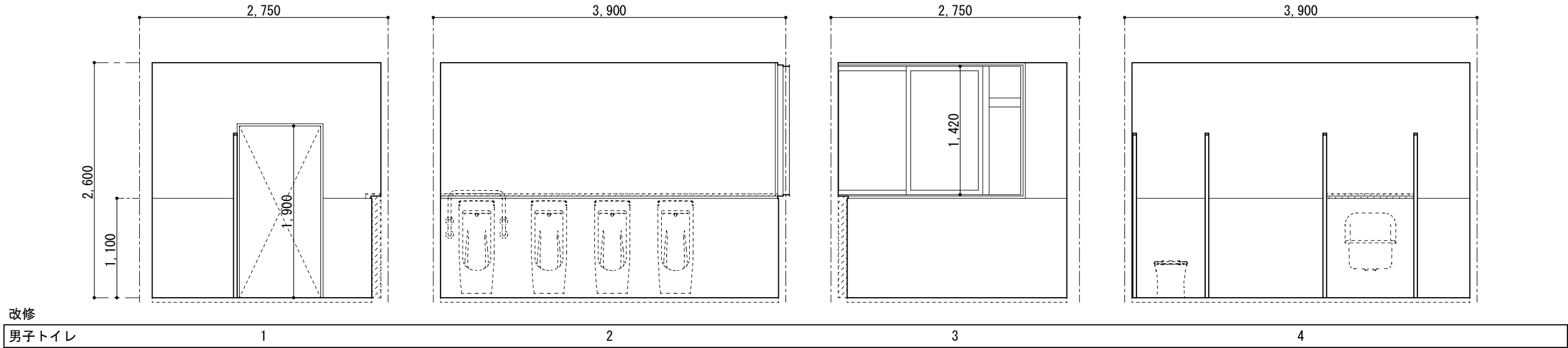
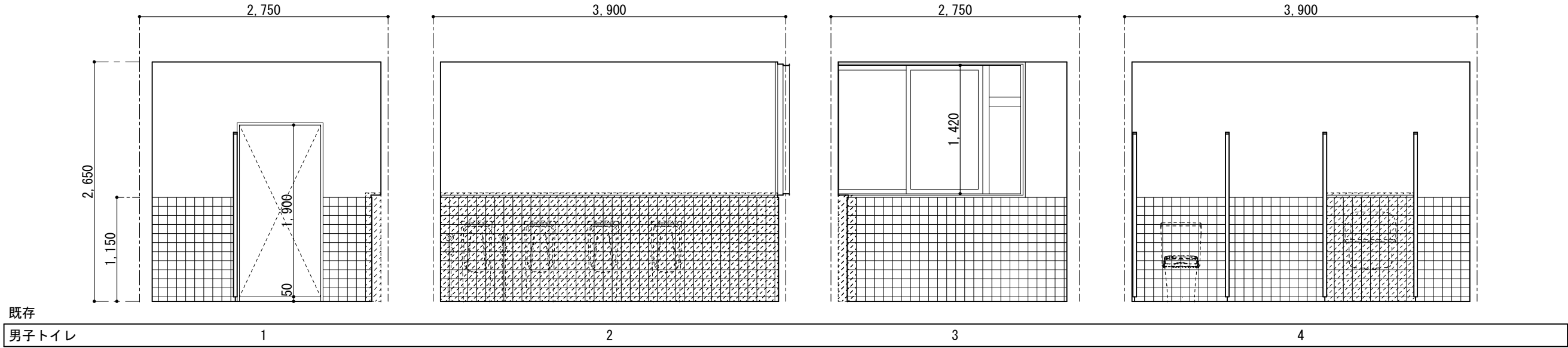
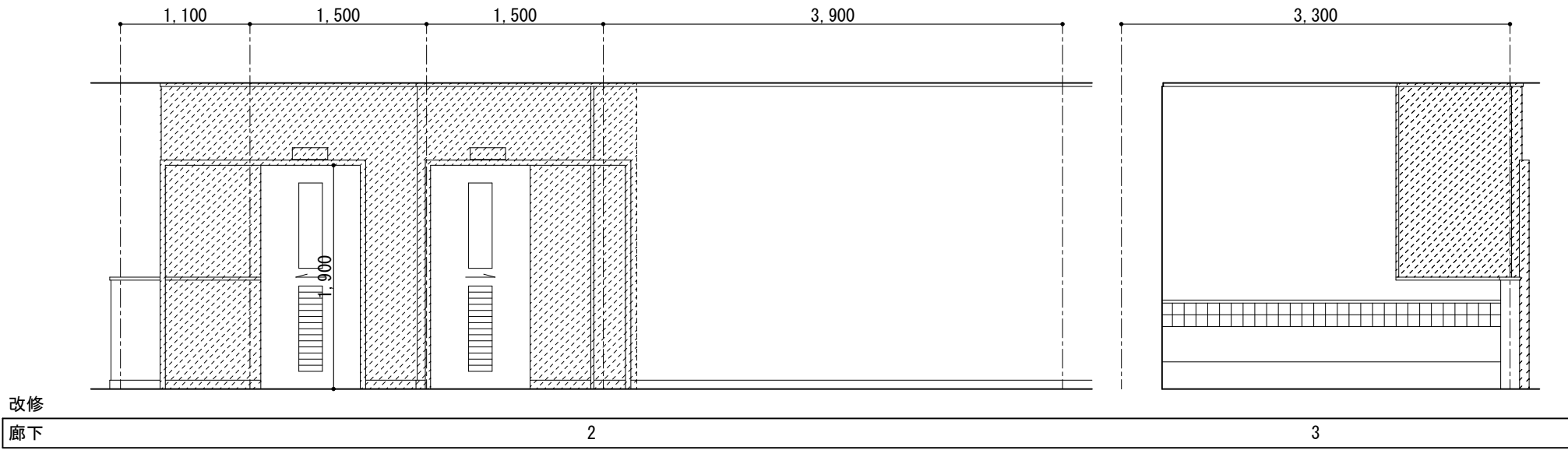
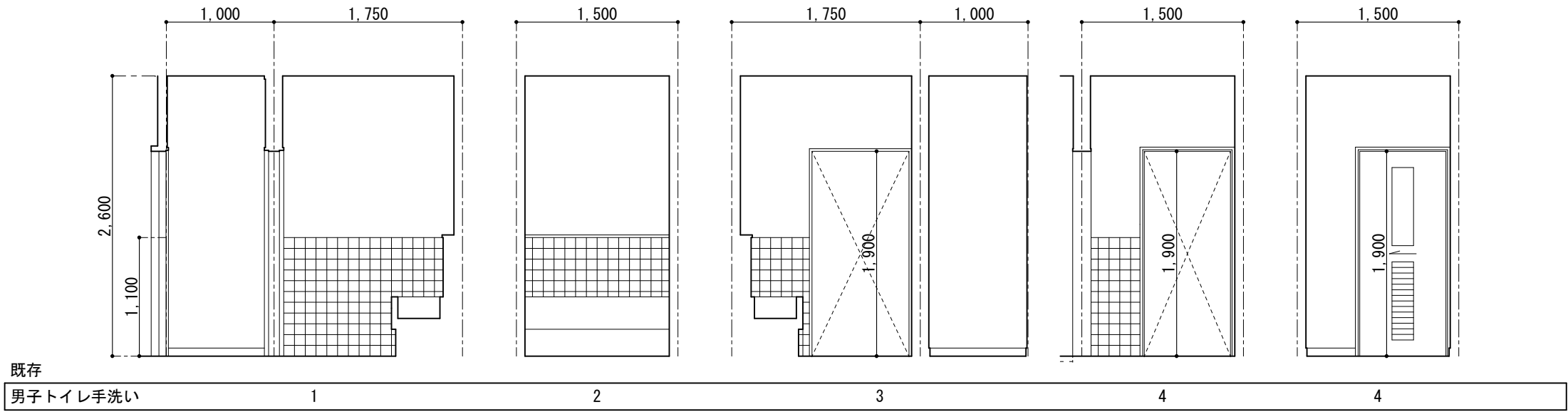
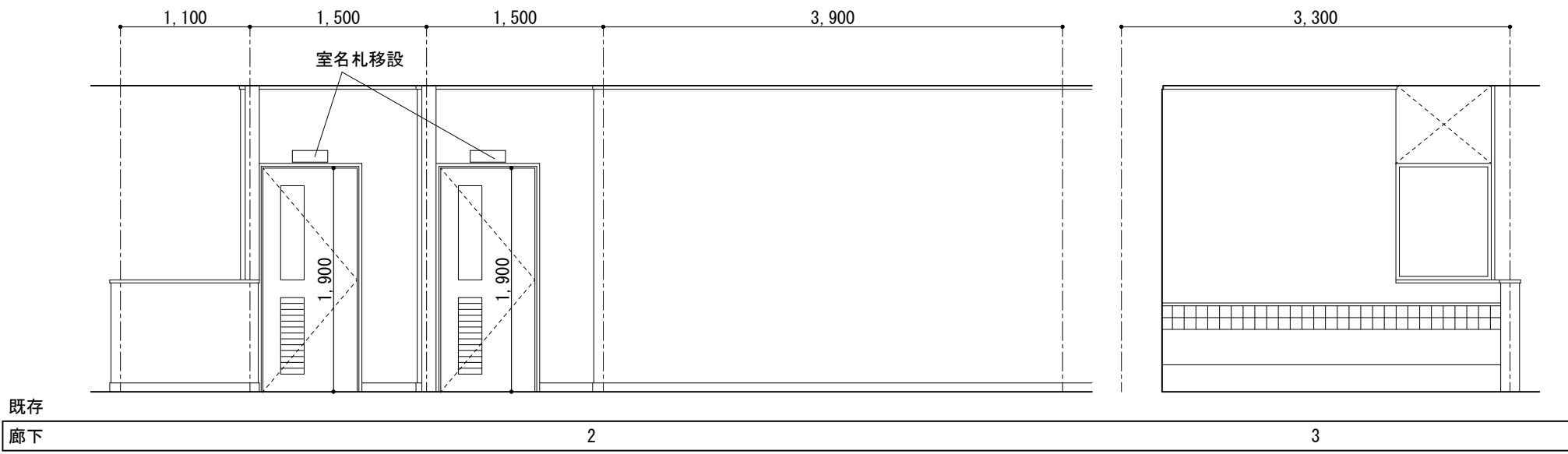
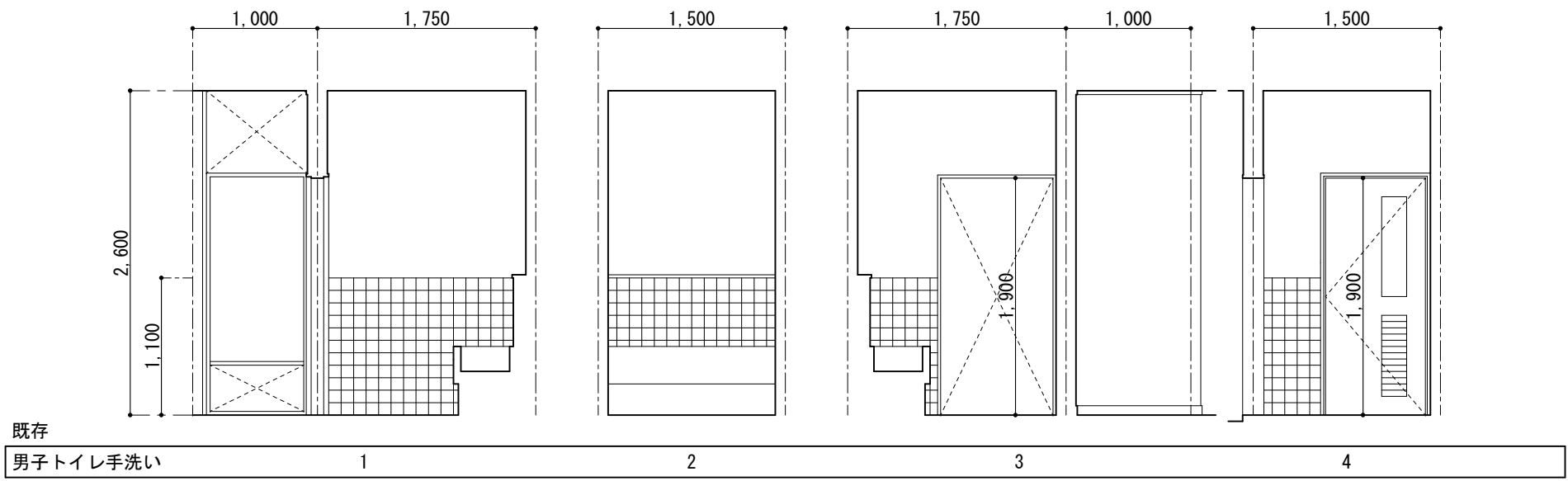
既存鉄筋と同じ鉄筋を配筋

既存鉄筋にフレア溶接  
片面10d又は両面5d

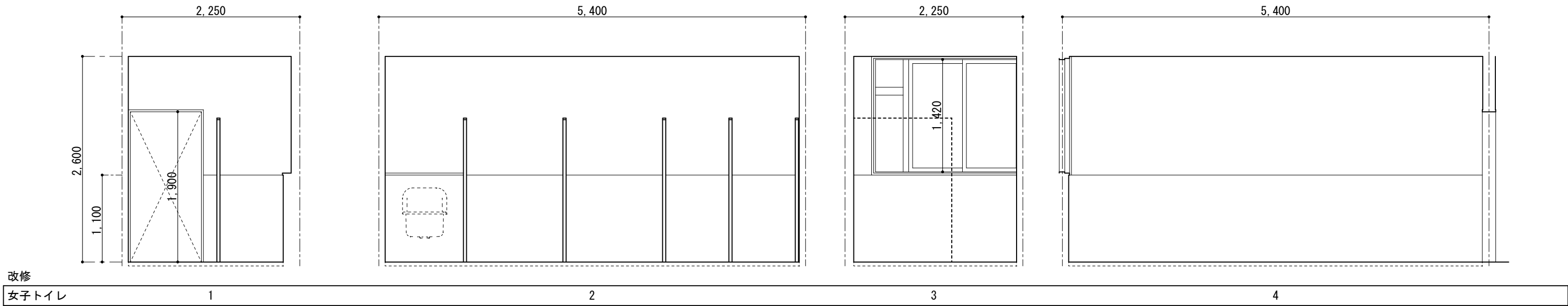
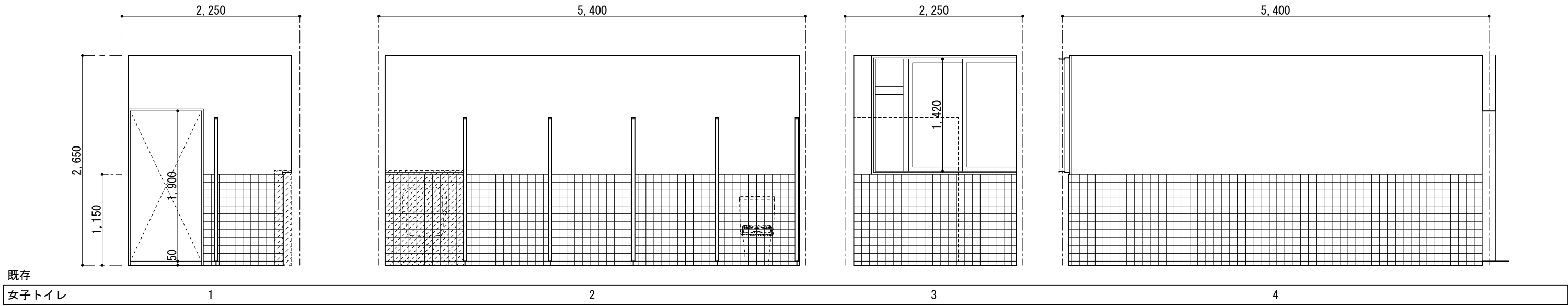
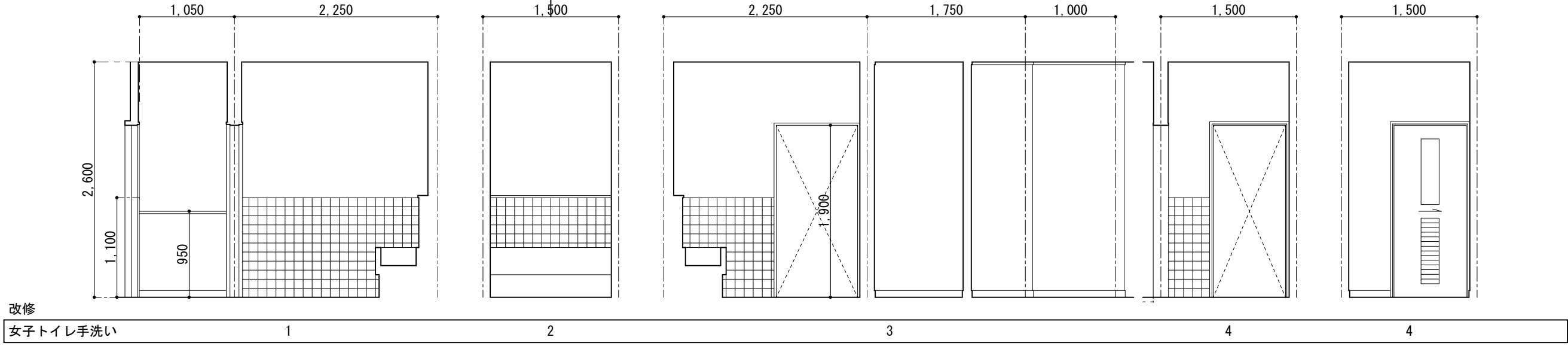
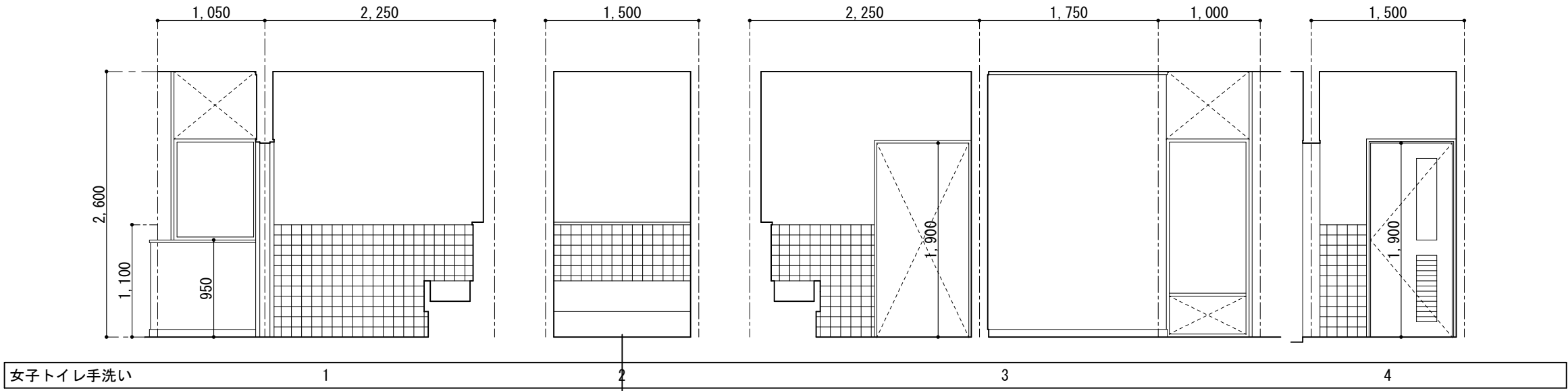
コンクリート Fc24-25-15

工事名	花里小学校校舎トイレ改修工事		
図名	普通教室棟トイレ 平面詳細図		
縮尺	1/50	番号	A20 枚の内 08 号
設計年月日	令和 8 年 1 月		
設計	設計室 A L L 株式会社		一級建築士 第206813号 古垣内 克幸
図	高 山 市		

原設計図  
【A2】

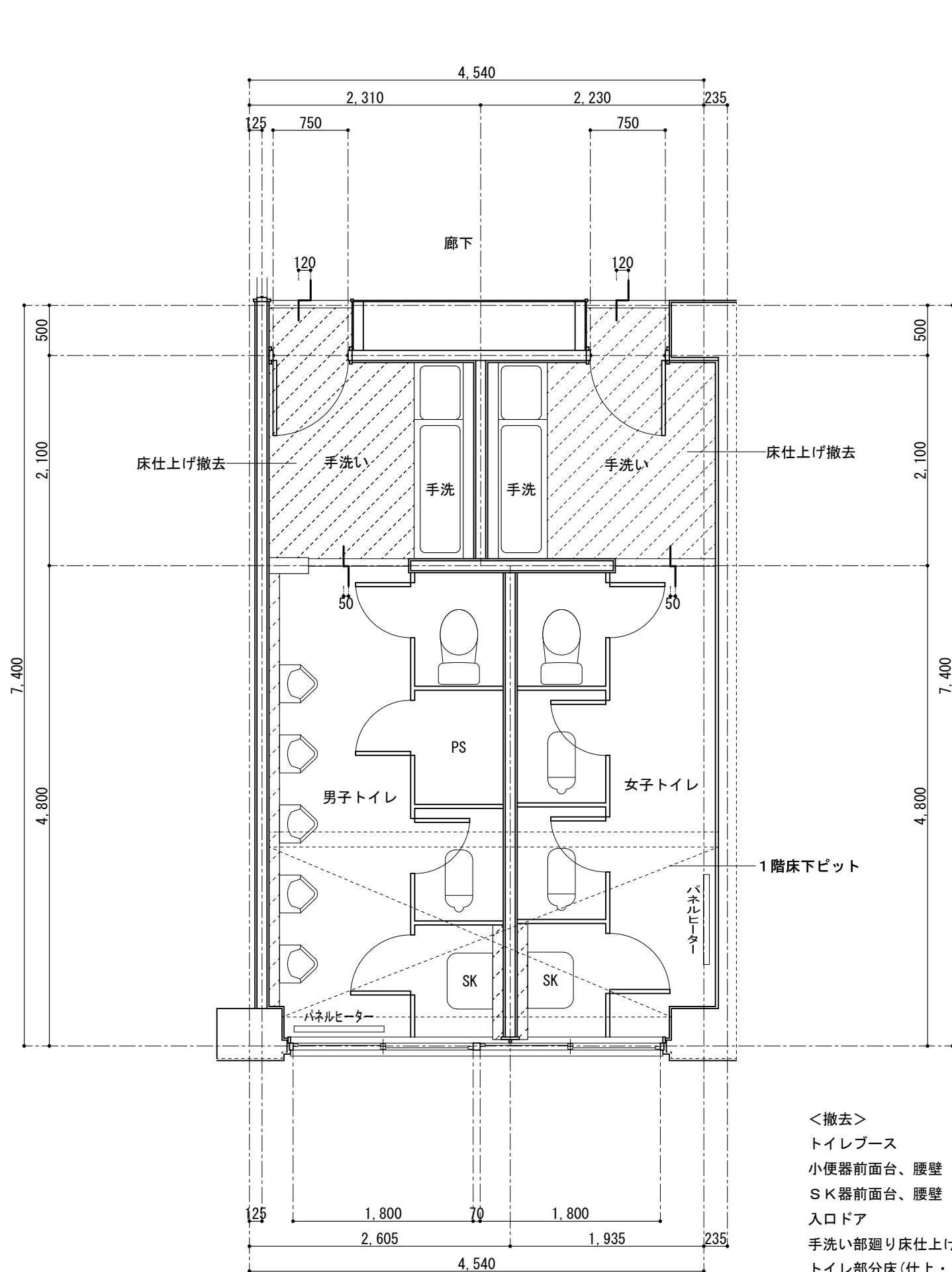


工 事 名	花里小学校校舎トイレ改修工事		
図 名	普通教室棟トイレ 展開図1		
縮 尺	1/50	番号	A20 枚の内 09 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 1 月		
設 計	設計室 A L L 株式会社		一級建築士 第206813号 古垣内 克幸
高 山 市			

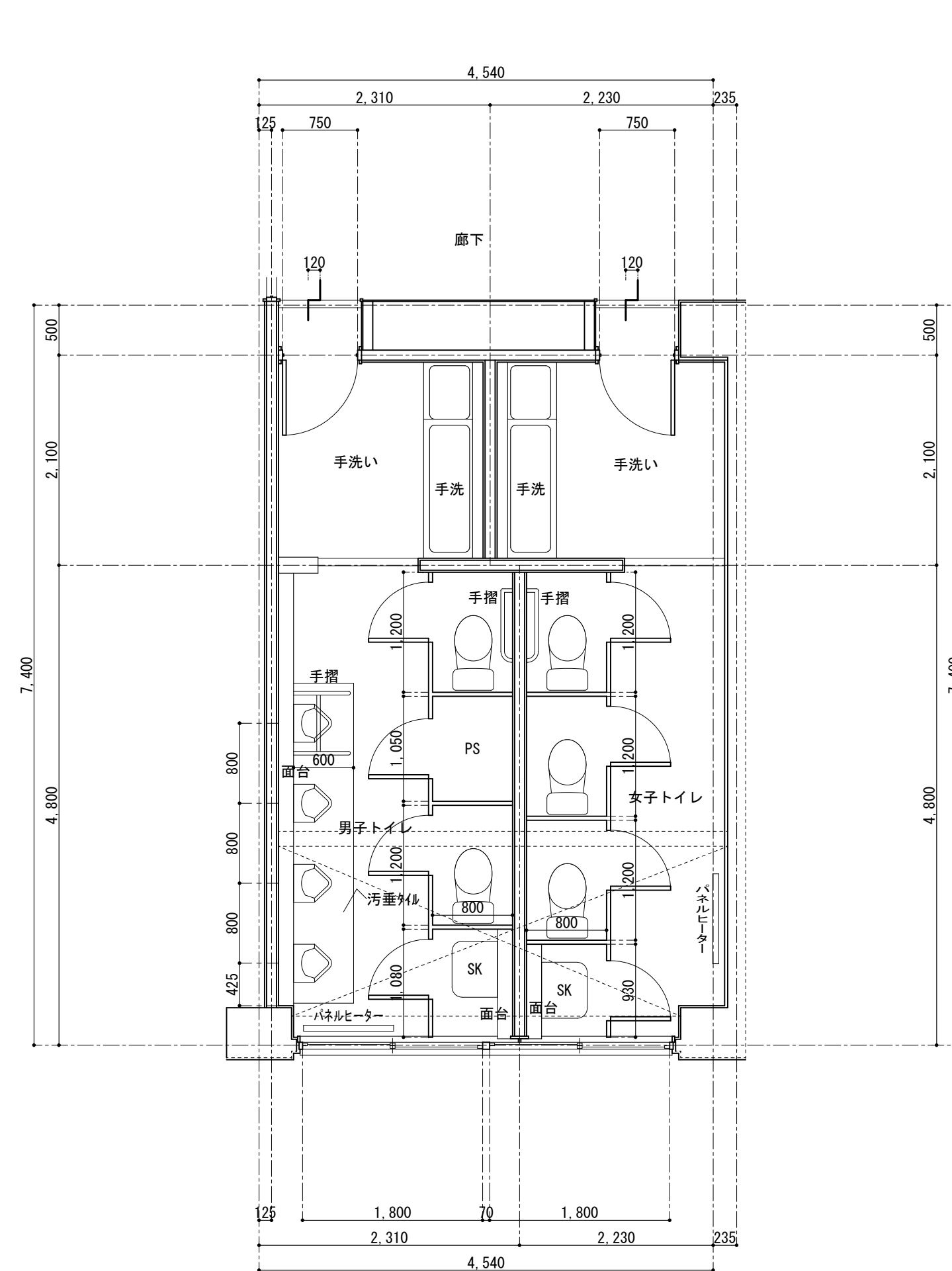


原設計図  
【A2】

工 事 名	花 里 小 学 校 校 舎 ト イ レ 改 修 工 事		
図 名	普 通 教 室 棟 ト イ レ 展 開 図 2		
縮 尺	1/50	番 号	A20 枚 の 内 10 号
設 計 年 月 日	令 和 8 年 1 月		
設 計	設計室 A L L 株式会社		一級建築士 第206813号 古垣内 克幸
高 山 市			



既存  
1F, 3F



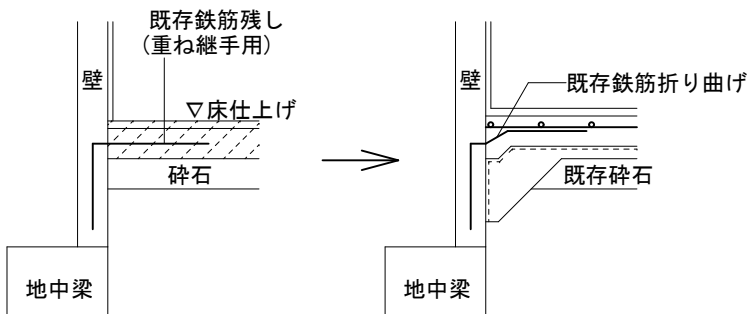
改修  
1F, 3F  
面台下ラーニングスペースは、LGS100

＜土間コンクリート撤去復旧仕様＞ 1F(ピット部は除く)

＜既存＞  
タイル張り  
土間コンクリート厚120  
鉄筋 D10-@200 S.C  
砕石

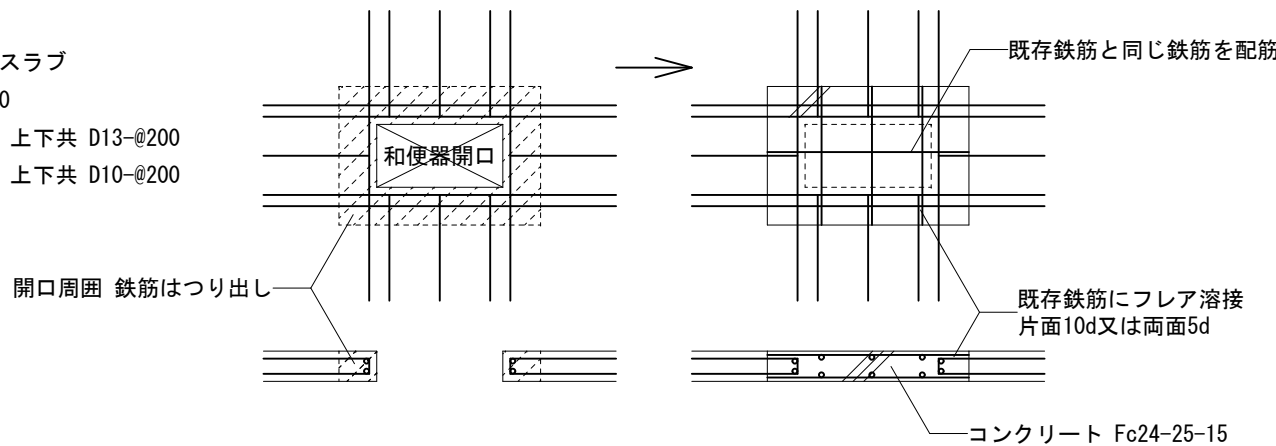
撤去

＜改修＞  
長尺塩ビシート貼り厚2  
モルタル金こて厚28  
土間コンクリート厚120  
鉄筋 D10-@250 S.C  
ポリエチレンフィルム厚0.15  
砕石厚50(既存砕石の上)



＜和便器スラブ開口閉鎖仕様＞ 1F(ピット部), 2F, 3F

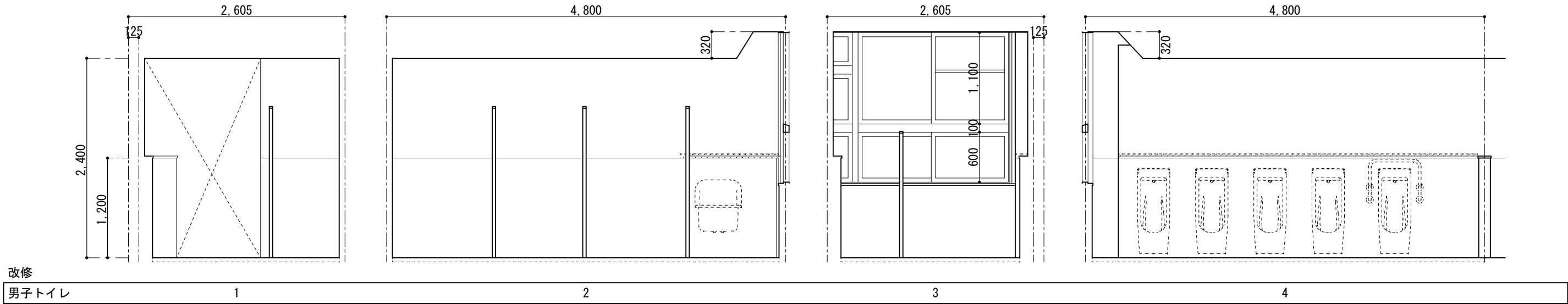
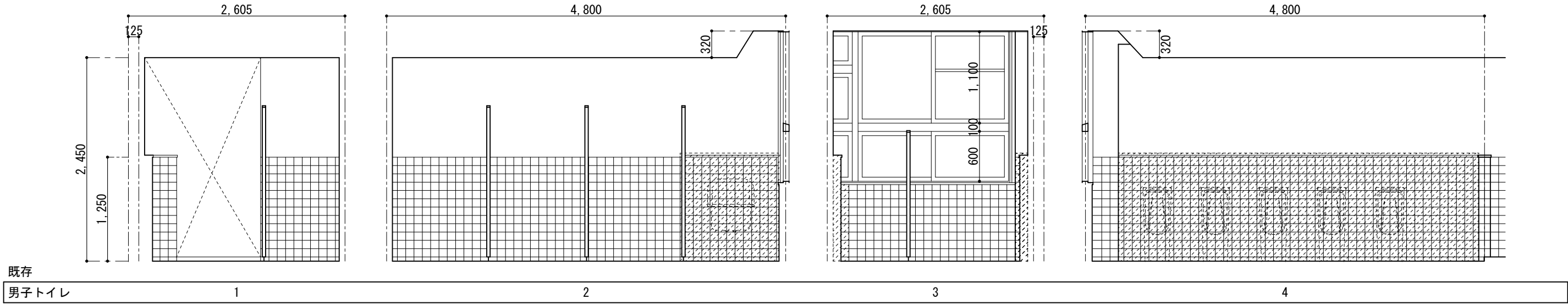
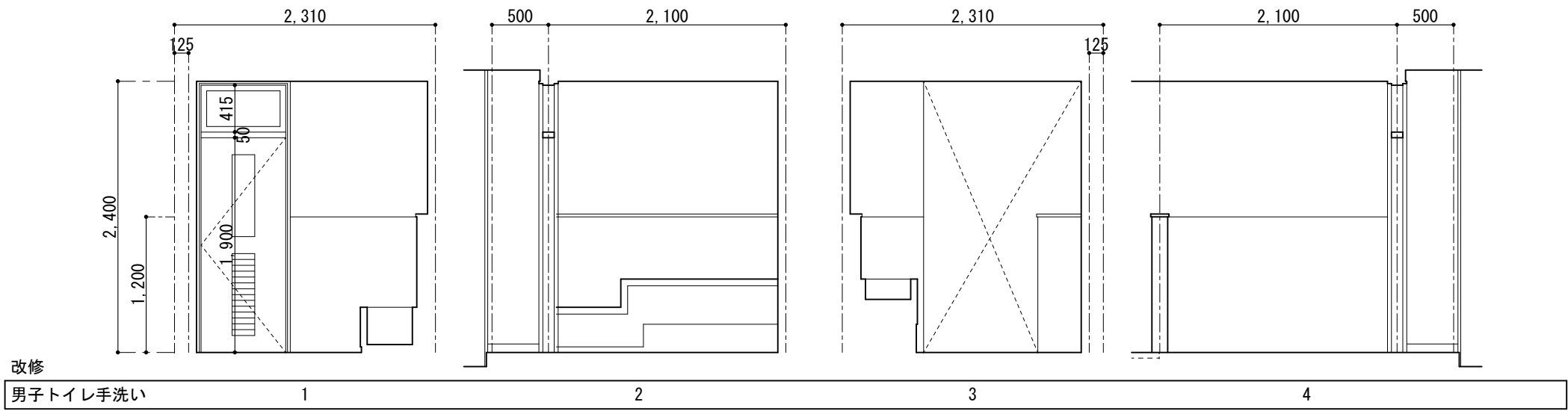
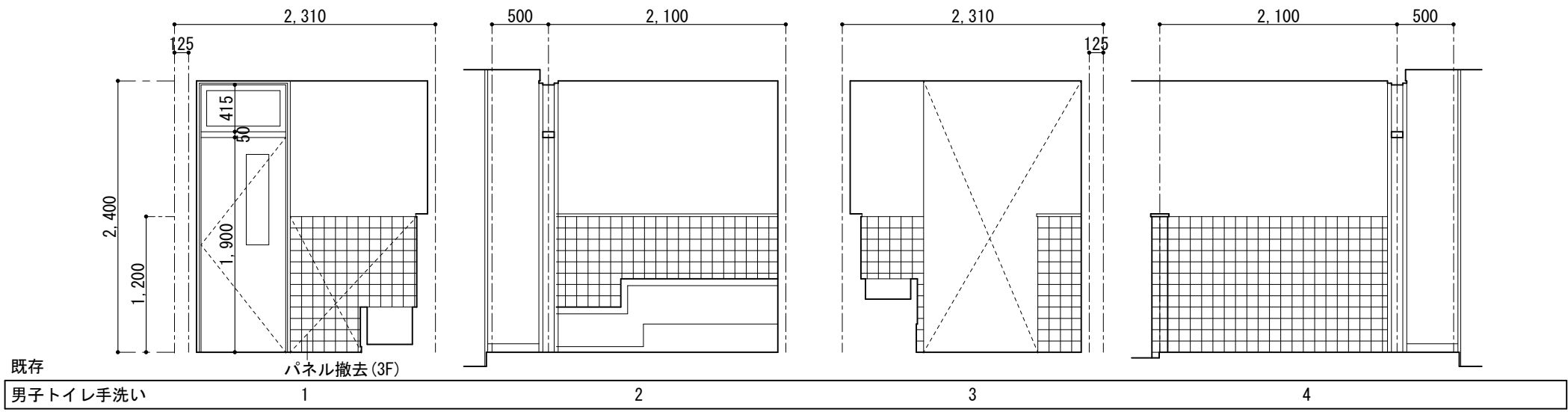
既存スラブ  
厚120  
短辺 上下共 D13-@200  
長辺 上下共 D10-@200



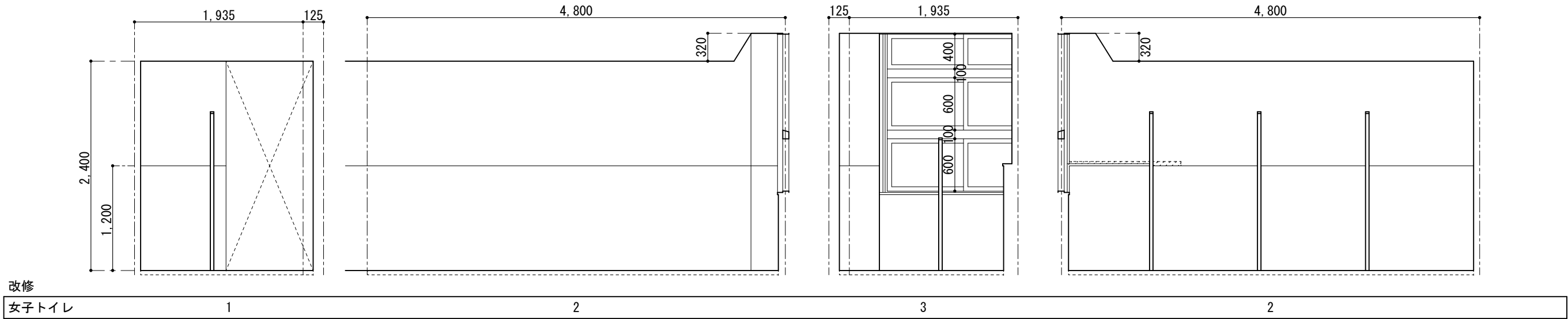
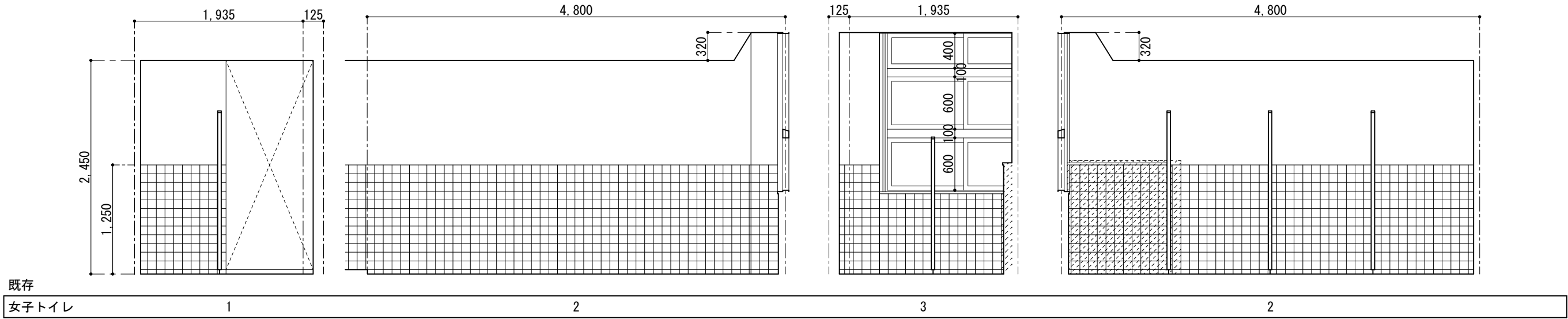
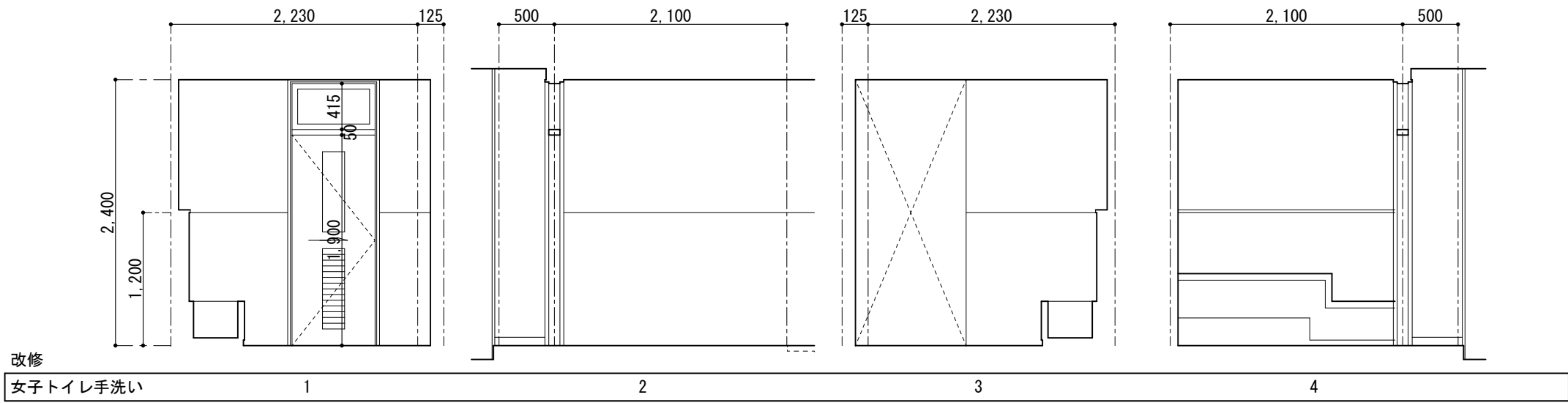
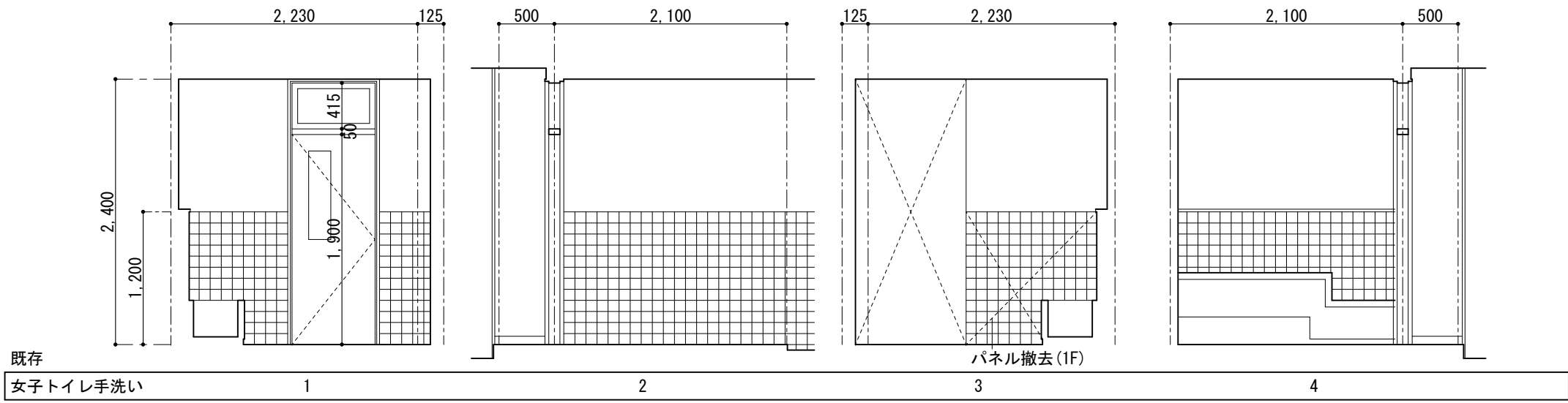
原設計図  
【A2】

工 事 名	花里小学校校舎トイレ改修工事		
図 名	特別教室棟トイレ 平面詳細図		
縮 尺	1/50	番 号	A20 枚の内 11 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 1 月		
設 計	設計室 A L L 株式会社		一級建築士 第206813号 古垣内 克幸
高 山 市			

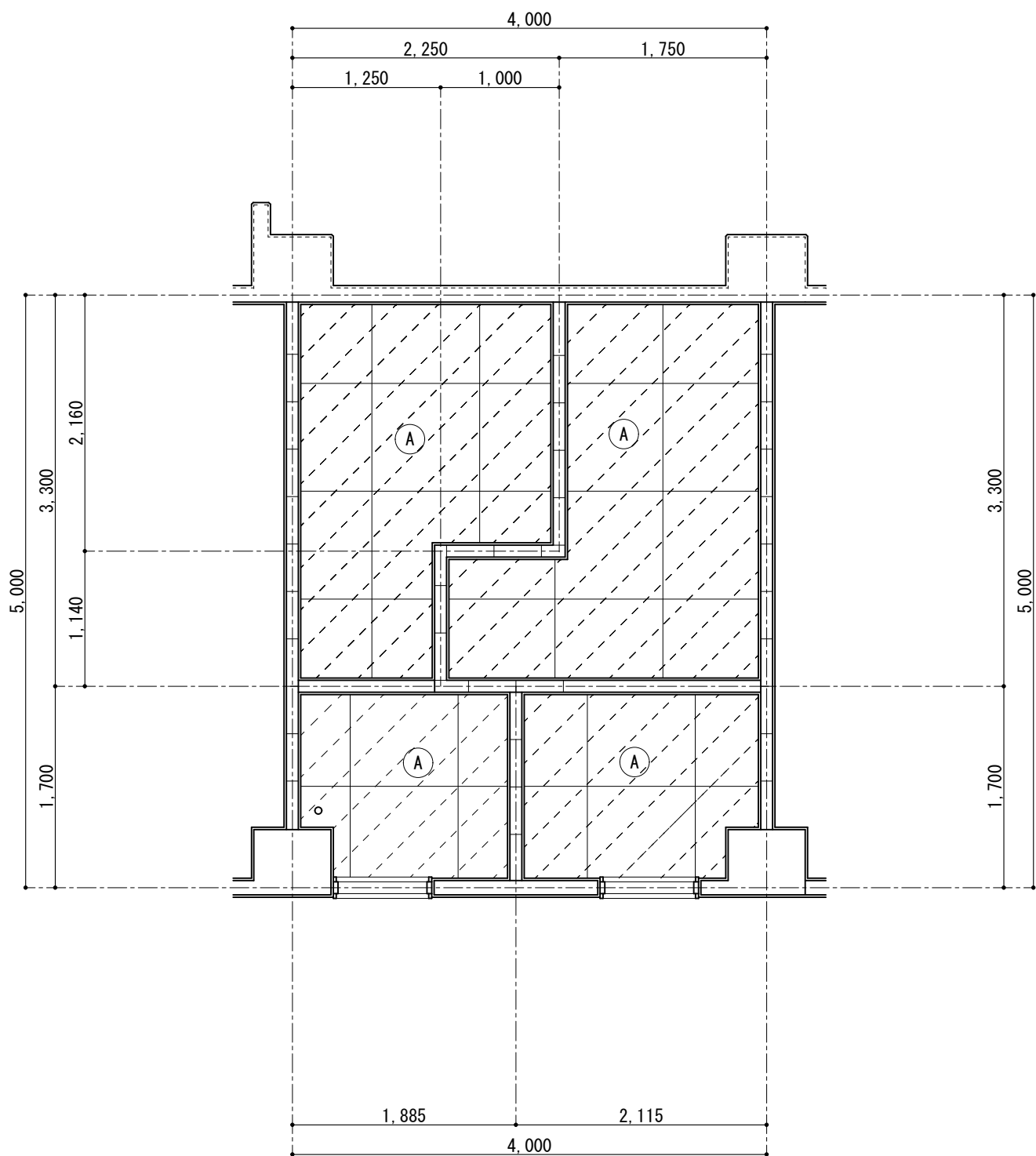




工 事 名	花里小学校校舎トイレ改修工事		
図 名	特別教室棟トイレ 展開図 1		
縮 尺	1/50	番号	A20 枚の内 12 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 1 月		
設 計	設計室 A L L 株式会社		一級建築士 第206813号 古垣内 克幸
高 山 市			



工 事 名	花里小学校校舎トイレ改修工事		
図 名	特別教室棟トイレ 展開図 2		
縮 尺	1/50	番号	A20 枚の内 13 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 1 月		
設 計	設計室 A L L 株式会社		一級建築士 第206813号 古垣内 克幸
高 山 市			

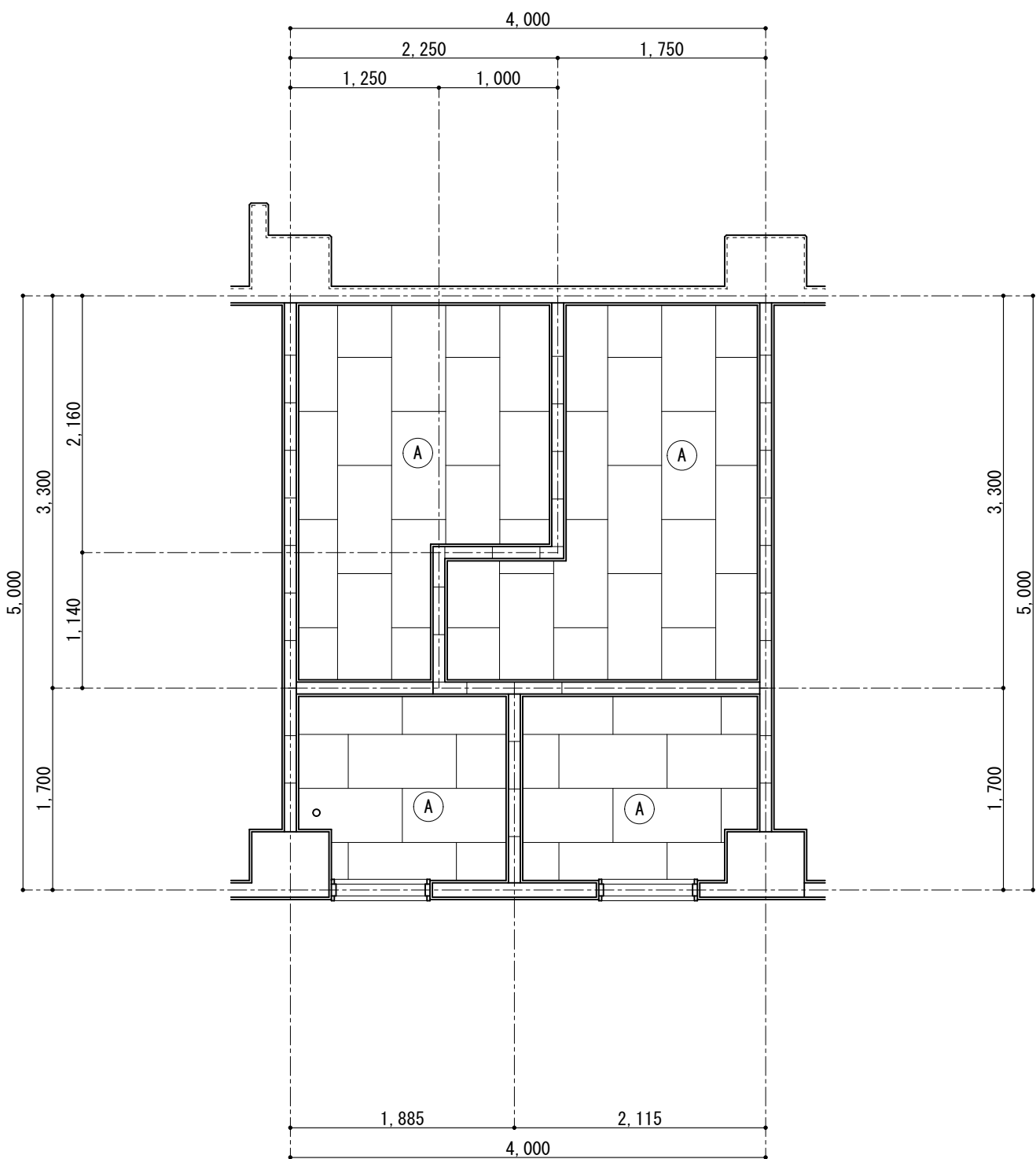


既存

1F

Ⓐ ケイ酸カルシウム板厚6張り 撤去 (LGS撤去)

共通 塩ビ廻縁撤去



改修

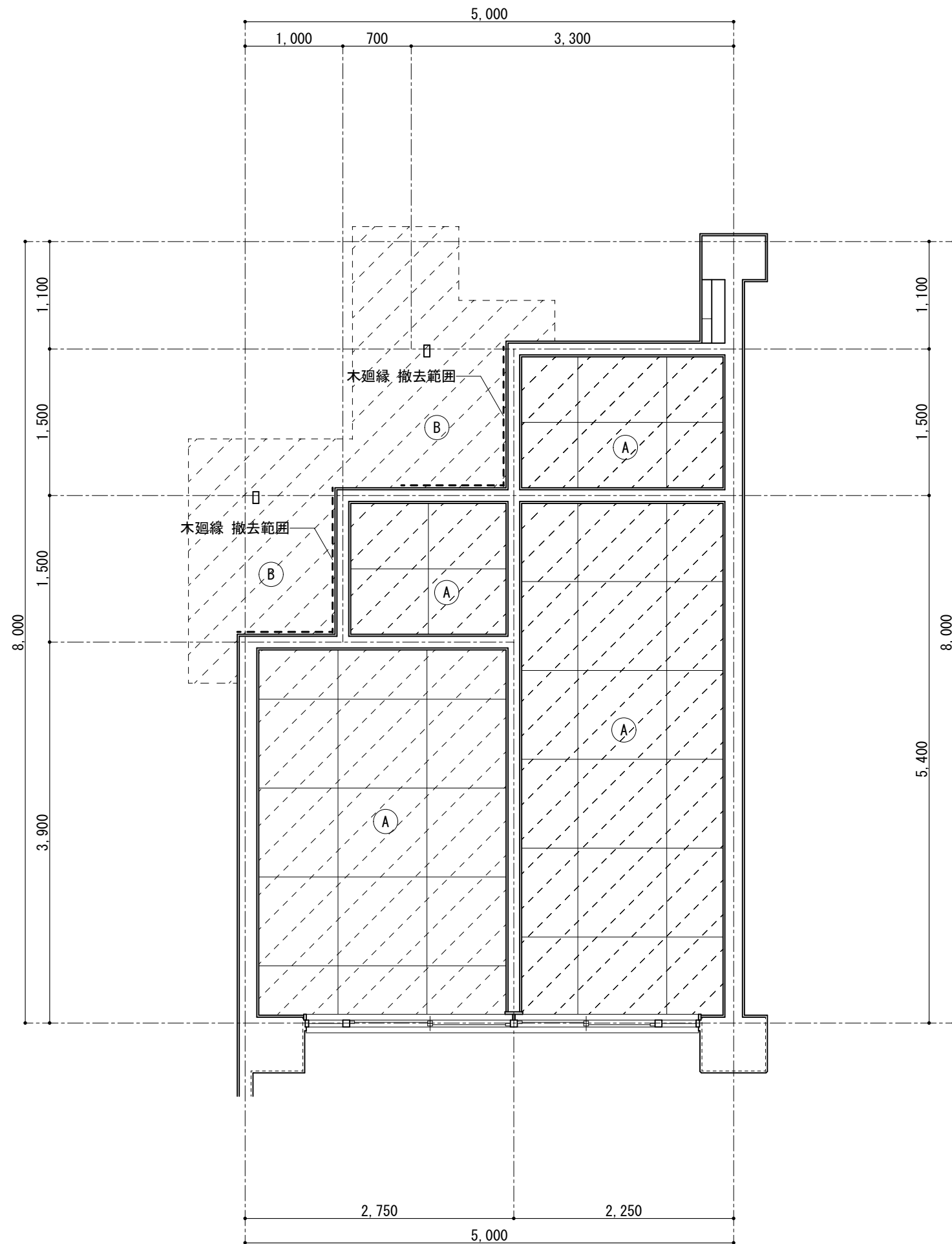
1F

Ⓐ LGS下地 化粧石膏ボード厚9.5張り (トラバーチン)

共通 塩ビ廻縁  
天井点検口 アルミ枠 600角 男子1 女子1

原設計図  
【A2】

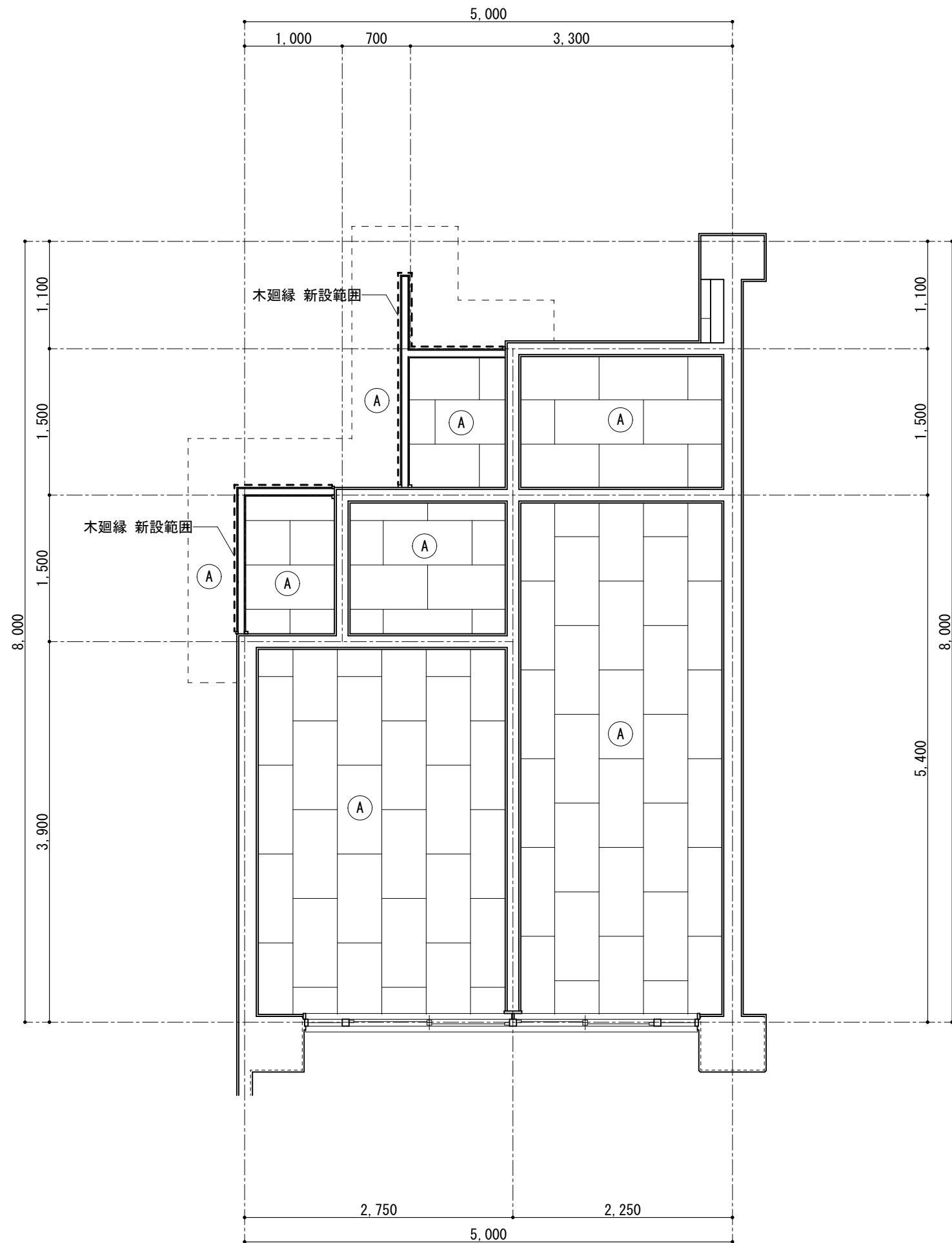
工 事 名	花 里 小 学 校 校 舎 ト イ レ 改 修 工 事		
図 名	職 員 ト イ レ    天 井 伏 図		
縮 尺	1/50	番 号	A20 枚 の 内   14 号
設 計 年 月 日	令 和    8 年    1 月		
設 計	設計室 A L L 株式会社		一級建築士    第206813号 古垣内    克幸
高                      山                      市			



既存  
1F, 2F, 3F

- Ⓐ ケイ酸カルシウム板厚6張り 撤去 (LGS撤去)
- Ⓑ 化粧石膏ボード厚9 撤去 (LGS下地共)

共通 トイレ・手洗い 塩ビ廻縁撤去  
廊下 木廻縁 部分撤去



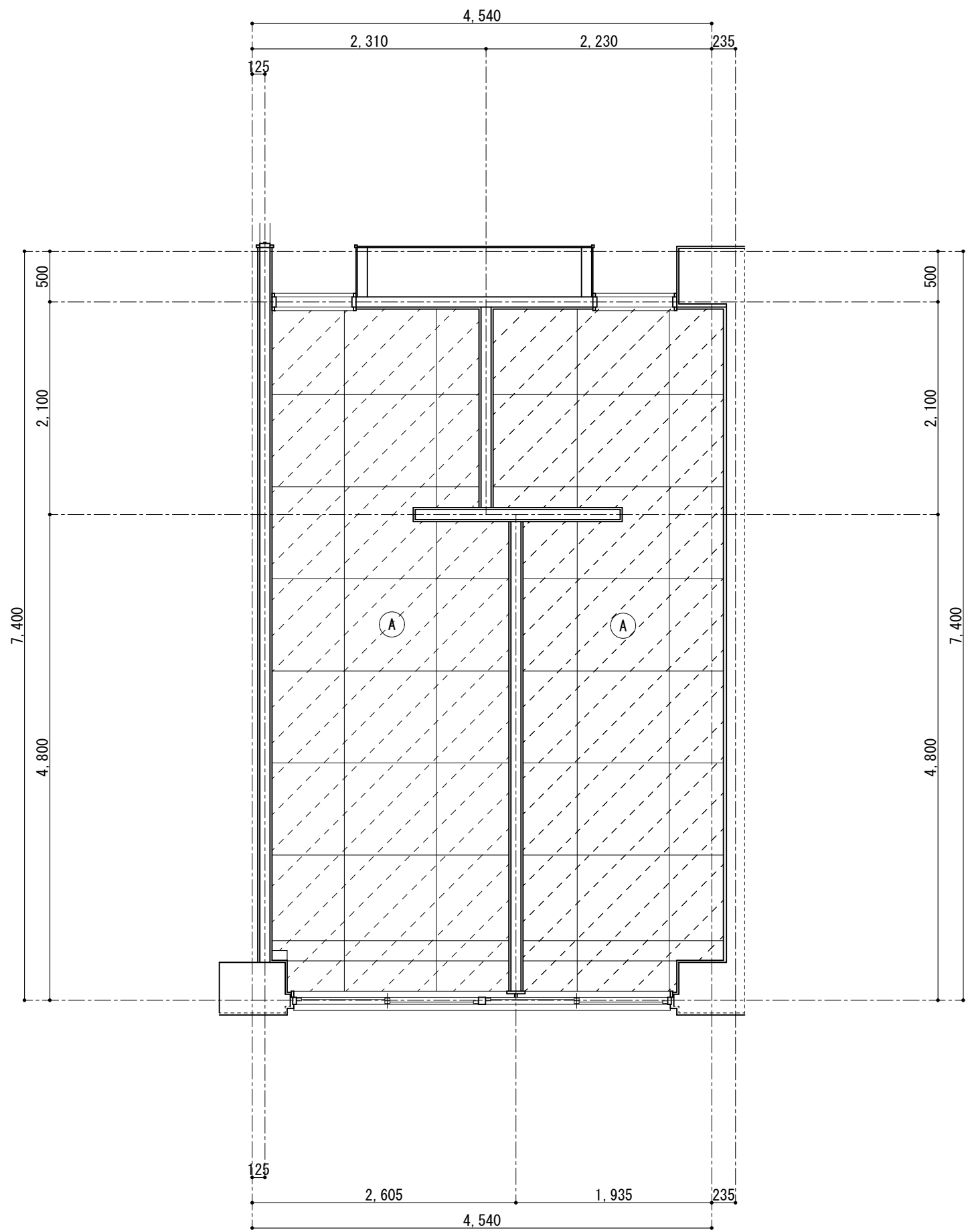
改修  
1F, 2F, 3F

- Ⓐ LGS下地 化粧石膏ボード厚9.5張り (トラパーチン)

共通 トイレ・手洗い 塩ビ廻縁  
廊下 木廻縁新設 SOP 及び既存廻縁 SOP  
天井点検口 アルミ枠 600角 男子1 女子1

原設計図  
【A2】

工 事 名	花里小学校校舎トイレ改修工事		
図 名	普通教室棟トイレ 天井伏図		
縮 尺	1/50	番号	A20 枚の内 15 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 1 月		
設 計	設計室 A L L 株式会社		一級建築士 第206813号 古垣内 克幸
高 山 市			

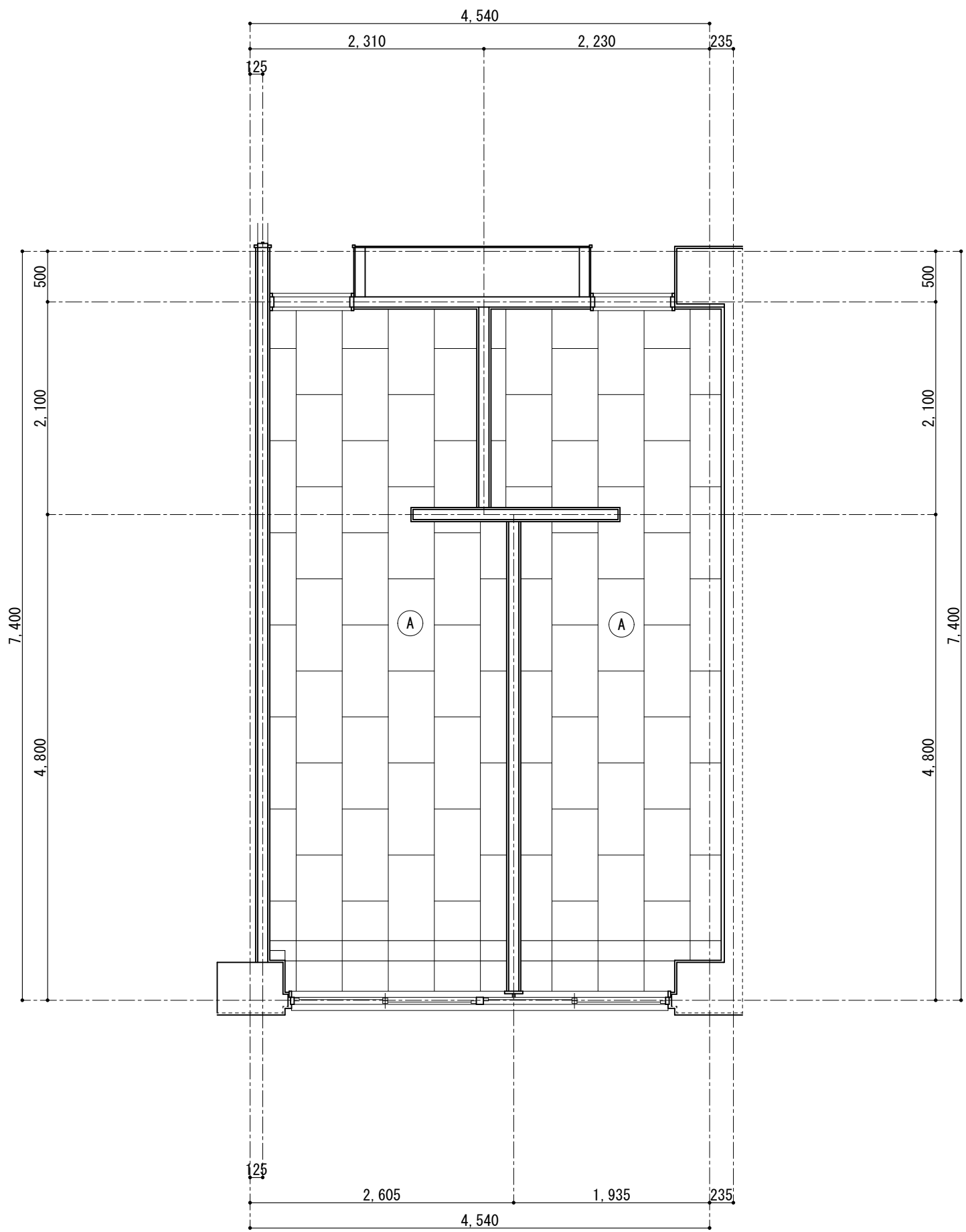


既存

1F, 3F

① ケイ酸カルシウム板厚6張り 撤去 (LGS撤去)

共通 塩ビ廻縁撤去



改修

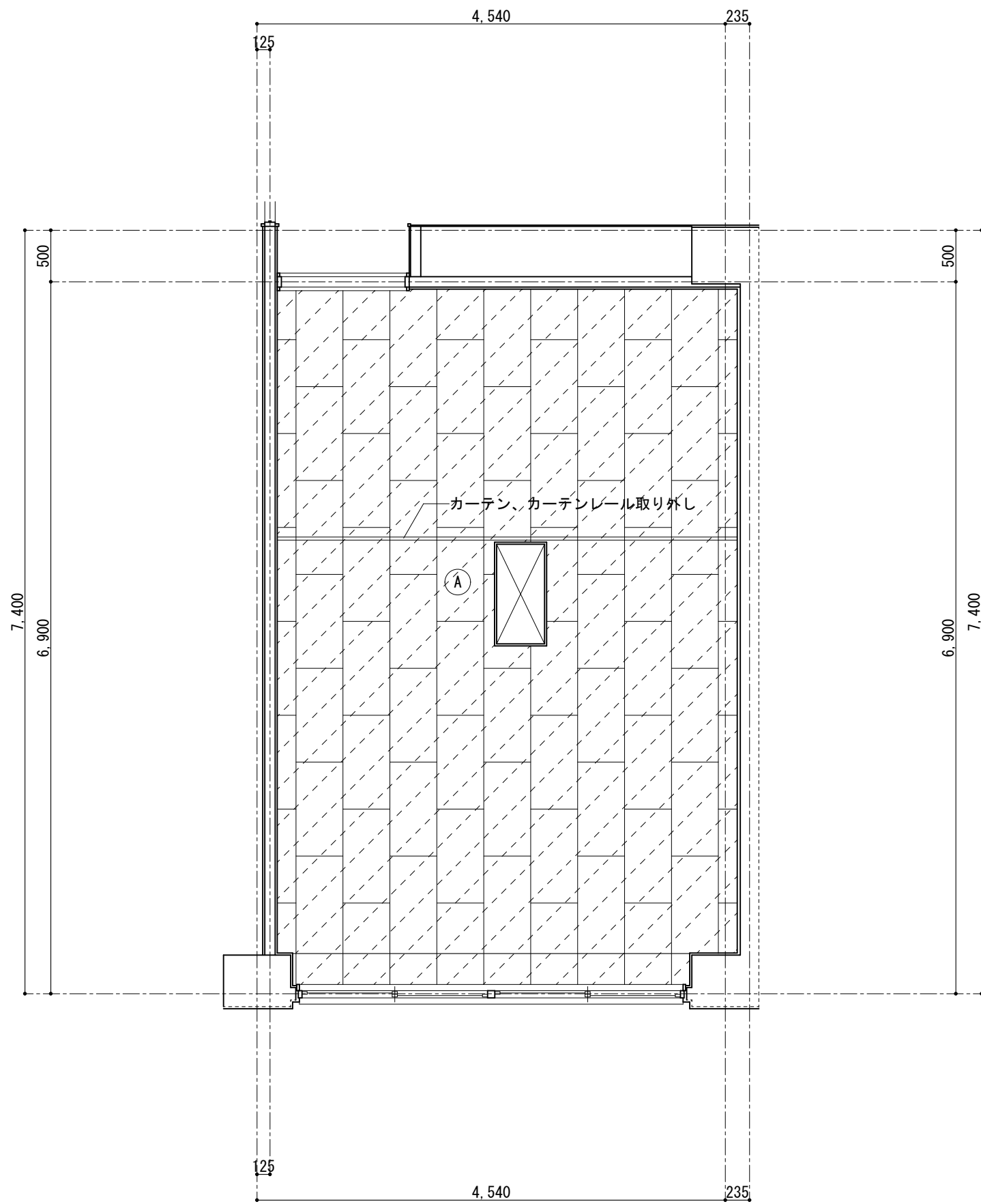
1F, 3F

① LGS下地 化粧石膏ボード厚9.5張り (トラバーチン)

共通 塩ビ廻縁  
天井点検口 アルミ枠 600角 男子1 女子1

原設計図  
【A2】

工 事 名	花里小学校校舎トイレ改修工事		
図 名	特別教室棟トイレ 天井伏図		
縮 尺	1/50	番 号	A20 枚の内 16 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 1 月		
設 計	設計室A L L株式会社		一級建築士 第206813号 古垣内 克幸
高 山 市			

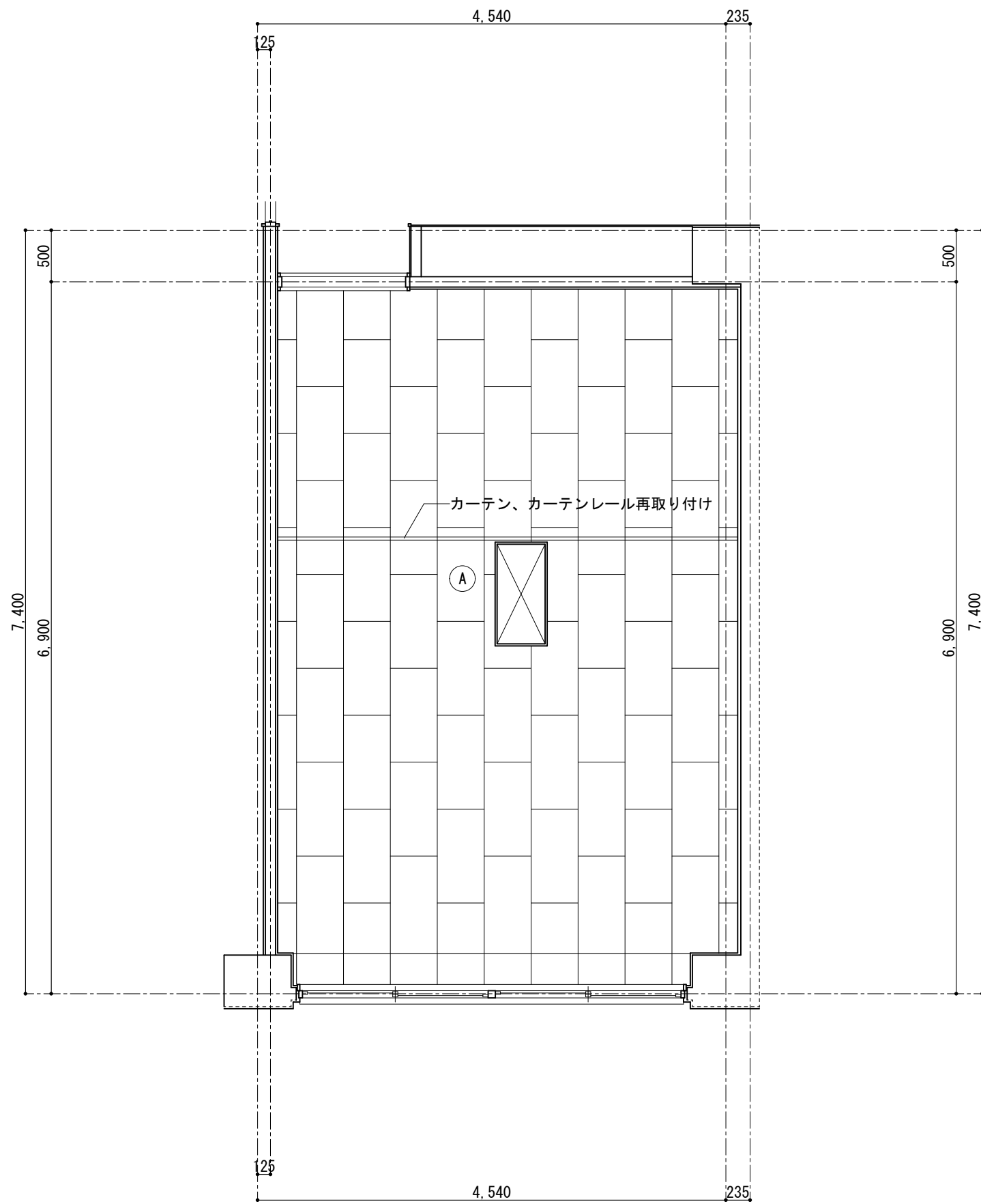


既存

2F

Ⓐ 化粧石膏ボード厚9張り 撤去 (LGS撤去)

共通 塩ビ廻縁撤去



改修

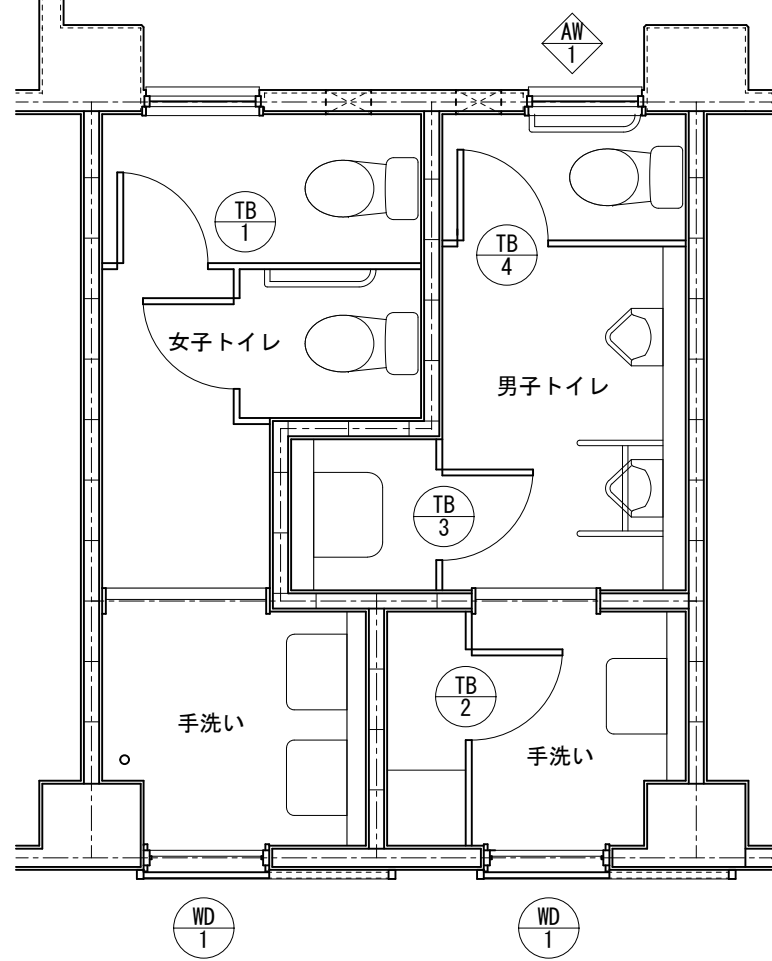
2F

Ⓐ LGS下地 化粧石膏ボード厚9.5張り (トラバーチン)

共通 塩ビ廻縁  
天井点検口 アルミ枠 600角 2ヶ所

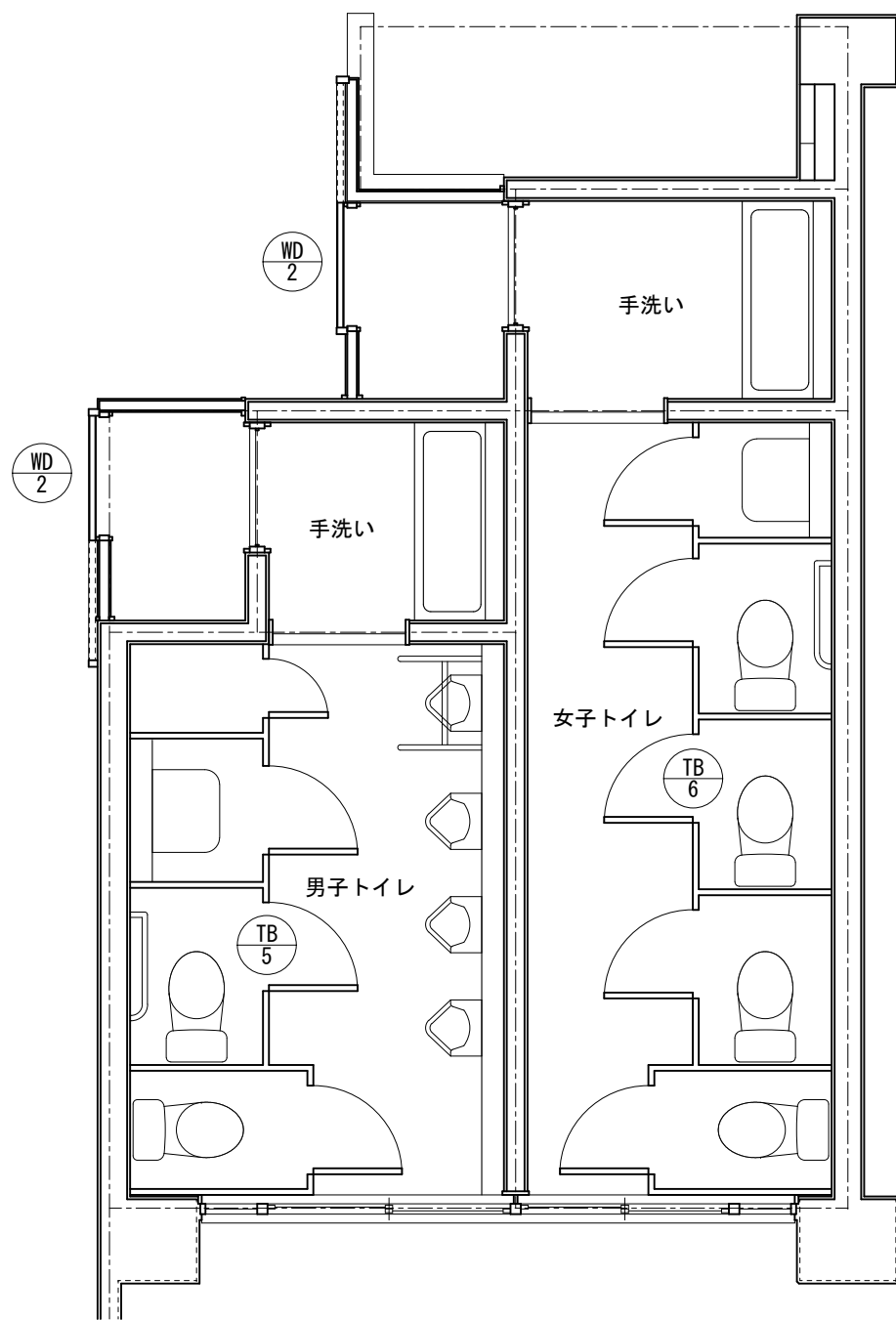
原設計図  
【A2】

工 事 名	花里小学校校舎トイレ改修工事		
図 名	特別教室棟パワーアップ教室 天井伏図		
縮 尺	1/50	番 号	A20 枚の内 17 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 1 月		
設 計	設計室A L L 株式会社		一級建築士 第206813号 古垣内 克幸
高 山 市			



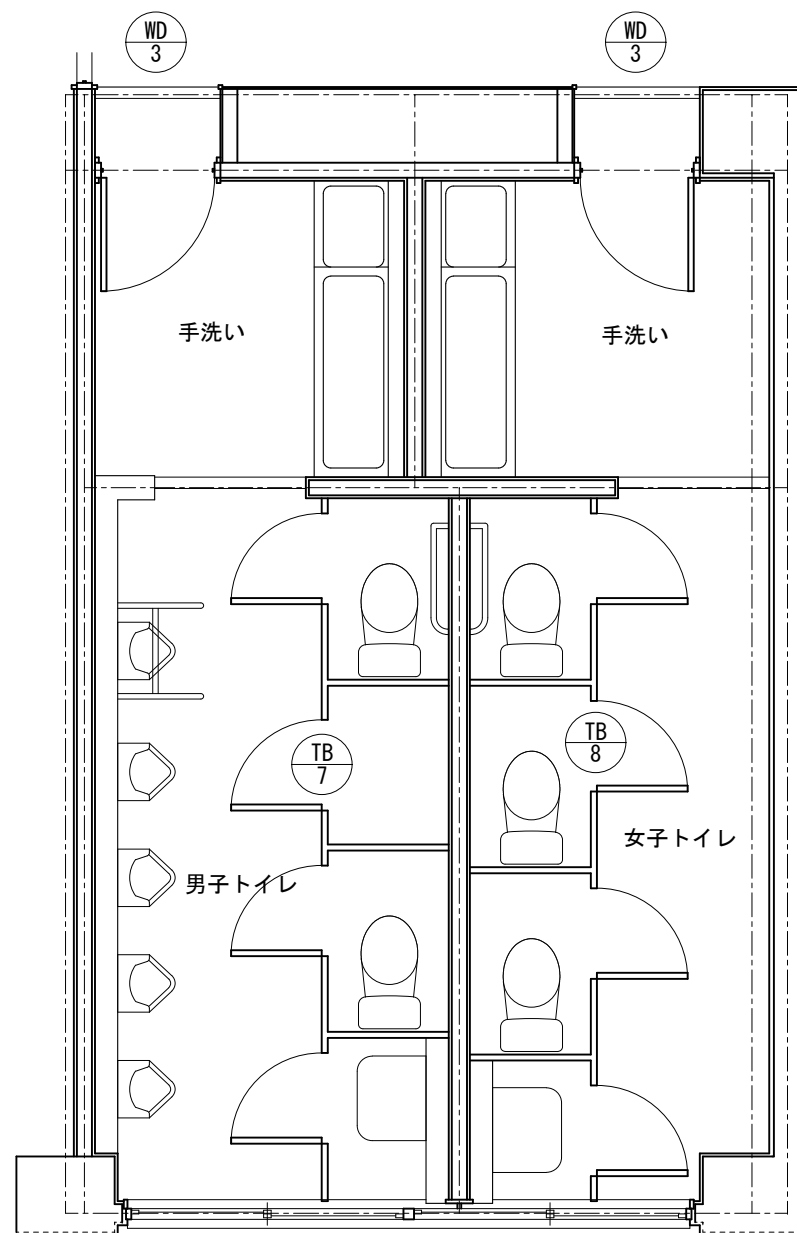
職員トイレ

1F



普通教室棟トイレ

1F, 2F, 3F



特別教室棟トイレ

1F, 3F

原設計図  
【A2】

工 事 名	花里小学校校舎トイレ改修工事		
図 名	建具配置図		
縮 尺	1/50	番 号	A20 枚の内 18 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 1 月		
設 計	設計室 A L L 株式会社		一級建築士 第206813号 古垣内 克幸
高 山 市			





符号・名称	TB 7 トイレブース 特別教室棟 男子トイレ 2ヶ所(1F, 3F)		TB 8 トイレブース 特別教室棟 女子トイレ 2ヶ所(1F, 3F)		
姿図					
見 込	40		40		
仕 上	ポリ合板フラッシュ		ポリ合板フラッシュ		
ガラス					
金 物	SUS幅木、笠木、引手、スライドラッチ(表示付)、ラバトリーヒンジ、アルミエッジ		SUS幅木、笠木、引手、スライドラッチ(表示付)、ラバトリーヒンジ、アルミエッジ		
備 考	雑巾掛けSUSバーL=500, 物掛けフック5本		雑巾掛けSUSバーL=500, 物掛けフック5本		
符号・名称	WD 1 片引きフラッシュ戸 職員男子・女子トイレ 2ヶ所	WD 2 片引きフラッシュ戸 普通教室棟 男子・女子トイレ 6ヶ所(1F, 2F, 3F)	WD 3 片開きフラッシュ戸 特別教室棟 男子・女子トイレ 4ヶ所(1F, 3F)	AW 1 ルーバー窓 職員男子トイレ 1ヶ所	
見 込	36	36	36		
仕 上	ポリ合板フラッシュ	ポリ合板フラッシュ	ポリ合板フラッシュ		
ガラス	型板ガラス 厚4	型板ガラス 厚4	型板ガラス 厚4	型板ガラス 厚4	
金 物	引手、戸車、SUSレール、引き残し用可動戸当たり、戸当たり緩衝材	引手、戸車、SUSレール、引き残し用可動戸当たり、戸当たり緩衝材	レバーハンドル、丁番、ドアクローザー		
備 考					

工事名	花里小学校校舎トイレ改修工事		
図 名	建具図 2		
縮 尺	1/50	番号	A20 枚の内 20 号
設 計 年月日	令和 8 年 1 月		
設 計	設計室A L L株式会社	一級建築士 第206813号 古垣内 克幸	
高 山 市			

仕様書

電気設備工事仕様書

I. 工事概要

1. 工事名称

花里小学校校舎トイレ改修工事

2. 工事場所

岐阜県 高山市 花里町 1丁目54

3. 建物概要

建物名称	構造	階数	延面積(m <sup>2</sup> )	消防法施行令別表第一	備考
管理普通教室	煉	RC	3	7項 ( )	改修
特別教室	煉	RC	4	7項 ( )	改修
	煉			項 ( )	
	煉			項 ( )	
	煉			項 ( )	

4. 工事項目

(○ 印内に番号記入のものと及び 印のみ適用する)

建物名称 工事項目	管理 普通教室 煉	特別教室 煉	煉	煉	煉	煉	屋外 その他
○ 高圧受変電設備							
○ 自家発電設備							
○ 幹線設備	○						
○ 動力設備							
○ 電灯設備							
○ 照明設備	○						
○ コンセント設備	○						
○ 放送・電気時計設備							
・ 館内放送 設備							
・ 設備							
・ 電気時計設備							
○ 電話設備							
・ 電話用配線設備							
・ LAN用配線設備							
○ 表示・警報設備							
・ トイレ呼出表示設備							
・ 警備保障会社用配管設備							
・ ITV設備							
○ インターホン設備							
○ テレビ共聴設備							
○ 防災設備							
・ 自動火災報知設備							
・ 自動閉鎖装置設備							
・ ガス漏れ警報設備							
・ 誘導灯設備							
・ 非常用照明設備							
・ 非常警報設備							
・ 漏電火災警報設備							
○ 避雷針設備							
○ 構内配電線路(強電)							
○ 構内配電線路(弱電)							
○ 太陽光発電設備							

5. 別途工事

○建築工事 ○機械設備工事

II. 工事仕様

1. 共通仕様

(○ 印のみ適用する)

特記仕様及び図面に記載なき事項は、全て下記仕様による。

○ 工事請負契約書

○ 公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編) 令和4年度版 (国土交通大臣官房官庁宮構部監修)

○ 公共建築設備工事標準図(電気設備工事編) 令和4年度版 (国土交通大臣官房官庁宮構部監修)

○ 公共建築改修工事標準仕様書 令和4年度版 (国土交通大臣官房官庁宮構部監修)

・ 公共住宅建設工事共通仕様書 令和4年度版 (公共住宅事業者等連絡協議会監修)

○ 内線規程 2022年度版 (電気技術基準調査委員会編集)

○ 放送機器、通信機器、その他弱電機器等の仕様は、各機材メーカー標準と読み替える。

2. 特記仕様

(項目は番号に ○ 印記入のもの、選択式の特記事項は 印のみ適用する)

項目	特記事項
○ 適用範囲(1)	この特記仕様書、図面及び現場説明書(質疑応答を含む)に記載されていない事項は全て国土交通大臣官房官庁宮構部監修の公共建築工事標準仕様書(最新版)、公共建築改修工事標準仕様書(最新版)による。設計図書等に相違がある場合の優先順位は下記の通りとする。 1) 質疑応答書 2) 現場説明書 3) 工事仕様書 4) 標準特記仕様書(添付された場合に限り) 5) 図面 6) 公共建築改修工事標準仕様書 7) 公共建築工事標準仕様書
○ 適用範囲(2)	
○ 法規等の事項	本工事に関係する法律、政令、省令、告示、条令、各地方公共団体の内規基準、指針、指導等に準拠する。 受注者は、公共建築工事標準仕様書に基づき施工するものとする。 高山市ホームページ上に示された書類とし、監督員協議によりその一部を省略することができる。
○ 提出書類	

共通事項

⑤ 下請負契約

⑥ 事故報告

⑦ 質疑

⑧ 設計変更

⑨ 軽微な変更等

⑩ 立会検査

⑪ 使用材料

⑫ ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物

⑬ 再資源化施設への搬出

⑭ 再生資材の利用

⑮ はつり

⑯ 耐震施工

17 残土処分

⑱ 配線器具

⑲ フラッシュプレート

20 別途工事

㉑ 工事方法

本工事において、下請契約を締結する場合には、「高山市契約条例」(平成30年4月1日施行)に基づき、当該契約の相手方を高山市内に本店(建設業法(昭和24年法律第100号)に規定する主たる営業所含む。)を有する者の中から選定するよう努めること。下請け業者の選定に当たっては高山市入札参加資格停止の処置がされていないこと。  
工事施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督員に通報するとともに、事故発生報告書を監督員に提出する。  
本工事の設計図書に関する質疑は、工事着手前に確かめておかなければならない。設計図書に記載がなくとも、外観上、構造上、当然必要と認められるものは、監督員の指示に従い施工しなければならない。  
建築主の希望、その他により設計変更が生じる時は、原則として当該工事の見積書を予め提出し、承認を受けた後変更工事に着手する。尚この場合の見積単価については契約時のものとする。但し、本工事施工において工術上必要な微細なる工事変更については、監督員の指示に従い受注者の工事費負担により施工する。  
現場の納まり、取り合い等の関係による協議の中で、形状、寸法等の軽微な変更は、監督員の指示による。なお、この場合の請負金額の変更は行わない  
下記の項目については、監督員の立会検査を受け、検査立合記録書に監督員の了承を得るものとする。  
○各種製品検査 ○各種仕上検査 ○工事中間検査及び竣工検査  
○本工事使用資材については、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼンの含まれる量等に充分注意し資材の選定を行うこと。  
○上記が含まれる資材を使用する場合は監督員と協議し、指定濃度となるよう枯らし期間を充分取り施工を行うこと。  
○ホルムアルデヒド及び及び揮発性有機化合物の基準を定める。

ホルムアルデヒド	100μg/m <sup>3</sup> (0.08ppm)以下
トルエン	260μg/m <sup>3</sup> (0.07ppm)以下
キシレン	870μg/m <sup>3</sup> (0.20ppm)以下
スチレン	220μg/m <sup>3</sup> (0.05ppm)以下
エチルベンゼン	3,800μg/m <sup>3</sup> (0.88ppm)以下
パラジクロロベンゼン	240μg/m(0.04ppm)以下

○受注者は上記の基準以下であることを別途建築工事を行う検査にて確認し、工期内に引渡しを行うこと。又ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の濃度が基準値以上だった場合は、受注者が直ちに原因を特定し汚染源の除去を行い再度検査確認をする。除去及び再検査に要し棄物の適正処理に関する条例「岐阜県建設廃棄物適正処理の三原則」の規定を遵守し適正に処理する。  
混合物の処理については管理型最終処分場に持ち込むものとする。  
工事に伴い発生する建設廃棄物のうち、次のものは再資源化施設へ搬出とする。  
○コンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊 ○木屑・繊維屑 ・プラスチック屑  
○石膏ボード ○鉄・アルミ・ステンレス屑 ・ガラス・陶磁器屑  
下記の資材については再生資材を使用する。

資材名	規格	使用場所
再生加熱アスファルト混合物	プラント再生舗装技術指針(日本道路協会)	構内アスファルト
再生クラッシャーラン		アスファルト舗装下

はつり工事は、事前に走査式埋設物調査を行い、監督員に報告を行うこと。 既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開けは、図面に特記のない場合はダイヤモンドカッターによる。  
設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針 2005年版」(国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修)による。なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。  
1) 設計用水平地震力  
機器の重量[kgf]に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。  
なお、特記なき場合、設計用標準水平震度は、次による。

設置場所	機器種別	特定の施設	一般の施設
上層階	機器	2.0	1.5
屋上及び塔屋	防振支持の機器	2.0	2.0
	大角形(※1)	2.0	1.5
中層階	機器	1.5	1.0
	防振支持の機器	1.5	1.5
	大角形(※1)	1.5	1.0
地下・1階	機器	1.0	0.5
	防振支持の機器	1.0	1.0
	大角形(※1)	1.5	1.0

【備考】(※1):大角形には、オイルタンク等を含む。  
重要機器  
・配電機  
・交換機  
・土留めの定着  
・2～6階建の場合は地上層、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。  
・発電装置  
・自動火災報知受信機  
・2～6階建の場合は地上層、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。  
・直流無停電電源装置  
・中央監視装置

②② 照明器具の吊ボルト

②③ 工事保証

②④ 経年検査

②⑤ 施工調査

②⑥ 工事中手前協議

②⑦ ディーゼルエンジン車面の適正燃料の使用について

②⑧ 改修工事注記事項

②⑨ 撤去工事注記事項

○ 建築基準法及び消防法で定められた非常用電源回路には、赤色で用途を明記する。  
○ 分電盤からの立上り予備配管として、予備の配線用遮断器が4個以下の場合はPF-S22を1本、5個以上の場合は2本以上天井裏まで立上げる。(露出配管の場合は屋内:E-25、屋外:G-22とする)  
○ 配管工事のみで電線を入線しない場合は、導入線(1.2m/mビニル被覆鉄線)を挿入する。  
○ 鋼製電線管の露出部分の塗装箇所は、監督員の指示による。(エッチングプライマー下処理の後、指定色OP2回塗り)  
○ 位置ボックスは、原則としてアウトレットボックスとする。  
○ 建物内で、配管の1区間が30m以上となる場合は、途中にプルボックス又はジョイントボックスを設ける。  
○ F.P板(スタイロフォーム等)打込みの部分に取付ける位置ボックスには、保温及び結露防止処置を施す。(外壁部のみ)  
○ ジョイントボックス等、配線器具を突装しない位置ボックスに取付けるプレートには、用途を明記する。  
○ 分電盤、制御盤及び端子盤には、盤名称を記したネームプレート(樹脂製、エッチング文字)を設ける。  
○ 防火区画貫通部の耐火処置の仕様は下記とする。  
(イ)建築基準法 告示 第3183号に準拠  
(ロ)(財)日本建築センター(BCJ)防災評定品の使用  
(イ)吊りボルトを必要とする機種及び施工方法は「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)」及び「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)」によりものとする。  
改修工事に於いて吊りボルト用あと施工用アンカーは本工事とする。  
(ロ)その他の照明器具は、上記による他、位置ボックスにネジ止め、又はフィックスチュアスタッド等を使用し支持する。  
(ハ)特殊な照明器具は、上記による他、監督員の指示による。  
建築竣工引渡し後、原則として5年以内(特に指定のある工種を除く)において、工事不良の発生じたと認められる損害等については、受注者の費用負担にて迅速丁寧に改修しなければならない。ただし工事不良が故意又は重大な過失により生じた場合は10年間とする。  
建築竣工引渡し後1年が経過した時点において監督員立合のもとで1年検査を行い、工事不良の発生じたと認められる損害等についても、監督員の指示に従い改修しなければならない。尚、その費用については受注者の負担とする。  
○ 事前調査( ○本工事 ・別途 )  
○ 調査項目( ○既存資料調査 ○既設配線ルート )  
○ 調査範囲( ・図示 ○工事範囲 )  
○ 調査方法( ○図示 ○目視 )  
1) 本工事の受注者は、契約後1～2週間以内に設計書内容について、監督員と工事着手前協議を行うこと。  
2) 協議に当たっては、別に定める「施工打ち合わせ記録簿」に協議事項を記入し、打ち合わせに持参すること。なお、協議日の設定については、受注者側が事前に監督員と連絡をとり設定しておくこと。  
3) 協議に当たって、発注者側は監督員及び係長又は課長、受注者側は現場代理人及び主任技術者が出席するものとする。  
4) 協議時、「施工打ち合わせ記録簿」の回答(その他)欄は監督員が記入し、最後に確認を行い監督員・係長又は課長の確認印を押押し、写しを現場代理人(主任技術者)が受け取ること。  
1) ディーゼルエンジンを動力とする車面にはJIS規格の軽油を使用すること。  
2) ディーゼルエンジンを動力とする車面の燃料検査があった場合には協力すること。  
○ 本設計図書は、既存建物の新築時に於ける設計図に基づいて作成されている。従って新築時の納まり、取合い等による変更、又は竣工後に行われた増改築及び設備の増設等により、既存の状態と既存図面との間に差異が生じ、本設計図書によることが困難な場合は、監督員と打合せの上、その指示に従う。  
○ 撤去工事に於いて、事前に工事前施工調査を行い既設設備の状況を把握した上で施工するものとする。  
○ 図記明記無き場合でも建築工事又は機械設備工事に於いて、天井張替え、壁張替え及び機器取り外し→再取付等に伴う既設電気設備機器の○ 図面明記無き場合でも改修工事に於いて不要となる機器は監督員と協議の上、原則撤去処分とする。  
○ 不要となる隠蔽部既設配管を利用し、新設配線を施工出来る部分については積極的に利用とする。  
○ 図面上、配管及び線び施工表記の部分も調査の上、ケーブル隠蔽施工が可能な場合はケーブル隠蔽施工とする。  
○ 上記、2項目に於いて金額の増減は無いものとする。  
○ 既設配管は改修工事に支障無き場合を除き原則として現状のまま廃止する。 建築工事に於いて天井撤去、壁撤去に伴い一緒に撤去される配管は建築工事に於いて処分とする。  
○ 既設配線は改修工事に支障無き場合を除き原則として現状のまま廃止する。 建築工事に於いて天井撤去、壁撤去に伴い一緒に撤去される配線は建築工事に於いて処分とする。  
○ 上記に於いて廃止となる配線は端末処理の上、「未使用」表記を行うものとする。

共通事項

⑩ 工事中の既設設備

⑪ その他

① 幹線設備

② 配線方法

③ 分電盤

① 電気方式

・ 動力 三相3線式 200V

・ " 三相4線式 V

○ 電灯 単相3線式 200/100V

・ " 単相2線式 200V

・ " 単相2線式 100V

○ 鋼製電線管 ○ 合成樹脂可とう電線管(PF)

・ 硬質ビニル電線管(VE) ・ 金属ダクト

・ ケーブルラック ○ 線び配線

○ ケーブル配線 ・

ドアの裏面の充電部には、感電防止処置を施す。

② 電灯設備

③ 照明器具の吊ボルト

4 床付コンセント

5 照度測定

⑥ 設計照度

○ 単相2線式 200V

○ 単相2線式 100V

○ 鋼製電線管 ○ 合成樹脂可とう電線管(PF)

・ 硬質ビニル電線管(VE) ・ 金属ダクト

・ ケーブルラック ○ 線び配線

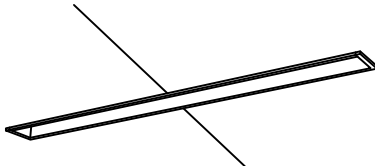
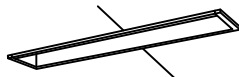
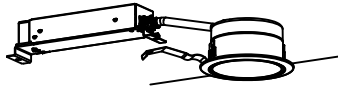

○ ケーブル配線 ・

(イ)吊りボルトを必要とする機種及び施工方法は「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)」及び「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)」によりものとする。  
  
(ロ)その他の照明器具は、上記による他、位置ボックスにネジ止め、又はフィックスチュアスタッド等を使用し支持する。  
(ハ)特殊な照明器具は、上記による他、係員の指示による。  
(ニ)照明器具を木、その他可燃物に取付ける場合は、遮熱を考慮する。  
・ ワンタッチ飛び出し型 ・ インナー型  
・ ハイテンション型 ・ フリーアクセスフロア適合品  
照度測定を行い測定結果を係員に提出。最低照度は図面参考とする。  
照度基準は日本工業規格照度基準JIS Z 9110-11(学校)に基づき、基準以上の照度とする。

原設計図【A2】

工事名	花里小学校校舎トイレ改修工事		
図名	電気設備工事仕様書		
縮尺	N:S	番号	E09 枚の内 01号
設計年月日	令和 8年 1月		
設計	設計室ALL株式会社	一級建築士 第206813号	古垣内 克幸
高山市			

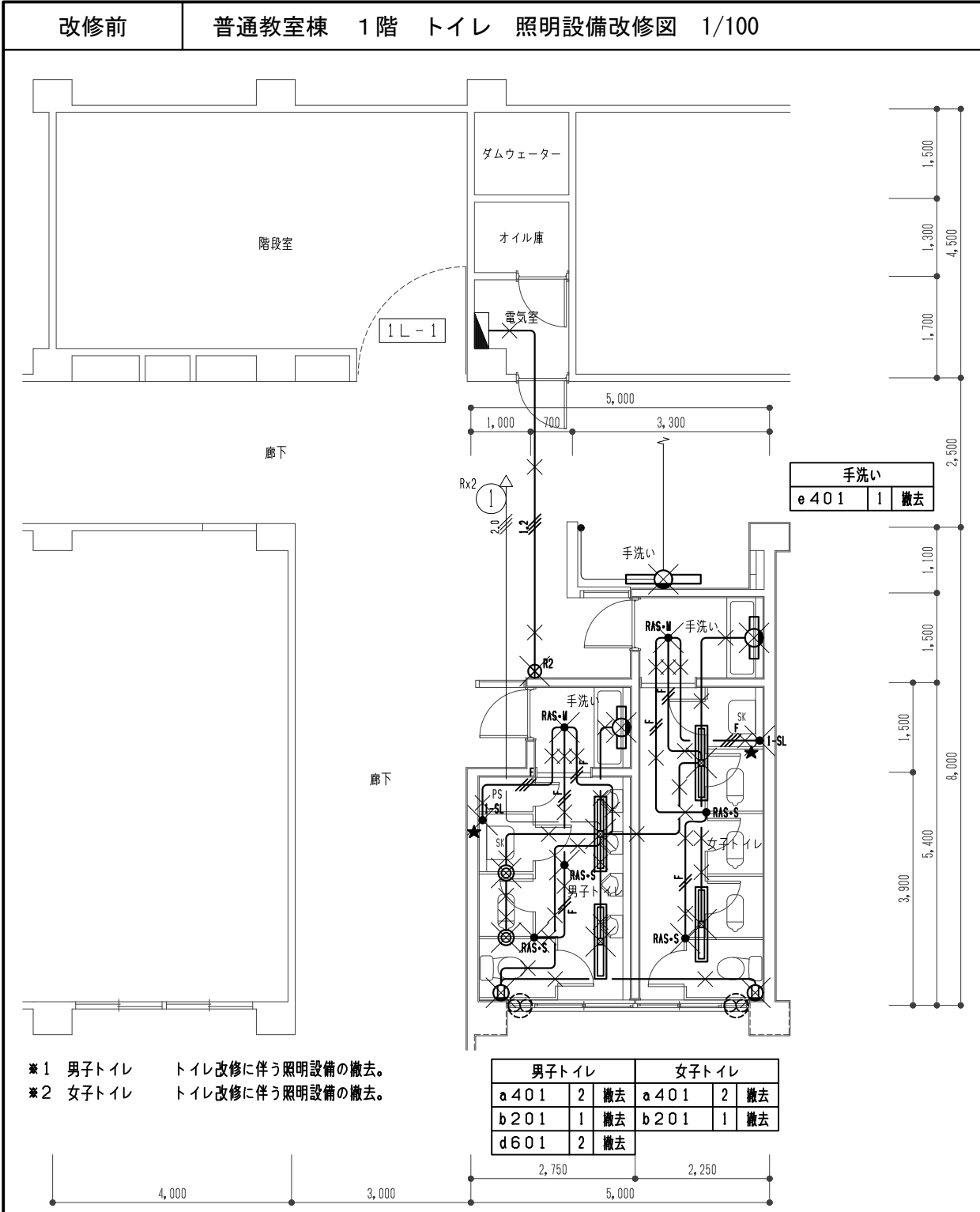
改修後			新設電灯分電盤結線図																	
名 称 ・ 仕 様			結 線 図	分 岐 回 路															備考及びその他取付機器	
				回路番号	電圧 (V)	分 岐 開 閉 器					リモコンリレー 1P20A/2P20A	負 荷 名 称	負 荷 容 量 (KW,V A)							
						MCCB	ELCB	P	AF	AT			電灯	コンセント	空調機	その他				
分電盤名称			1L-2-1		Ⓐ	100	○	2P1E	30	20		男子トイレ	ウォシュレット	350						
キャビネット形式			露出・埋込両用型		Ⓑ	100	○	2P1E	30	20		女子トイレ	ウォシュレット	350						
			鋼板製 焼付塗装		Ⓒ	100	○	2P1E	30	20		女子トイレ	ウォシュレット	350						
			市販品 鍵付		Ⓓ	100	○	2P1E	30	20		予備								
電気方式	相線	単相三線式	Ⓔ		100・200			2P E	30			開閉器スペース								
	電圧	200/100V	⓫		100・200			2P E	30			開閉器スペース								
負荷容量			1.050kVA																	
主幹器具	種類	MCCB 3P2E																		
		中性線欠相保護付																		
	定格電流	50AF																		
40AT			分電盤取付高：盤上面＝天井面																	
備 考																				
W：350、H：320、D：95			MODEL) HWD3N4-42																	
キー付平面ハンドル			＊分岐開閉器は全てELCBに組替								計		1050							
分電盤名称			1L-1-1 2L-1-1 3L-1-1		Ⓐ	100	○	2P1E	30	20		男子トイレ	ウォシュレット	350						
キャビネット形式			露出・埋込両用型		Ⓑ	100	○	2P1E	30	20		男子トイレ	ウォシュレット	350						
			鋼板製 焼付塗装		Ⓒ	100	○	2P1E	30	20		女子トイレ	ウォシュレット	350						
			市販品 鍵付		Ⓓ	100	○	2P1E	30	20		女子トイレ	ウォシュレット	350						
電気方式	相線	単相三線式	Ⓔ		100	○	2P1E	30	20		女子トイレ	ウォシュレット	350							
	電圧	200/100V	⓫		100	○	2P1E	30	20		女子トイレ	ウォシュレット	350							
負荷容量			2.100kVA		⓪	100	○	2P1E	30	20		予備								
主幹器具	種類	MCCB 3P2E																		
		中性線欠相保護付																		
	定格電流	50AF																		
40AT			分電盤取付高：盤上面＝天井面																	
備 考																				
W：350、H：320、D：95			MODEL) HWD3N4-80																	
キー付平面ハンドル			＊分岐開閉器は全てELCBに組替								計		2100							
分電盤名称			1L-4-1 3L-2-1		Ⓐ	100	○	2P1E	30	20		男子トイレ	ウォシュレット	350						
キャビネット形式			露出・埋込両用型		Ⓑ	100	○	2P1E	30	20		男子トイレ	ウォシュレット	350						
			鋼板製 焼付塗装		Ⓒ	100	○	2P1E	30	20		女子トイレ	ウォシュレット	350						
			市販品 鍵付		Ⓓ	100	○	2P1E	30	20		女子トイレ	ウォシュレット	350						
電気方式	相線	単相三線式	Ⓔ		100	○	2P1E	30	20		女子トイレ	ウォシュレット	350							
	電圧	200/100V	⓫		100	○	2P1E	30	20		予備									
負荷容量			1.750kVA		⓪	100-200			2P E	30		開閉器スペース								
主幹器具	種類	MCCB 3P2E																		
		中性線欠相保護付																		
	定格電流	50AF																		
40AT			分電盤取付高：盤上面＝天井面																	
備 考																				
W：350、H：320、D：95			MODEL) HWD3N4-62																	
キー付平面ハンドル			＊分岐開閉器は全てELCBに組替																	
分電盤名称												計		1750						
キャビネット形式																				
電気方式	相線	相 線 式																		
	電圧	/ V																		
負荷容量			. kVA																	
主幹器具	種類	MCCB P E																		
		中性線欠相保護付																		
	定格電流	AF																		
AT																				
備 考																				

改修後		新設照明器具一覧表												
A321H		LED×1 (20.3W) (昼白色) 2940mm (FHF32W×1高出力相当)			B162H		LED×1 (20.1W) (昼白色) 2940mm (FHF16W×2高出力相当)			C100		LED×1 (7.0W) (昼白色) 1020mm (FDL27W×1相当)		
							埋込穴：100φ 光源：拡散型							
MODEL) 埋込XF430WEN LE9					MODEL) 埋込XF230WEN LE9					MODEL) XND1039SN LE9				
本 体		鋼板 (白色粉体塗装)			本体		鋼板 (白色粉体塗装)			反射板(上部)		プラスチック (ホワイ ト)		
		W：100					W：100			反射板(下部)		鋼板 (銀色鏡面仕上)		
		ボルトフリー (100～242V)					ボルトフリー (100～242V)			枠		鋼板 (ホワイ トつや消し仕上)		
		光源寿命40000時間 (光束維持率85%)					光源寿命40000時間 (光束維持率85%)					ボルトフリー (100～242V)		
												光源寿命40000時間 (光束維持率85%)		
D321H		LED×1 (20.3W) (昼白色) 3110mm (FHF32W×1高出力相当)												
														
MODEL) 直付XF430CEN LE9														
本 体		亜鉛鋼板												
反射板		鋼板 (高反射白色粉体塗装)												
		H：120 D：120												
		ボルトフリー (100～242V)												
		光源寿命40000時間 (光束維持率85%)												

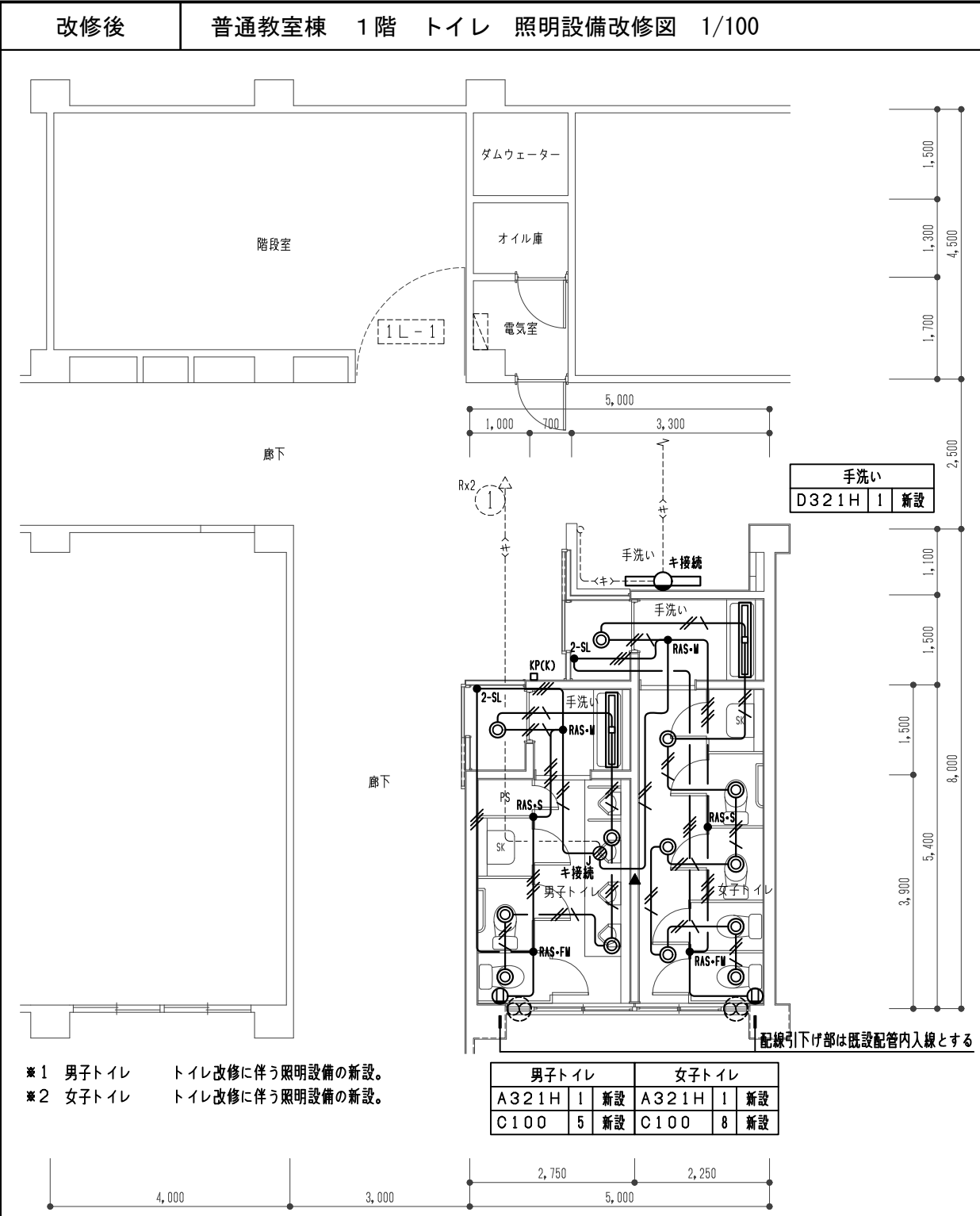
改修前		撤去照明器具一覧表									
記 号	名 称	形 状	撤 去 内 容		現状のまま	備 考					
			撤去	撤去(保留)							
a401	FL40W×1	埋込型 下面解放型	○								
b201	FL20W×1	壁付型 カバー付	○								
c401	FL40W×1	壁付型 コーナー型	○								
d601	IL60W×1	ダウンライト 下面解放型	○								
e401	FL40W×1	壁付型 片反射笠付	○								
f401	FL40W×1	直付型 逆富士型		○							

工事名		花里小学校校舎トイレ改修工事			
図 名		盤類結線図・照明器具一覧表			
縮 尺		N・S	番号	E09 枚の内 02 号	
設 計 年月日		令和 8 年 1 月			
設 計		設計室 A L L 株式会社		一級建築士 第206813号 古垣内 克幸	
原設計図 【A2】		高 山 市			

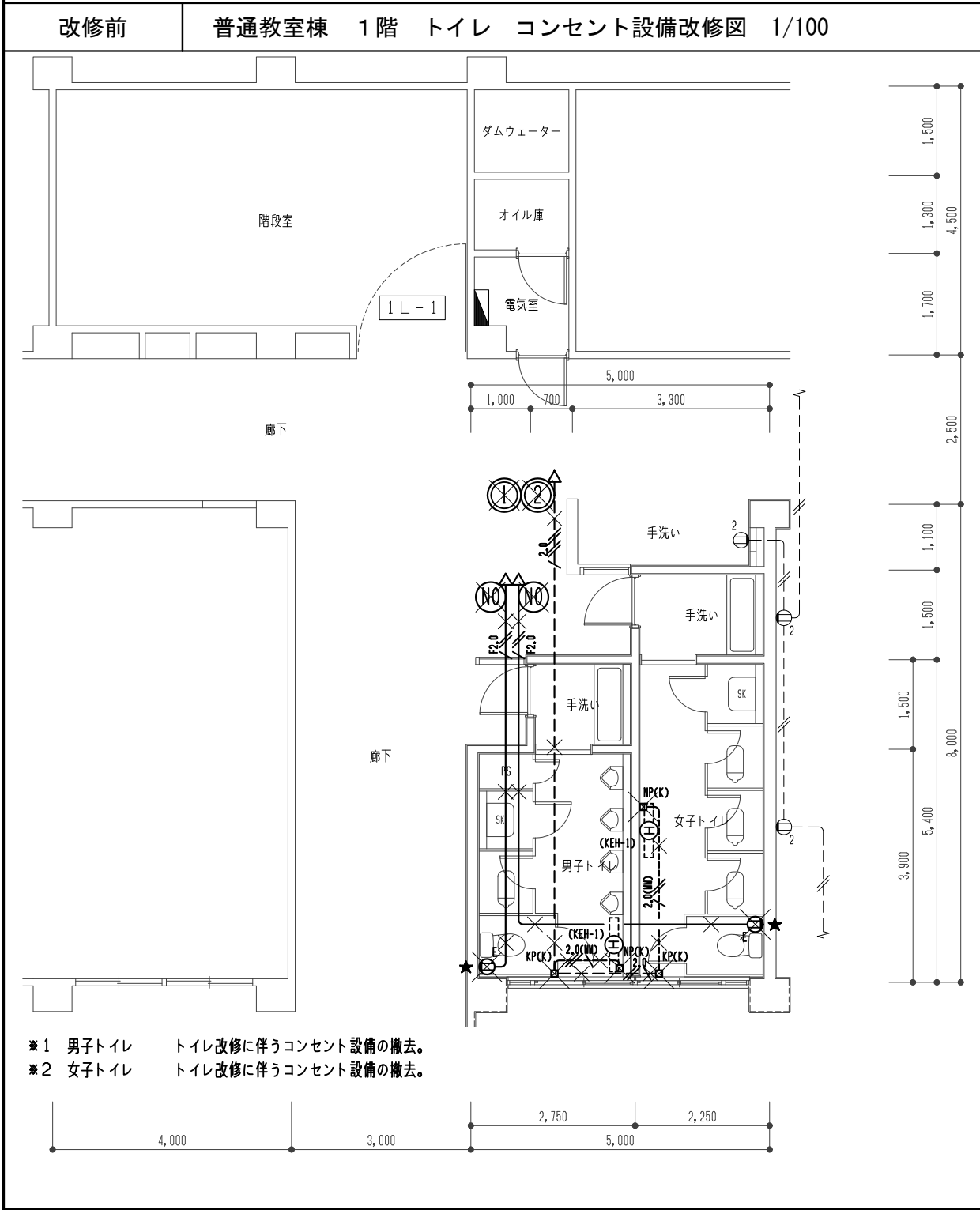




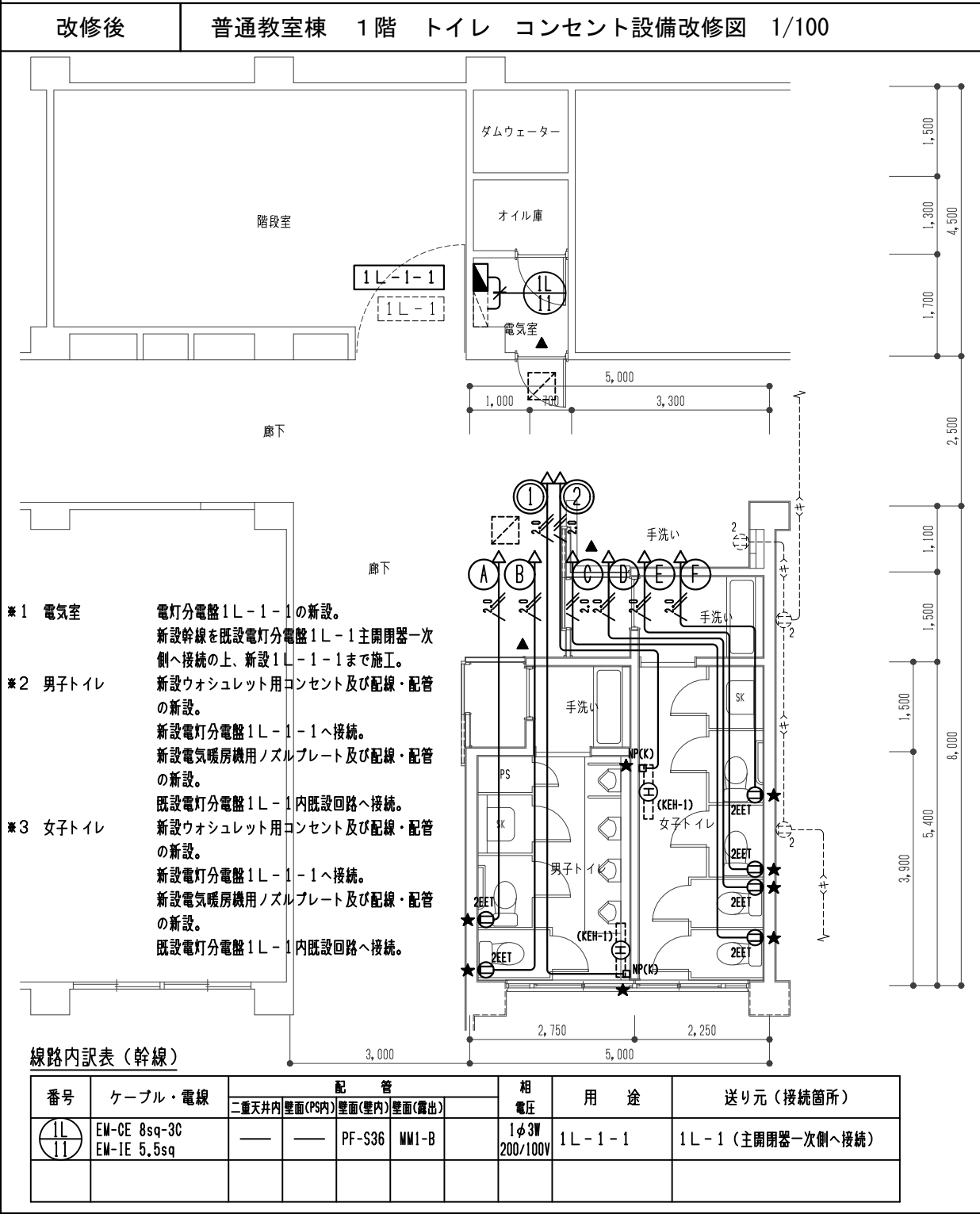
改修前		凡例等						
線種記入なきは下記とする。								
記 号	ケーブル・電線	配 管						
		二重天井内	壁内保護管	コンクリート打込部	屋内露出部 (室内)	屋内露出部 (その他)	屋外露出部	屋外埋設部
	1.2 x 2	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19	
	1.2 x 3	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25	
	1.6 x 2	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19	
	1.6 x 3	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25	
	1.6 x 4	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25	
	2.0 x 2	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19	
	2.0 x 2 E2.0	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25	
	2.0 x 4 E2.0	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25	
	VV-F 1.6-2C (10:E)	—			MM1-A	MM1-A		
	VV-F 1.6-3C (10:E)	—			MM1-A	MM1-A		
	VV-F 2.0-3C (10:E)	—			MM1-A	MM1-A		
	VV-F 2.0-3C (10:E)	—			MM1-A	MM1-A		
注記1) 撤去工事概要								
・図中に於いて撤去を示す機器は全て撤去とする。								
・機器撤去に伴い不要となる配線、配管は原則として全て撤去とする。								
・撤去工事に於いて、事前に工事前施工調査を行い既設設備の状況を把握した上で施工するものとする。								
・図中明記無き場合でも改修工事に於いて不要となる機器は監督員と協議の上、原則撤去処分とする。								
・撤去後再利用する機器は、清掃及び絶縁測定の上、良品のみ使用する。 但し、機器品質の良否判定は、監督員の指示に従う。								
・撤去後、施設引き渡しとする機器は、清掃及び絶縁測定の上、リストを作成の上、引き渡しとする。								
注記2) 撤去工事区分								
・機器撤去 : 本工事								
・二重天井内配管配線: 建築工事 (天井撤去に伴う部分)								
・二重天井内配管配線: 本工事 (天井撤去無き部分)								
・壁内配管配線 : 建築工事 (壁撤去に伴う部分)								
・壁内配管配線 : 本工事 (壁撤去無き部分) *配線:引抜き、配管:現状のまま廃止								
撤去工事 凡例								
配線、配管 配管現状のままを示す。								
配線:撤去、配管:撤去又は現状のまま廃止を示す。								
配線:撤去、配管:再利用を示す。								
機器 現状のままを示す。								
機器 取外し:機械設備工事 1φ200V 2,000kW								
機器 取外し:機械設備工事 1φ200V 1,500kW								
換気扇 撤去 :機械設備工事								
ダクト換気扇 撤去 :機械設備工事								
ノズルプレート (角型)								
カバープレート (角型)								
● RAS-W 熱線センサ付自動スイッチ 天井付型 親子式・親機 明るさセンサ付 広角検知型 MODEL) WTK24818								
● RAS-S 熱線センサ付自動スイッチ 天井付型 親子式・子機 広角検知型 MODEL) WTK29129								
● RAS-FW 熱線センサ付自動スイッチ 天井付型 親子式・子機 換気扇連動端子付 開欠遅延 MODEL) WTK2933K								
① 埋込コンセント (2P15A×1)								
① 2 埋込コンセント (2P15A×2)								
① Lx 埋込コンセント (2P15A×1) 抜止め型 天井面取付								
① EET 埋込コンセント (2P15A×1) E極・ET付								
① ZEEET 埋込コンセント (2P15A×2) E極・ET付								
差動式スポット型感知器 2種 既設取外し品再取付								
★ ケーブル引下け部を1種金属線び (MM1-A) で保護を示す (今回工事)								
▲ 既設コンクリート壁 (ブロック壁) 貫通箇所を示す								
新設天井点検口 (建築工事)								
線路内読表 (幹線)								




改修前		凡例等										
線種記入なきは下記とする。												
記 号	ケーブル・電線	配 管										
		二重天井内	壁内保護管	コンクリート打込部	屋内露出部 (室内)	屋内露出部 (その他)	屋外露出部	屋外埋設部				
	EW-EEF 1.6-2C	—	PF-S16	PF-S16	MM1-A	E-19	E-19					
	EW-EEF 1.6-3C	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25					
	EW-EEF 1.6-2C x 2	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25					
	EW-EEF 1.6-3C + 1.6-2C	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25					
	EW-EEF 1.6-3C x 2	—	PF-S28	PF-S28	MM1-A	E-31	E-31					
	EW-EEF 2.0-2C	—	PF-S16	PF-S16	MM1-A	E-19	E-19					
	EW-EEF 1.6-3C (10:E)	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25					
	EW-EEF 1.6-2C x 2 (10:E)	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25					
	EW-EEF 2.0-3C (10:E)	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25					
注記1) 上記に於いて屋内露出配管となる部分は 室内:1種金属製線び (MM1- ), その他:金属製電線管 (E管)とする。												
注記2) 防火区画等の配管貫通部は「金属製電線管で保護」又は「国土交通大臣認定工法」による措置を行う事とする。												
注記3) コンクリート躯体内等保護必要箇所の配線はPF-S管にて保護とする。												
注記4) 露出配管 (金属製電線管) は指定色塗装とする。												
注記5) 機器及び器具の取付位置、高さ等については、施工時再度打合せの上、施工する事。												
改修工事 凡例												
今回工事 配線、配管を示す。												
既設 配線、配管を示す。												
今回工事 機器を示す。												
既設 機器を示す。												
取外し既設機器 再取付を示す。												
既設配線に接続を示す。												
既設品に新設配線接続を示す。												
凡 例												
◎J ジョイントボックス OB102×54 (ブラックカバー共)												
□ NP(K) ノズルプレート (角型)												
□ KP(K) カバープレート (角型)												
□ KP(O) カバープレート (丸型)												
□ KP(K)-NP カバープレート (角型) 防水型SUS製												
□ NP 防雨入線カバー												
防火区画貫通部を示す。(注記2参照)												
★ ケーブル引下け部を1種金属線び (MM1-A) で保護を示す (今回工事)												
▲ 既設コンクリート壁 (ブロック壁) 貫通箇所を示す												
新設天井点検口 (建築工事)												
線路内読表 (幹線)												
<table><tr><th>番号</th><th>ケーブル・電線</th><th>配 管</th><th>相 電 圧</th><th>用 途</th><th>送り元 (接続箇所)</th></tr><tr><td></td><td>EW-CE 8sq-3C EW-IE 5,5sq</td><td>二重天井内壁面(PS内)壁面(壁内)壁面(露出)</td><td>PF-S36</td><td>MM1-B</td><td>1L-1 (主開閉器一次側へ接続)</td></tr></table>	番号	ケーブル・電線	配 管	相 電 圧	用 途	送り元 (接続箇所)		EW-CE 8sq-3C EW-IE 5,5sq	二重天井内壁面(PS内)壁面(壁内)壁面(露出)	PF-S36	MM1-B	1L-1 (主開閉器一次側へ接続)
番号	ケーブル・電線	配 管	相 電 圧	用 途	送り元 (接続箇所)							
	EW-CE 8sq-3C EW-IE 5,5sq	二重天井内壁面(PS内)壁面(壁内)壁面(露出)	PF-S36	MM1-B	1L-1 (主開閉器一次側へ接続)							

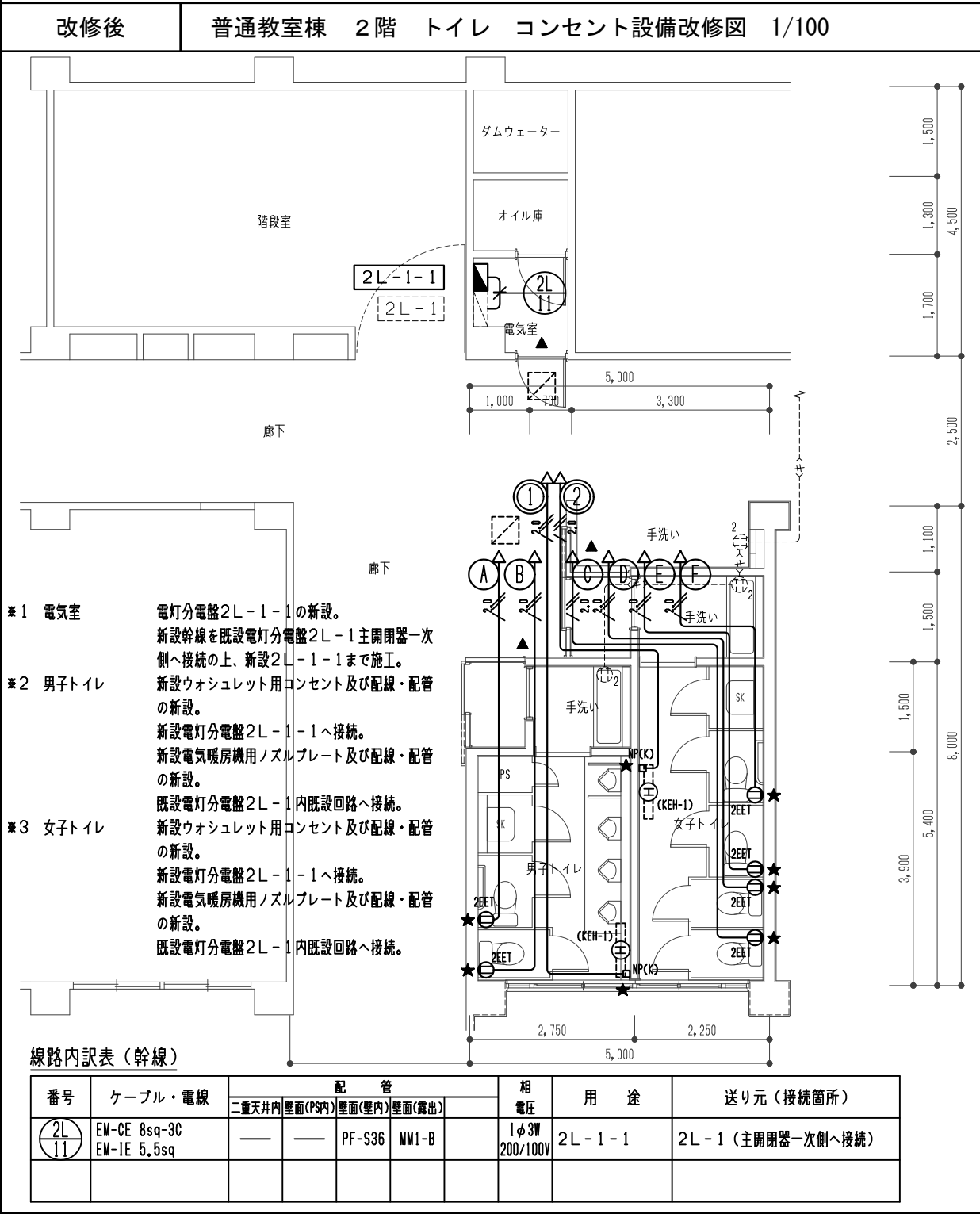
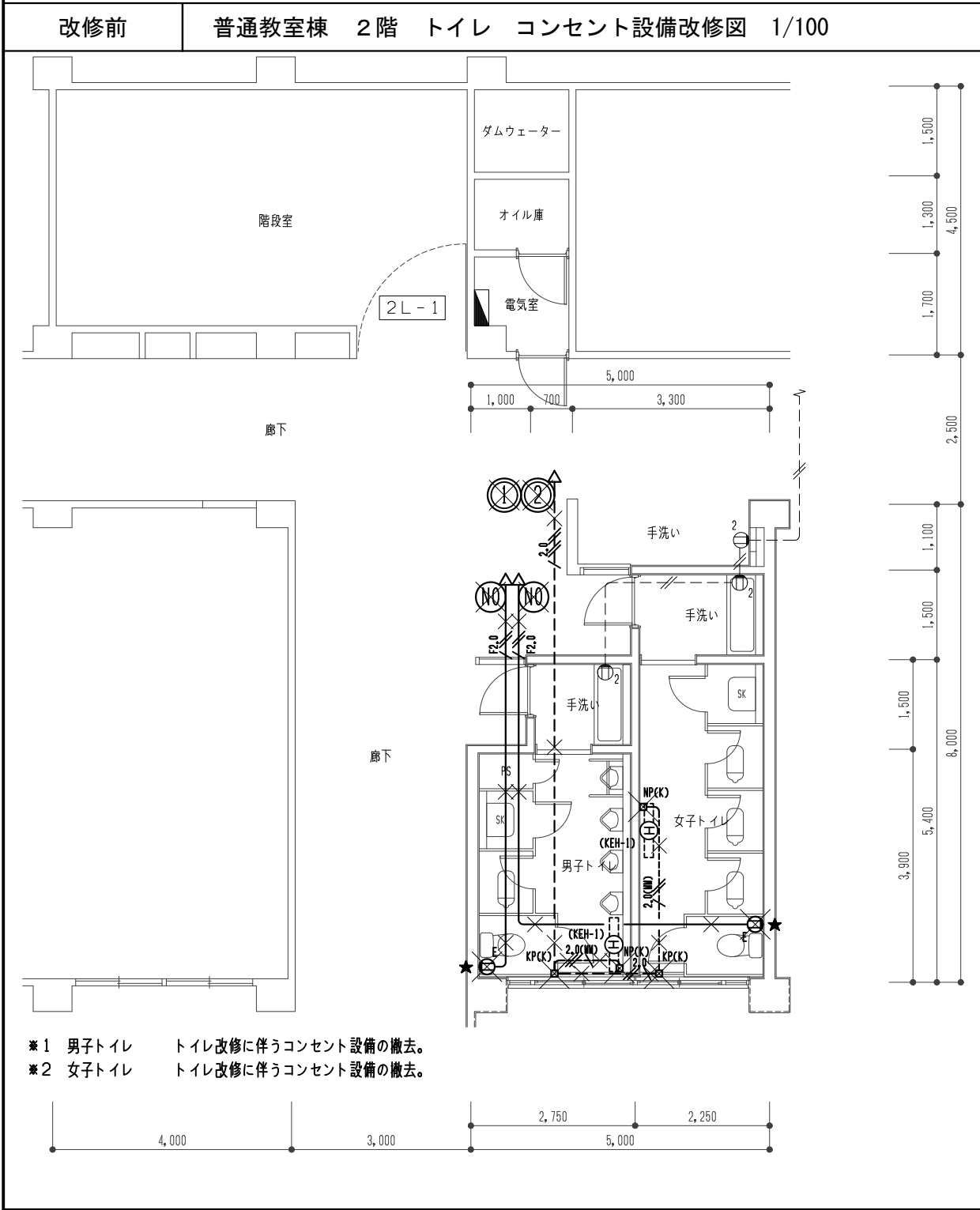
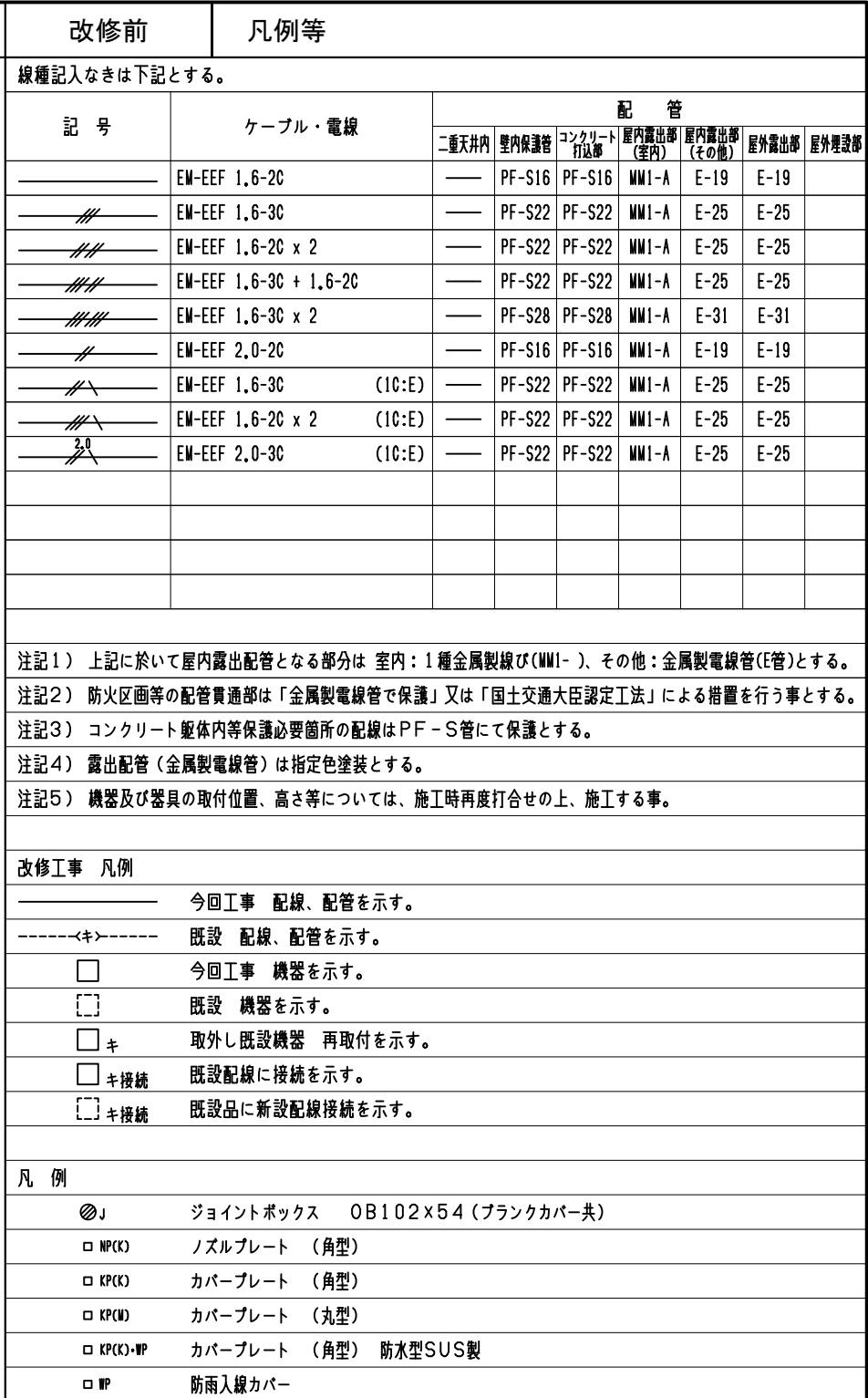
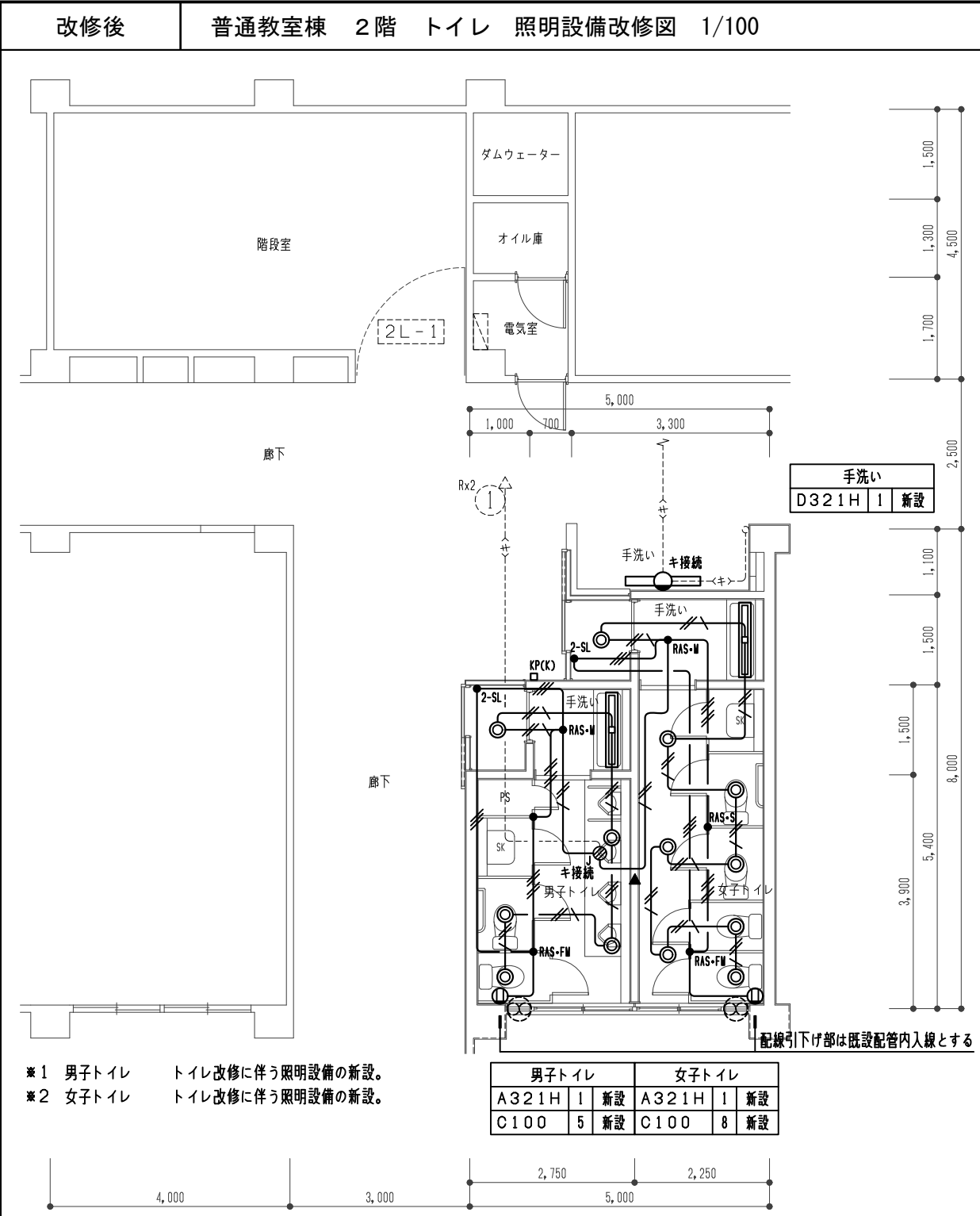
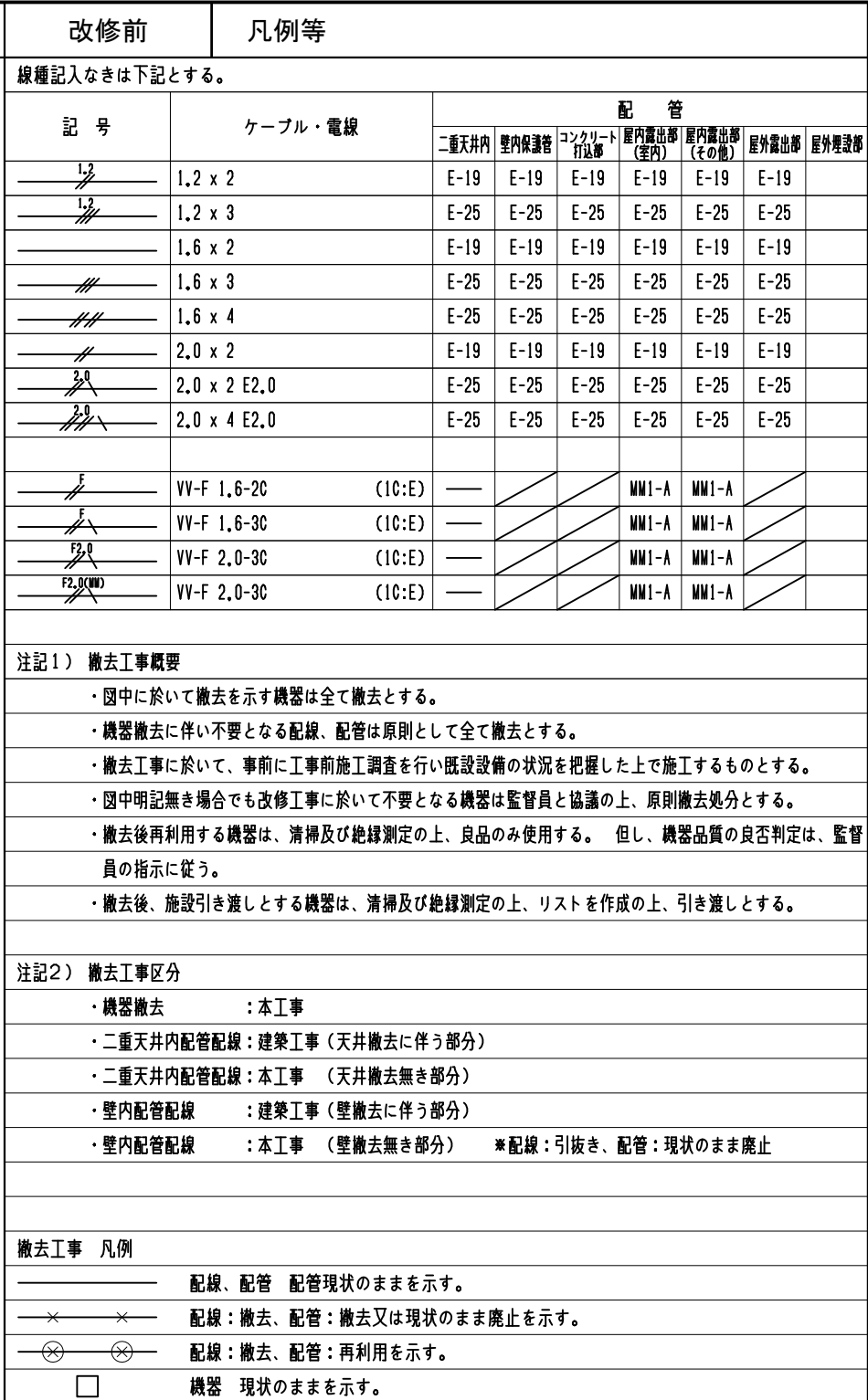
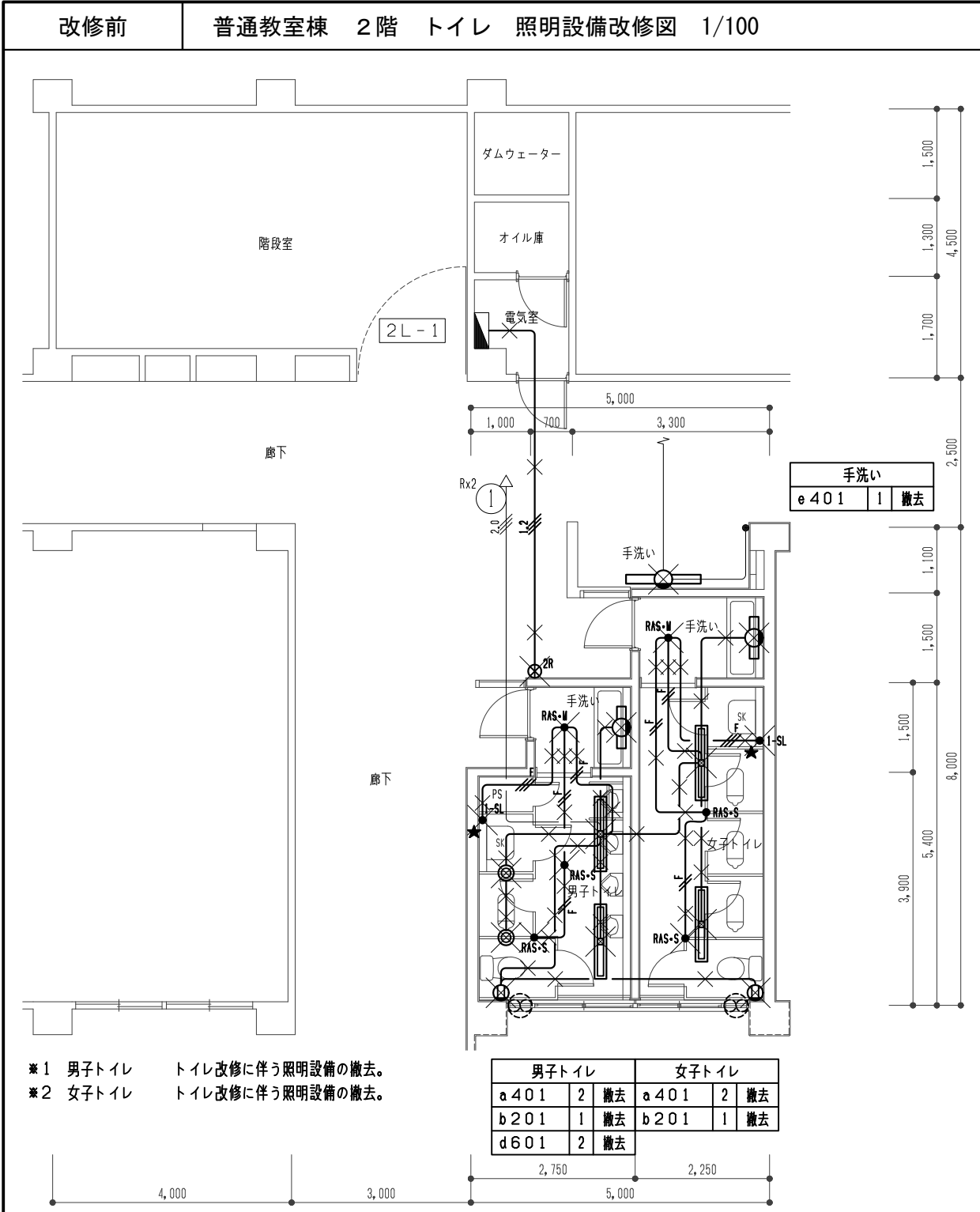


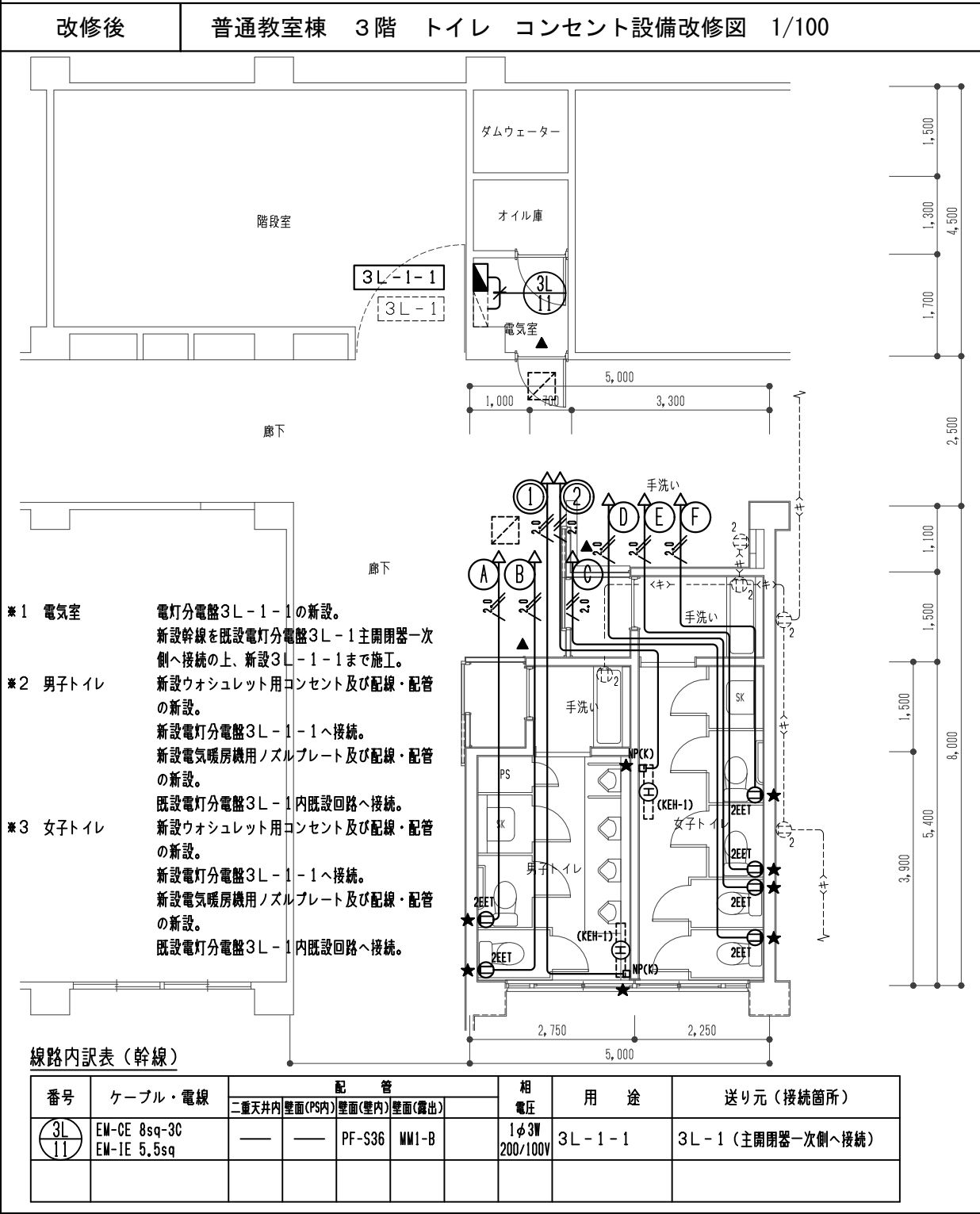
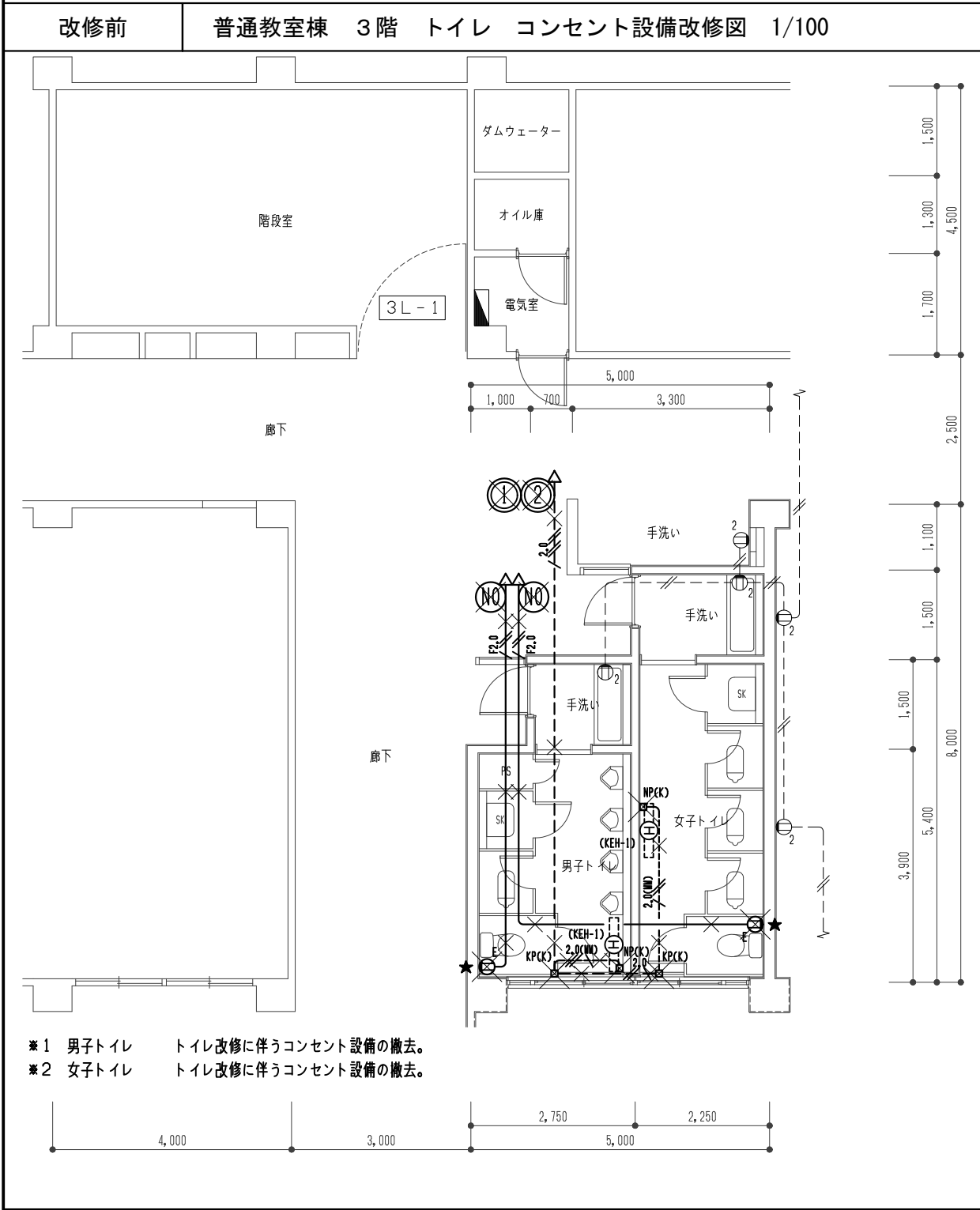
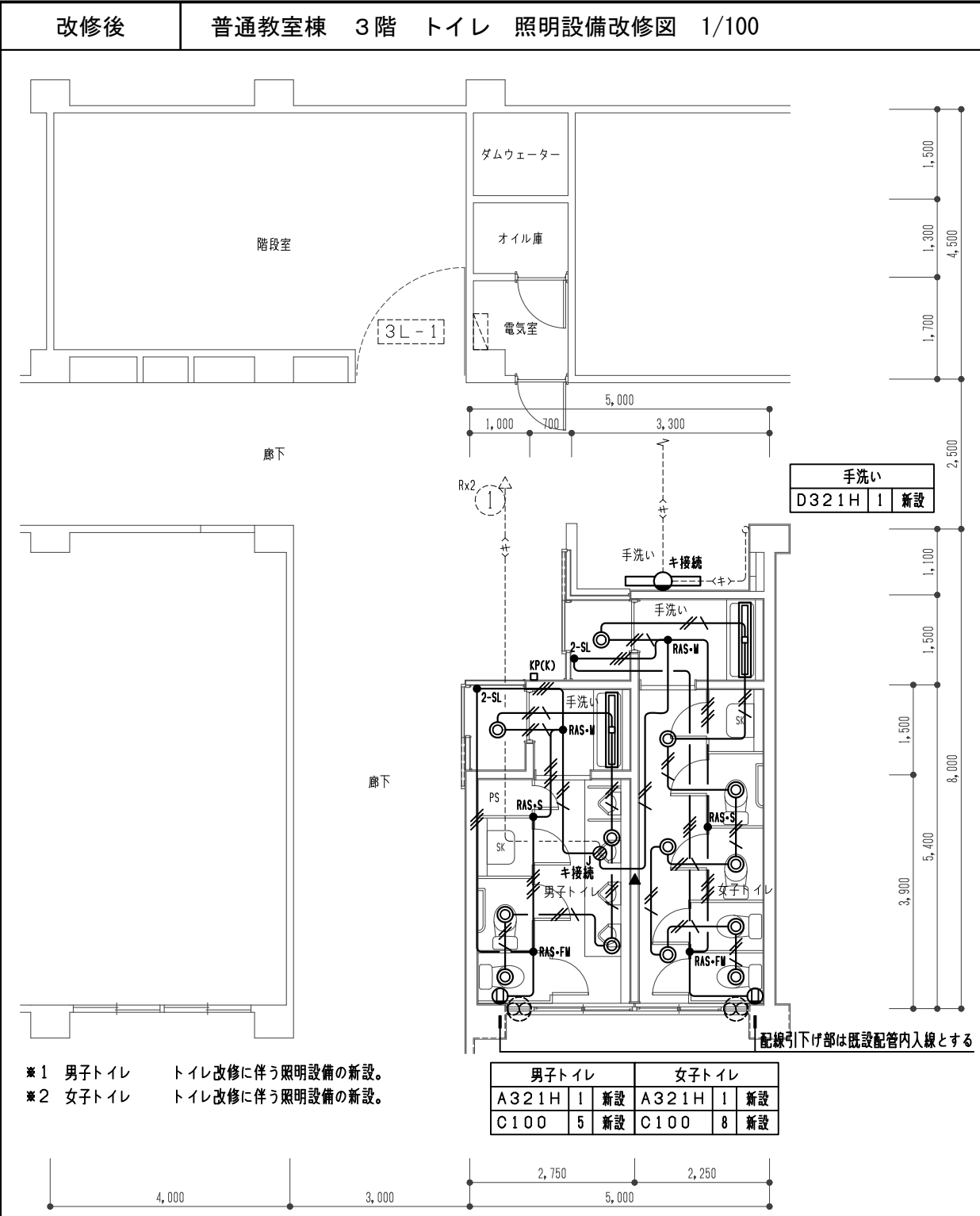
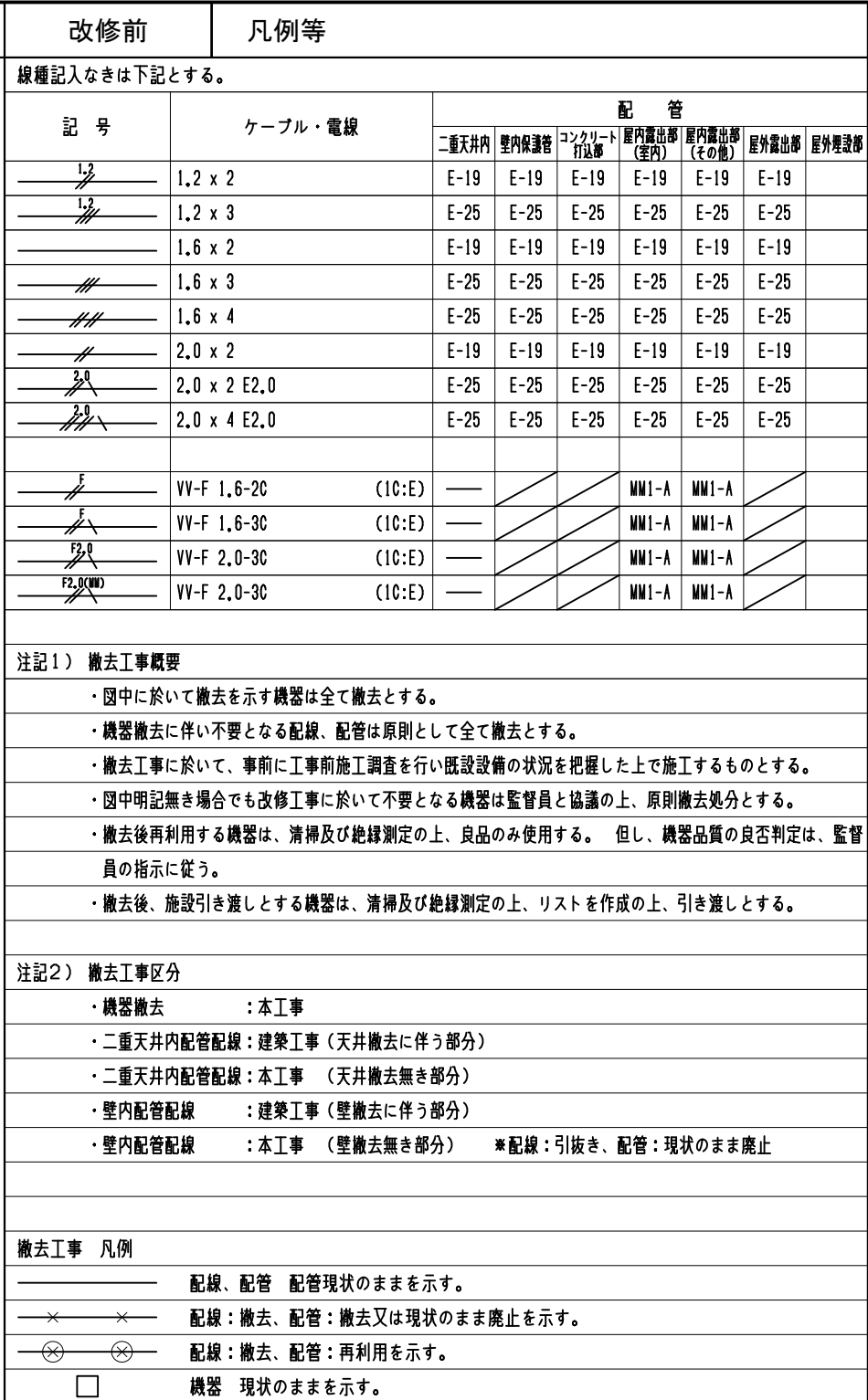
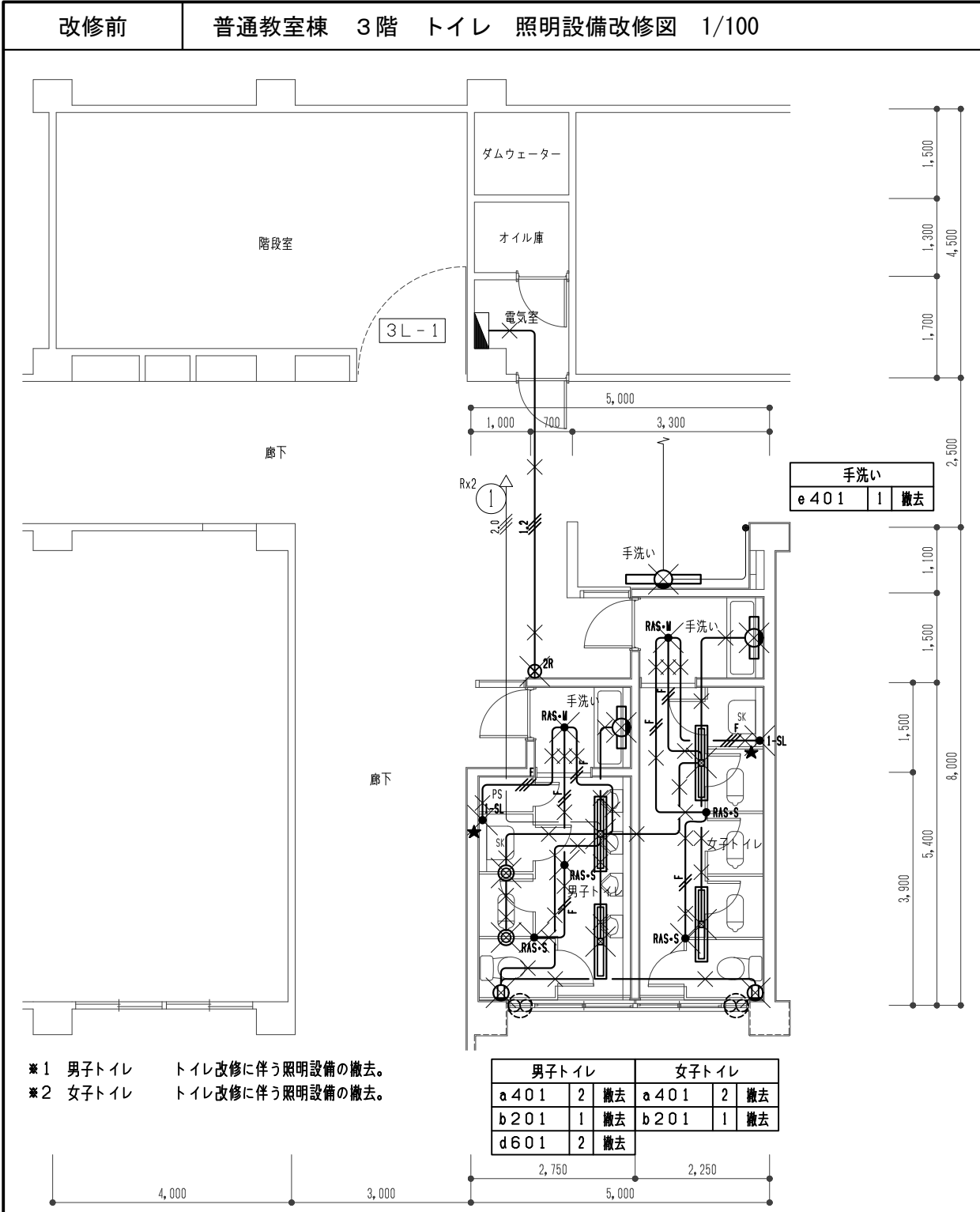
	撤去 機器を示す。		
	取外し (再利用) 機器を示す。		
凡 例			
	電気暖房機	取外し：機械設備工事	1φ200V 2,000kW
	電気暖房機	取外し：機械設備工事	1φ200V 1,500kW
	換気扇	撤去：機械設備工事	
	ダクト換気扇	撤去：機械設備工事	
<input type="checkbox"/> NP(X)	ノズルプレート (角型)		
<input type="checkbox"/> KP(X)	カバープレート (角型)		
●	埋込スイッチ (1P15A×1)		
● L	埋込スイッチ (1P 4A×1) L付		
○	パイロットランプ (AC100V)		
	リモコンスイッチ 2L		
● RAS-W	熱線センサ付自動スイッチ 天井付型 親子式・親機		
● RAS-S	熱線センサ付自動スイッチ 天井付型 親子式・子機		
● I-SL	同上 (自, 切, 手) 切替スイッチ 1回路型		
	埋込コンセント (2P15A×1)		
	埋込コンセント (2P15A×1) E極付		
	差動式スポット型感知器 2種		
★	ケーブル引下け部を1種金属線び (MM1-A) で保護を示す		
■	ケーブル引下け部を硬質ビニル電線管 (VE-16) で保護を示す		



 防火区画貫通部を示す。(注記2参照)	
 KEH-1	電気暖房機 既設品再取付:機械設備工事 1φ200V 2,000kW
 KEH-2	電気暖房機 既設品再取付:機械設備工事 1φ200V 1,500kW
	換気扇 納入・取付 :機械設備工事
	ダクト換気扇 納入・取付:機械設備工事
● RAS-W	熱線センサ付自動スイッチ 天井付型 親子式・親機 明るさセンサ付 広角検知型 MODEL) WTK24818
● RAS-S	熱線センサ付自動スイッチ 天井付型 親子式・子機 広角検知型 MODEL) WTK29129
● RAS-FW	熱線センサ付自動スイッチ 天井付型 親子式・子機 換気扇連動端子付 開欠遅延 MODEL) WTK2933K
● 2-SL	同上 (自, 切, 手) 切替スイッチ 2回路型 P:ガードプレート 取付高:FL+1800 MODEL) WTK5822W
①	埋込コンセント (2P15A×1)
① 2	埋込コンセント (2P15A×2)
① LK	埋込コンセント (2P15A×1) 抜止め型 天井面取付
① EET	埋込コンセント (2P15A×1) E極・ET付
① ZEEET	埋込コンセント (2P15A×2) E極・ET付
	差動式スポット型感知器 2種 既設取外し品再取付
★	ケーブル引下け部を1種金属線び (MM1-A) で保護を示す (今回工事)
▲	既設コンクリート壁 (ブロック壁) 貫通箇所を示す
	新設天井点検口 (建築工事)
</	







改修前				特別教室棟 1階 トイレ 照明設備改修図 1/100			
				廊下 1 L-4			
※1 男子トイレ ※2 女子トイレ				トイレ改修に伴う照明設備の撤去。 トイレ改修に伴う照明設備の撤去。			

改修前		特別教室棟 1階 トイレ コンセント設備改修図 1/100	
		廊下 1 L-4	
※1 男子トイレ ※2 女子トイレ		トイレ改修に伴うコンセント設備の撤去。 トイレ改修に伴うコンセント設備の撤去。	

改修後		特別教室棟 1階 トイレ 照明設備改修図 1/100	
		廊下 1 L-4	
※1 男子トイレ ※2 女子トイレ		トイレ改修に伴う照明設備の新設。 トイレ改修に伴う照明設備の新設。	

改修後		特別教室棟 1階 トイレ コンセント設備改修図 1/100	
		廊下 1 L-4-1	
※1 廊下 ※2 男子トイレ ※3 女子トイレ		電灯分電盤 1 L-4-1 の新設。 新設幹線を既設電灯分電盤 1 L-4 主開閉器一次側へ接続の上、新設 1 L-4-1 まで施工。 新設ウォシュレット用コンセント及び配線・配管の新設。 新設電灯分電盤 1 L-4-1 へ接続。 新設電気暖房機用ノズルプレート及び配線・配管の新設。 既設電灯分電盤 1 L-4 内既設回路へ接続。 新設ウォシュレット用コンセント及び配線・配管の新設。 新設電灯分電盤 1 L-4-1 へ接続。 新設電気暖房機用ノズルプレート及び配線・配管の新設。 既設電灯分電盤 1 L-4 内既設回路へ接続。	

線路内訳表（幹線）			
番号	ケーブル・電線	配 管	相 電 圧
41	EW-CE 8sq-3C EW-1E 5,5sq	PF-S36 MM1-B	1φ3W 200/100V
			用 途
			送り元（接続箇所）
			1 L-4-1
			1 L-4（主開閉器一次側へ接続）

改修前		凡例等	
		廊下 1 L-4	
※1 男子トイレ ※2 女子トイレ		トイレ改修に伴う照明設備の撤去。 トイレ改修に伴う照明設備の撤去。	

改修後		特別教室棟 1階 トイレ コンセント設備改修図 1/100	
		廊下 1 L-4-1	
※1 廊下 ※2 男子トイレ ※3 女子トイレ		電灯分電盤 1 L-4-1 の新設。 新設幹線を既設電灯分電盤 1 L-4 主開閉器一次側へ接続の上、新設 1 L-4-1 まで施工。 新設ウォシュレット用コンセント及び配線・配管の新設。 新設電灯分電盤 1 L-4-1 へ接続。 新設電気暖房機用ノズルプレート及び配線・配管の新設。 既設電灯分電盤 1 L-4 内既設回路へ接続。 新設ウォシュレット用コンセント及び配線・配管の新設。 新設電灯分電盤 1 L-4-1 へ接続。 新設電気暖房機用ノズルプレート及び配線・配管の新設。 既設電灯分電盤 1 L-4 内既設回路へ接続。	

線路記入なきは下記とする。			
記 号	ケーブル・電線	配 管	
1.2	1.2 x 2	二重天井内	壁内保護管
1.2	1.2 x 3	コンクリート打込部	屋外露出部
1.6	1.6 x 2	屋外露出部	（室内）
1.6	1.6 x 3	屋外露出部	（その他）
1.6	1.6 x 4	屋外露出部	（その他）
2.0	2.0 x 2	屋外露出部	（その他）
2.0 x 2	E2,0	屋外露出部	（その他）
2.0 x 4	E2,0	屋外露出部	（その他）
VV-F	1.6-2C	（10:E）	MM1-A
VV-F	1.6-3C	（10:E）	MM1-A
VV-F	2.0-3C	（10:E）	MM1-A
VV-F	2.0-3C	（10:E）	MM1-A
注記1） 撤去工事概要			
・図中に於いて撤去を示す機器は全て撤去とする。			
・機器撤去に伴い不要となる配線、配管は原則として全て撤去とする。			
・撤去工事に於いて、事前に工事前施工調査を行い既設設備の状況を把握した上で施工するものとする。			
・図中明記無き場合でも改修工事に於いて不要となる機器は監督員と協議の上、原則撤去処分とする。			
・撤去後再利用する機器は、清掃及び絶縁測定の上、良品のみ使用する。 但し、機器品質の良否判定は、監督員の指示に従う。			
・撤去後、施設引き渡しとする機器は、清掃及び絶縁測定の上、リストを作成の上、引き渡しとする。			
注記2） 撤去工事区分			
・機器撤去 ： 本工事			
・二重天井内配管配線・建築工事（天井撤去に伴う部分）			
・二重天井内配管配線： 本工事 （天井撤去無き部分）			
・壁内配管配線 ： 建築工事（壁撤去に伴う部分）			
・壁内配管配線 ： 本工事 （壁撤去無き部分） ＊配線：引抜き、配管：現状のまま廃止			
撤去工事 凡例			
―― 配線、配管 配管現状のままを示す。			
――×―― 配線：撤去、配管：撤去又は現状のまま廃止を示す。			
――⊕―― 配線：撤去、配管：再利用を示す。			
□ 機器 現状のままを示す。			
⊗ 撤去 機器を示す。			
⊗ 取外し（再利用） 機器を示す。			
凡 例			
⊗ J ジョイントボックス OB102×54（ブラックカバー共）			
□ NP(K) ノズルプレート （角型）			
□ KP(K) カバープレート （角型）			
□ KP(K) カバープレート （丸型）			
□ KP(K)-NP カバープレート （角型） 防水型SUS製			
□ NP 防雨入線カバー			
―― 防火区画貫通部を示す。（注記2参照）			
⊞ KEH-1 電気暖房機 既設品再取付：機械設備工事 1φ200V 2,000kW			
⊞ KEH-2 電気暖房機 既設品再取付：機械設備工事 1φ200V 1,500kW			
⊞ 換気扇 納入・取付：機械設備工事			
⊞ ダクト換気扇 納入・取付：機械設備工事			
● RAS-W 熱線センサ付自動スイッチ 天井付型 親子式・親機 明るさセンサ付 広角検知型 MODEL WTK24818			
● RAS-S 熱線センサ付自動スイッチ 天井付型 親子式・子機 広角検知型 MODEL WTK29129			
● RAS-FW 熱線センサ付自動スイッチ 天井付型 親子式・子機 換気扇連動端子付 開欠遅延 MODEL WTK2933K			
● 2-SL 同上（自、切、手）切替スイッチ 2回路型 P：ガードプレート 取付高：FL+1800 MODEL WTK5822W			
① 埋込コンセント （2P15A×1）			
① 2 埋込コンセント （2P15A×2）			
① LK 埋込コンセント （2P15A×1） 抜止め型 天井面取付			
① EET 埋込コンセント （2P15A×1） E極・ET付			
① ZEEF 埋込コンセント （2P15A×2） E極・ET付			
⊞ 差動式スポット型感知器 2種 既設取外し品再取付			
★ ケーブル引下け部を1種金属線び（MM1-A）で保護を示す（今回工事）			
▲ 既設コンクリート壁（ブロック壁）貫通箇所を示す			
⊞ 新設天井点検口（建築工事）			
原設計図【A2】			
工事名		花里小学校校舎トイレ改修工事	
図 名		特別教室棟 1階 トイレ 電気設備改修図	
縮 尺		1/100	番号 E09 枚の内 07 号
設 計 年月日		令和 8 年 1 月	
設 計		設計室 A L L 株式会社	一級建築士 第206813号 古垣内 克幸
		高 山 市	



改修前	特別教室棟 2階 パワーアップ教室 照明設備改修図 1/100	改修前	凡例等	改修後	特別教室棟 2階 パワーアップ教室 照明設備改修図 1/100	改修前	凡例等																																																																																																																										
<div><div><div>廊下</div><div>2L-3</div><div><div><div></div><div></div><div></div><div></div></div><div>パワーアップ教室</div><div><div><div></div><div></div><div></div><div></div></div></div></div><div><div>125</div><div>235</div><div>4,540</div><div>500</div><div>6,900</div><div>7,400</div></div></div></div> <div>※1 パワーアップ教室 天井改修に伴う照明器具の取外し。（配線は現状のままとする）</div>		<div>線種記入なきは下記とする。</div> <table><tr><th rowspan="2">記 号</th><th rowspan="2">ケーブル・電線</th><th colspan="7">配 管</th></tr><tr><th>二重天井内</th><th>壁内保護管</th><th>コンクリート打込部</th><th>屋内露出部（室内）</th><th>屋内露出部（その他）</th><th>屋外露出部</th><th>屋外埋設部</th></tr><tr><td></td><td>1.2 x 2</td><td>E-19</td><td>E-19</td><td>E-19</td><td>E-19</td><td>E-19</td><td>E-19</td><td></td></tr><tr><td></td><td>1.2 x 3</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td></td></tr><tr><td></td><td>1.6 x 2</td><td>E-19</td><td>E-19</td><td>E-19</td><td>E-19</td><td>E-19</td><td>E-19</td><td></td></tr><tr><td></td><td>1.6 x 3</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td></td></tr><tr><td></td><td>1.6 x 4</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td></td></tr><tr><td></td><td>2.0 x 2</td><td>E-19</td><td>E-19</td><td>E-19</td><td>E-19</td><td>E-19</td><td>E-19</td><td></td></tr><tr><td></td><td>2.0 x 2 E2.0</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td></td></tr><tr><td></td><td>2.0 x 4 E2.0</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td></td></tr><tr><td></td><td>VV-F 1.6-2C (1C:E)</td><td>—</td><td></td><td></td><td>MM1-A</td><td>MM1-A</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>VV-F 1.6-3C (1C:E)</td><td>—</td><td></td><td></td><td>MM1-A</td><td>MM1-A</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>VV-F 2.0-3C (1C:E)</td><td>—</td><td></td><td></td><td>MM1-A</td><td>MM1-A</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>VV-F 2.0-3C (1C:E)</td><td>—</td><td></td><td></td><td>MM1-A</td><td>MM1-A</td><td></td><td></td></tr></table> <div>注記1） 撤去工事概要</div> <div><div>・図中に於いて撤去を示す機器は全て撤去とする。</div><div>・機器撤去に伴い不要となる配線、配管は原則として全て撤去とする。</div><div>・撤去工事に於いて、事前に工事前施工調査を行い既設設備の状況を把握した上で施工するものとする。</div><div>・図中明記無き場合でも改修工事に於いて不要となる機器は監督員と協議の上、原則撤去処分とする。</div><div>・撤去後再利用する機器は、清掃及び絶縁測定の上、良品のみ使用する。 但し、機器品質の良否判定は、監督員の指示に従う。</div><div>・撤去後、施設引き渡しとする機器は、清掃及び絶縁測定の上、リストを作成の上、引き渡しとする。</div></div> <div>注記2） 撤去工事区分</div> <div><div>・機器撤去 ： 本工事</div><div>・二重天井内配管配線：建築工事（天井撤去に伴う部分）</div><div>・二重天井内配管配線：本工事 （天井撤去無き部分）</div><div>・壁内配管配線 ： 建築工事（壁撤去に伴う部分）</div><div>・壁内配管配線 ： 本工事 （壁撤去無き部分） ＊配線：引抜き、配管：現状のまま廃止</div></div> <div>撤去工事 凡例</div> <div><div> 配線、配管 配管現状のまますを示す。</div><div> 配線：撤去、配管：撤去又は現状のまま廃止を示す。</div><div> 配線：撤去、配管：再利用を示す。</div><div> 機器 現状のまますを示す。</div><div> 撤去 機器を示す。</div><div> 取外し（再利用） 機器を示す。</div></div> <div>凡 例</div> <div><div><div> ジョイントボックス OB102×54（ブランクカバー共）</div><div><div> ノズルプレート （角型）</div><div><div> カバープレート （角型）</div><div><div> カバープレート （丸型）</div><div><div> カバープレート （角型） 防水型SUS製</div><div><div> 防雨入線カバー</div></div></div><div><div> 防火区画貫通部を示す。（注記2参照）</div></div></div></div></div></div></div> <div>※1 パワーアップ教室 天井改修に伴う照明器具の再取付。（配線は既設接続とする）</div>		記 号	ケーブル・電線	配 管							二重天井内	壁内保護管	コンクリート打込部	屋内露出部（室内）	屋内露出部（その他）	屋外露出部	屋外埋設部		1.2 x 2	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19			1.2 x 3	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25			1.6 x 2	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19			1.6 x 3	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25			1.6 x 4	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25			2.0 x 2	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19			2.0 x 2 E2.0	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25			2.0 x 4 E2.0	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25			VV-F 1.6-2C (1C:E)	—			MM1-A	MM1-A				VV-F 1.6-3C (1C:E)	—			MM1-A	MM1-A				VV-F 2.0-3C (1C:E)	—			MM1-A	MM1-A				VV-F 2.0-3C (1C:E)	—			MM1-A	MM1-A			<div>※1 パワーアップ教室 天井改修に伴う感知器の再取付。（配線は既設接続とする）</div>	
記 号	ケーブル・電線	配 管																																																																																																																															
		二重天井内	壁内保護管	コンクリート打込部	屋内露出部（室内）	屋内露出部（その他）	屋外露出部	屋外埋設部																																																																																																																									
	1.2 x 2	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19																																																																																																																										
	1.2 x 3	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25																																																																																																																										
	1.6 x 2	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19																																																																																																																										
	1.6 x 3	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25																																																																																																																										
	1.6 x 4	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25																																																																																																																										
	2.0 x 2	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19																																																																																																																										
	2.0 x 2 E2.0	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25																																																																																																																										
	2.0 x 4 E2.0	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25																																																																																																																										
	VV-F 1.6-2C (1C:E)	—			MM1-A	MM1-A																																																																																																																											
	VV-F 1.6-3C (1C:E)	—			MM1-A	MM1-A																																																																																																																											
	VV-F 2.0-3C (1C:E)	—			MM1-A	MM1-A																																																																																																																											
	VV-F 2.0-3C (1C:E)	—			MM1-A	MM1-A																																																																																																																											
改修前	特別教室棟 2階 パワーアップ教室 自動火災報知設備改修図 1/100	改修後	特別教室棟 2階 パワーアップ教室 自動火災報知設備改修図 1/100	改修前	特別教室棟 2階 パワーアップ教室 自動火災報知設備改修図 1/100	改修前	凡例等																																																																																																																										
<div><div><div>廊下</div><div></div><div><div><div></div><div></div><div></div><div></div></div><div>パワーアップ教室</div><div><div><div></div><div></div><div></div><div></div></div></div></div><div><div>125</div><div>235</div><div>4,540</div><div>500</div><div>6,900</div><div>7,400</div></div></div></div> <div>※1 パワーアップ教室 天井改修に伴う感知器の取外し。（配線は現状のままとする）</div>		<div>線種記入なきは下記とする。</div> <table><tr><th rowspan="2">記 号</th><th rowspan="2">ケーブル・電線</th><th colspan="7">配 管</th></tr><tr><th>二重天井内</th><th>壁内保護管</th><th>コンクリート打込部</th><th>屋内露出部（室内）</th><th>屋内露出部（その他）</th><th>屋外露出部</th><th>屋外埋設部</th></tr><tr><td></td><td>EW-EEF 1.6-2C</td><td>—</td><td>PF-S16</td><td>PF-S16</td><td>MM1-A</td><td>E-19</td><td>E-19</td><td></td></tr><tr><td></td><td>EW-EEF 1.6-3C</td><td>—</td><td>PF-S22</td><td>PF-S22</td><td>MM1-A</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td></td></tr><tr><td></td><td>EW-EEF 1.6-2C x 2</td><td>—</td><td>PF-S22</td><td>PF-S22</td><td>MM1-A</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td></td></tr><tr><td></td><td>EW-EEF 1.6-3C + 1.6-2C</td><td>—</td><td>PF-S22</td><td>PF-S22</td><td>MM1-A</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td></td></tr><tr><td></td><td>EW-EEF 1.6-3C x 2</td><td>—</td><td>PF-S28</td><td>PF-S28</td><td>MM1-A</td><td>E-31</td><td>E-31</td><td></td></tr><tr><td></td><td>EW-EEF 2.0-2C</td><td>—</td><td>PF-S16</td><td>PF-S16</td><td>MM1-A</td><td>E-19</td><td>E-19</td><td></td></tr><tr><td></td><td>EW-EEF 1.6-3C (1C:E)</td><td>—</td><td>PF-S22</td><td>PF-S22</td><td>MM1-A</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td></td></tr><tr><td></td><td>EW-EEF 1.6-2C x 2 (1C:E)</td><td>—</td><td>PF-S22</td><td>PF-S22</td><td>MM1-A</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td></td></tr><tr><td></td><td>EW-EEF 2.0-3C (1C:E)</td><td>—</td><td>PF-S22</td><td>PF-S22</td><td>MM1-A</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td></td></tr></table> <div>注記1） 上記に於いて屋内露出配管となる部分は 室内：1種金属製線び(MM1-A)、その他：金属製電線管(E管)とする。</div> <div>注記2） 防火区画等の配管貫通部は「金属製電線管で保護」又は「国土交通大臣認定工法」による措置を行う事とする。</div> <div>注記3） コンクリート躯体内等保護必要箇所の配線はPF-S管にて保護とする。</div> <div>注記4） 露出配管（金属製電線管）は指定色塗装とする。</div> <div>注記5） 機器及び器具の取付位置、高さ等については、施工時再度打合せの上、施工する事。</div> <div>改修工事 凡例</div> <div><div> 今回工事 配線、配管を示す。</div><div> 既設 配線、配管を示す。</div><div> 今回工事 機器を示す。</div><div> 既設 機器を示す。</div><div><div> キ</div> 取外し既設機器 再取付を示す。</div><div><div> キ接続</div> 既設配線に接続を示す。</div><div><div> キ接続</div> 既設品に新設配線接続を示す。</div></div> <div>凡 例</div> <div><div><div> ジョイントボックス OB102×54（ブランクカバー共）</div><div><div> ノズルプレート （角型）</div><div><div> カバープレート （角型）</div><div><div> カバープレート （丸型）</div><div><div> カバープレート （角型） 防水型SUS製</div><div><div> 防雨入線カバー</div></div></div><div><div> 防火区画貫通部を示す。（注記2参照）</div></div></div></div></div></div></div> <div>※1 パワーアップ教室 天井改修に伴う感知器の再取付。（配線は既設接続とする）</div>		記 号	ケーブル・電線	配 管							二重天井内	壁内保護管	コンクリート打込部	屋内露出部（室内）	屋内露出部（その他）	屋外露出部	屋外埋設部		EW-EEF 1.6-2C	—	PF-S16	PF-S16	MM1-A	E-19	E-19			EW-EEF 1.6-3C	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25			EW-EEF 1.6-2C x 2	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25			EW-EEF 1.6-3C + 1.6-2C	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25			EW-EEF 1.6-3C x 2	—	PF-S28	PF-S28	MM1-A	E-31	E-31			EW-EEF 2.0-2C	—	PF-S16	PF-S16	MM1-A	E-19	E-19			EW-EEF 1.6-3C (1C:E)	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25			EW-EEF 1.6-2C x 2 (1C:E)	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25			EW-EEF 2.0-3C (1C:E)	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25		<div>※1 パワーアップ教室 天井改修に伴う感知器の再取付。（配線は既設接続とする）</div>																												
記 号	ケーブル・電線	配 管																																																																																																																															
		二重天井内	壁内保護管	コンクリート打込部	屋内露出部（室内）	屋内露出部（その他）	屋外露出部	屋外埋設部																																																																																																																									
	EW-EEF 1.6-2C	—	PF-S16	PF-S16	MM1-A	E-19	E-19																																																																																																																										
	EW-EEF 1.6-3C	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25																																																																																																																										
	EW-EEF 1.6-2C x 2	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25																																																																																																																										
	EW-EEF 1.6-3C + 1.6-2C	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25																																																																																																																										
	EW-EEF 1.6-3C x 2	—	PF-S28	PF-S28	MM1-A	E-31	E-31																																																																																																																										
	EW-EEF 2.0-2C	—	PF-S16	PF-S16	MM1-A	E-19	E-19																																																																																																																										
	EW-EEF 1.6-3C (1C:E)	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25																																																																																																																										
	EW-EEF 1.6-2C x 2 (1C:E)	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25																																																																																																																										
	EW-EEF 2.0-3C (1C:E)	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25																																																																																																																										
<div><div><div>廊下</div><div></div><div><div><div></div><div></div><div></div><div></div></div><div>パワーアップ教室</div><div><div><div></div><div></div><div></div><div></div></div></div></div><div><div>125</div><div>235</div><div>4,540</div><div>500</div><div>6,900</div><div>7,400</div></div></div></div> <div>※1 パワーアップ教室 天井改修に伴う感知器の取外し。（配線は現状のままとする）</div>		<div>線種記入なきは下記とする。</div> <table><tr><th rowspan="2">記 号</th><th rowspan="2">ケーブル・電線</th><th colspan="7">配 管</th></tr><tr><th>二重天井内</th><th>壁内保護管</th><th>コンクリート打込部</th><th>屋内露出部（室内）</th><th>屋内露出部（その他）</th><th>屋外露出部</th><th>屋外埋設部</th></tr><tr><td></td><td>EW-EEF 1.6-2C</td><td>—</td><td>PF-S16</td><td>PF-S16</td><td>MM1-A</td><td>E-19</td><td>E-19</td><td></td></tr><tr><td></td><td>EW-EEF 1.6-3C</td><td>—</td><td>PF-S22</td><td>PF-S22</td><td>MM1-A</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td></td></tr><tr><td></td><td>EW-EEF 1.6-2C x 2</td><td>—</td><td>PF-S22</td><td>PF-S22</td><td>MM1-A</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td></td></tr><tr><td></td><td>EW-EEF 1.6-3C + 1.6-2C</td><td>—</td><td>PF-S22</td><td>PF-S22</td><td>MM1-A</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td></td></tr><tr><td></td><td>EW-EEF 1.6-3C x 2</td><td>—</td><td>PF-S28</td><td>PF-S28</td><td>MM1-A</td><td>E-31</td><td>E-31</td><td></td></tr><tr><td></td><td>EW-EEF 2.0-2C</td><td>—</td><td>PF-S16</td><td>PF-S16</td><td>MM1-A</td><td>E-19</td><td>E-19</td><td></td></tr><tr><td></td><td>EW-EEF 1.6-3C (1C:E)</td><td>—</td><td>PF-S22</td><td>PF-S22</td><td>MM1-A</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td></td></tr><tr><td></td><td>EW-EEF 1.6-2C x 2 (1C:E)</td><td>—</td><td>PF-S22</td><td>PF-S22</td><td>MM1-A</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td></td></tr><tr><td></td><td>EW-EEF 2.0-3C (1C:E)</td><td>—</td><td>PF-S22</td><td>PF-S22</td><td>MM1-A</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td></td></tr></table> <div>注記1） 上記に於いて屋内露出配管となる部分は 室内：1種金属製線び(MM1-A)、その他：金属製電線管(E管)とする。</div> <div>注記2） 防火区画等の配管貫通部は「金属製電線管で保護」又は「国土交通大臣認定工法」による措置を行う事とする。</div> <div>注記3） コンクリート躯体内等保護必要箇所の配線はPF-S管にて保護とする。</div> <div>注記4） 露出配管（金属製電線管）は指定色塗装とする。</div> <div>注記5） 機器及び器具の取付位置、高さ等については、施工時再度打合せの上、施工する事。</div> <div>改修工事 凡例</div> <div><div> 今回工事 配線、配管を示す。</div><div> 既設 配線、配管を示す。</div><div> 今回工事 機器を示す。</div><div> 既設 機器を示す。</div><div><div> キ</div> 取外し既設機器 再取付を示す。</div><div><div> キ接続</div> 既設配線に接続を示す。</div><div><div> キ接続</div> 既設品に新設配線接続を示す。</div></div> <div>凡 例</div> <div><div><div> ジョイントボックス OB102×54（ブランクカバー共）</div><div><div> ノズルプレート （角型）</div><div><div> カバープレート （角型）</div><div><div> カバープレート （丸型）</div><div><div> カバープレート （角型） 防水型SUS製</div><div><div> 防雨入線カバー</div></div></div><div><div> 防火区画貫通部を示す。（注記2参照）</div></div></div></div></div></div></div> <div>※1 パワーアップ教室 天井改修に伴う感知器の再取付。（配線は既設接続とする）</div>		記 号	ケーブル・電線	配 管							二重天井内	壁内保護管	コンクリート打込部	屋内露出部（室内）	屋内露出部（その他）	屋外露出部	屋外埋設部		EW-EEF 1.6-2C	—	PF-S16	PF-S16	MM1-A	E-19	E-19			EW-EEF 1.6-3C	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25			EW-EEF 1.6-2C x 2	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25			EW-EEF 1.6-3C + 1.6-2C	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25			EW-EEF 1.6-3C x 2	—	PF-S28	PF-S28	MM1-A	E-31	E-31			EW-EEF 2.0-2C	—	PF-S16	PF-S16	MM1-A	E-19	E-19			EW-EEF 1.6-3C (1C:E)	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25			EW-EEF 1.6-2C x 2 (1C:E)	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25			EW-EEF 2.0-3C (1C:E)	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25		<div>※1 パワーアップ教室 天井改修に伴う感知器の再取付。（配線は既設接続とする）</div>																												
記 号	ケーブル・電線	配 管																																																																																																																															
		二重天井内	壁内保護管	コンクリート打込部	屋内露出部（室内）	屋内露出部（その他）	屋外露出部	屋外埋設部																																																																																																																									
	EW-EEF 1.6-2C	—	PF-S16	PF-S16	MM1-A	E-19	E-19																																																																																																																										
	EW-EEF 1.6-3C	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25																																																																																																																										
	EW-EEF 1.6-2C x 2	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25																																																																																																																										
	EW-EEF 1.6-3C + 1.6-2C	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25																																																																																																																										
	EW-EEF 1.6-3C x 2	—	PF-S28	PF-S28	MM1-A	E-31	E-31																																																																																																																										
	EW-EEF 2.0-2C	—	PF-S16	PF-S16	MM1-A	E-19	E-19																																																																																																																										
	EW-EEF 1.6-3C (1C:E)	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25																																																																																																																										
	EW-EEF 1.6-2C x 2 (1C:E)	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25																																																																																																																										
	EW-EEF 2.0-3C (1C:E)	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25																																																																																																																										
<div><div><div>廊下</div><div></div><div><div><div></div><div></div><div></div><div></div></div><div>パワーアップ教室</div><div><div><div></div><div></div><div></div><div></div></div></div></div><div><div>125</div><div>235</div><div>4,540</div><div>500</div><div>6,900</div><div>7,400</div></div></div></div> <div>※1 パワーアップ教室 天井改修に伴う感知器の取外し。（配線は現状のままとする）</div>		<div>線種記入なきは下記とする。</div> <table><tr><th rowspan="2">記 号</th><th rowspan="2">ケーブル・電線</th><th colspan="7">配 管</th></tr><tr><th>二重天井内</th><th>壁内保護管</th><th>コンクリート打込部</th><th>屋内露出部（室内）</th><th>屋内露出部（その他）</th><th>屋外露出部</th><th>屋外埋設部</th></tr><tr><td></td><td>EW-EEF 1.6-2C</td><td>—</td><td>PF-S16</td><td>PF-S16</td><td>MM1-A</td><td>E-19</td><td>E-19</td><td></td></tr><tr><td></td><td>EW-EEF 1.6-3C</td><td>—</td><td>PF-S22</td><td>PF-S22</td><td>MM1-A</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td></td></tr><tr><td></td><td>EW-EEF 1.6-2C x 2</td><td>—</td><td>PF-S22</td><td>PF-S22</td><td>MM1-A</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td></td></tr><tr><td></td><td>EW-EEF 1.6-3C + 1.6-2C</td><td>—</td><td>PF-S22</td><td>PF-S22</td><td>MM1-A</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td></td></tr><tr><td></td><td>EW-EEF 1.6-3C x 2</td><td>—</td><td>PF-S28</td><td>PF-S28</td><td>MM1-A</td><td>E-31</td><td>E-31</td><td></td></tr><tr><td></td><td>EW-EEF 2.0-2C</td><td>—</td><td>PF-S16</td><td>PF-S16</td><td>MM1-A</td><td>E-19</td><td>E-19</td><td></td></tr><tr><td></td><td>EW-EEF 1.6-3C (1C:E)</td><td>—</td><td>PF-S22</td><td>PF-S22</td><td>MM1-A</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td></td></tr><tr><td></td><td>EW-EEF 1.6-2C x 2 (1C:E)</td><td>—</td><td>PF-S22</td><td>PF-S22</td><td>MM1-A</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td></td></tr><tr><td></td><td>EW-EEF 2.0-3C (1C:E)</td><td>—</td><td>PF-S22</td><td>PF-S22</td><td>MM1-A</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td></td></tr></table> <div>注記1） 上記に於いて屋内露出配管となる部分は 室内：1種金属製線び(MM1-A)、その他：金属製電線管(E管)とする。</div> <div>注記2） 防火区画等の配管貫通部は「金属製電線管で保護」又は「国土交通大臣認定工法」による措置を行う事とする。</div> <div>注記3） コンクリート躯体内等保護必要箇所の配線はPF-S管にて保護とする。</div> <div>注記4） 露出配管（金属製電線管）は指定色塗装とする。</div> <div>注記5） 機器及び器具の取付位置、高さ等については、施工時再度打合せの上、施工する事。</div> <div>改修工事 凡例</div> <div><div> 今回工事 配線、配管を示す。</div><div> 既設 配線、配管を示す。</div><div> 今回工事 機器を示す。</div><div> 既設 機器を示す。</div><div><div> キ</div> 取外し既設機器 再取付を示す。</div><div><div> キ接続</div> 既設配線に接続を示す。</div><div><div> キ接続</div> 既設品に新設配線接続を示す。</div></div> <div>凡 例</div> <div><div><div> ジョイントボックス OB102×54（ブランクカバー共）</div><div><div> ノズルプレート （角型）</div><div><div> カバープレート （角型）</div><div><div> カバープレート （丸型）</div><div><div> カバープレート （角型） 防水型SUS製</div><div><div> 防雨入線カバー</div></div></div><div><div> 防火区画貫通部を示す。（注記2参照）</div></div></div></div></div></div></div> <div>※1 パワーアップ教室 天井改修に伴う感知器の再取付。（配線は既設接続とする）</div>		記 号	ケーブル・電線	配 管							二重天井内	壁内保護管	コンクリート打込部	屋内露出部（室内）	屋内露出部（その他）	屋外露出部	屋外埋設部		EW-EEF 1.6-2C	—	PF-S16	PF-S16	MM1-A	E-19	E-19			EW-EEF 1.6-3C	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25			EW-EEF 1.6-2C x 2	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25			EW-EEF 1.6-3C + 1.6-2C	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25			EW-EEF 1.6-3C x 2	—	PF-S28	PF-S28	MM1-A	E-31	E-31			EW-EEF 2.0-2C	—	PF-S16	PF-S16	MM1-A	E-19	E-19			EW-EEF 1.6-3C (1C:E)	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25			EW-EEF 1.6-2C x 2 (1C:E)	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25			EW-EEF 2.0-3C (1C:E)	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25		<div>※1 パワーアップ教室 天井改修に伴う感知器の再取付。（配線は既設接続とする）</div>																												
記 号	ケーブル・電線	配 管																																																																																																																															
		二重天井内	壁内保護管	コンクリート打込部	屋内露出部（室内）	屋内露出部（その他）	屋外露出部	屋外埋設部																																																																																																																									
	EW-EEF 1.6-2C	—	PF-S16	PF-S16	MM1-A	E-19	E-19																																																																																																																										
	EW-EEF 1.6-3C	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25																																																																																																																										
	EW-EEF 1.6-2C x 2	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25																																																																																																																										
	EW-EEF 1.6-3C + 1.6-2C	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25																																																																																																																										
	EW-EEF 1.6-3C x 2	—	PF-S28	PF-S28	MM1-A	E-31	E-31																																																																																																																										
	EW-EEF 2.0-2C	—	PF-S16	PF-S16	MM1-A	E-19	E-19																																																																																																																										
	EW-EEF 1.6-3C (1C:E)	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25																																																																																																																										
	EW-EEF 1.6-2C x 2 (1C:E)	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25																																																																																																																										
	EW-EEF 2.0-3C (1C:E)	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25																																																																																																																										
<div><div><div>廊下</div><div></div><div><div><div></div><div></div><div></div><div></div></div><div>パワーアップ教室</div><div><div><div></div><div></div><div></div><div></div></div></div></div><div><div>125</div><div>235</div><div>4,540</div><div>500</div><div>6,900</div><div>7,400</div></div></div></div> <div>※1 パワーアップ教室 天井改修に伴う感知器の取外し。（配線は現状のままとする）</div>		<div>線種記入なきは下記とする。</div> <table><tr><th rowspan="2">記 号</th><th rowspan="2">ケーブル・電線</th><th colspan="7">配 管</th></tr><tr><th>二重天井内</th><th>壁内保護管</th><th>コンクリート打込部</th><th>屋内露出部（室内）</th><th>屋内露出部（その他）</th><th>屋外露出部</th><th>屋外埋設部</th></tr><tr><td></td><td>EW-EEF 1.6-2C</td><td>—</td><td>PF-S16</td><td>PF-S16</td><td>MM1-A</td><td>E-19</td><td>E-19</td><td></td></tr><tr><td></td><td>EW-EEF 1.6-3C</td><td>—</td><td>PF-S22</td><td>PF-S22</td><td>MM1-A</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td></td></tr><tr><td></td><td>EW-EEF 1.6-2C x 2</td><td>—</td><td>PF-S22</td><td>PF-S22</td><td>MM1-A</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td></td></tr><tr><td></td><td>EW-EEF 1.6-3C + 1.6-2C</td><td>—</td><td>PF-S22</td><td>PF-S22</td><td>MM1-A</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td></td></tr><tr><td></td><td>EW-EEF 1.6-3C x 2</td><td>—</td><td>PF-S28</td><td>PF-S28</td><td>MM1-A</td><td>E-31</td><td>E-31</td><td></td></tr><tr><td></td><td>EW-EEF 2.0-2C</td><td>—</td><td>PF-S16</td><td>PF-S16</td><td>MM1-A</td><td>E-19</td><td>E-19</td><td></td></tr><tr><td></td><td>EW-EEF 1.6-3C (1C:E)</td><td>—</td><td>PF-S22</td><td>PF-S22</td><td>MM1-A</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td></td></tr><tr><td></td><td>EW-EEF 1.6-2C x 2 (1C:E)</td><td>—</td><td>PF-S22</td><td>PF-S22</td><td>MM1-A</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td></td></tr><tr><td></td><td>EW-EEF 2.0-3C (1C:E)</td><td>—</td><td>PF-S22</td><td>PF-S22</td><td>MM1-A</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td></td></tr></table> <div>注記1） 上記に於いて屋内露出配管となる部分は 室内：1種金属製線び(MM1-A)、その他：金属製電線管(E管)とする。</div> <div>注記2） 防火区画等の配管貫通部は「金属製電線管で保護」又は「国土交通大臣認定工法」による措置を行う事とする。</div> <div>注記3） コンクリート躯体内等保護必要箇所の配線はPF-S管にて保護とする。</div> <div>注記4） 露出配管（金属製電線管）は指定色塗装とする。</div> <div>注記5） 機器及び器具の取付位置、高さ等については、施工時再度打合せの上、施工する事。</div> <div>改修工事 凡例</div> <div><div> 今回工事 配線、配管を示す。</div><div> 既設 配線、配管を示す。</div><div> 今回工事 機器を示す。</div><div> 既設 機器を示す。</div><div><div> キ</div> 取外し既設機器 再取付を示す。</div><div><div> キ接続</div> 既設配線に接続を示す。</div><div><div> キ接続</div> 既設品に新設配線接続を示す。</div></div> <div>凡 例</div> <div><div><div> ジョイントボックス OB102×54（ブランクカバー共）</div><div><div> ノズルプレート （角型）</div><div><div> カバープレート （角型）</div><div><div> カバープレート （丸型）</div><div><div> カバープレート （角型） 防水型SUS製</div><div><div> 防雨入線カバー</div></div></div><div><div> 防火区画貫通部を示す。（注記2参照）</div></div></div></div></div></div></div> <div>※1 パワーアップ教室 天井改修に伴う感知器の再取付。（配線は既設接続とする）</div>		記 号	ケーブル・電線	配 管							二重天井内	壁内保護管	コンクリート打込部	屋内露出部（室内）	屋内露出部（その他）	屋外露出部	屋外埋設部		EW-EEF 1.6-2C	—	PF-S16	PF-S16	MM1-A	E-19	E-19			EW-EEF 1.6-3C	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25			EW-EEF 1.6-2C x 2	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25			EW-EEF 1.6-3C + 1.6-2C	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25			EW-EEF 1.6-3C x 2	—	PF-S28	PF-S28	MM1-A	E-31	E-31			EW-EEF 2.0-2C	—	PF-S16	PF-S16	MM1-A	E-19	E-19			EW-EEF 1.6-3C (1C:E)	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25			EW-EEF 1.6-2C x 2 (1C:E)	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25			EW-EEF 2.0-3C (1C:E)	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25		<div>※1 パワーアップ教室 天井改修に伴う感知器の再取付。（配線は既設接続とする）</div>																												
記 号	ケーブル・電線	配 管																																																																																																																															
		二重天井内	壁内保護管	コンクリート打込部	屋内露出部（室内）	屋内露出部（その他）	屋外露出部	屋外埋設部																																																																																																																									
	EW-EEF 1.6-2C	—	PF-S16	PF-S16	MM1-A	E-19	E-19																																																																																																																										
	EW-EEF 1.6-3C	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25																																																																																																																										
	EW-EEF 1.6-2C x 2	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25																																																																																																																										
	EW-EEF 1.6-3C + 1.6-2C	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25																																																																																																																										
	EW-EEF 1.6-3C x 2	—	PF-S28	PF-S28	MM1-A	E-31	E-31																																																																																																																										
	EW-EEF 2.0-2C	—	PF-S16	PF-S16	MM1-A	E-19	E-19																																																																																																																										
	EW-EEF 1.6-3C (1C:E)	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25																																																																																																																										
	EW-EEF 1.6-2C x 2 (1C:E)	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25																																																																																																																										
	EW-EEF 2.0-3C (1C:E)	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25																																																																																																																										
<div><div><div>廊下</div><div></div><div><div><div></div><div></div><div></div><div></div></div><div>パワーアップ教室</div><div><div><div></div><div></div><div></div><div></div></div></div></div><div><div>125</div><div>235</div><div>4,540</div><div>500</div><div>6,900</div><div>7,400</div></div></div></div> <div>※1 パワーアップ教室 天井改修に伴う感知器の取外し。（配線は現状のままとする）</div>		<div>線種記入なきは下記とする。</div> <table><tr><th rowspan="2">記 号</th><th rowspan="2">ケーブル・電線</th><th colspan="7">配 管</th></tr><tr><th>二重天井内</th><th>壁内保護管</th><th>コンクリート打込部</th><th>屋内露出部（室内）</th><th>屋内露出部（その他）</th><th>屋外露出部</th><th>屋外埋設部</th></tr><tr><td></td><td>EW-EEF 1.6-2C</td><td>—</td><td>PF-S16</td><td>PF-S16</td><td>MM1-A</td><td>E-19</td><td>E-19</td><td></td></tr><tr><td></td><td>EW-EEF 1.6-3C</td><td>—</td><td>PF-S22</td><td>PF-S22</td><td>MM1-A</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td></td></tr><tr><td></td><td>EW-EEF 1.6-2C x 2</td><td>—</td><td>PF-S22</td><td>PF-S22</td><td>MM1-A</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td></td></tr><tr><td></td><td>EW-EEF 1.6-3C + 1.6-2C</td><td>—</td><td>PF-S22</td><td>PF-S22</td><td>MM1-A</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td></td></tr><tr><td></td><td>EW-EEF 1.6-3C x 2</td><td>—</td><td>PF-S28</td><td>PF-S28</td><td>MM1-A</td><td>E-31</td><td>E-31</td><td></td></tr><tr><td></td><td>EW-EEF 2.0-2C</td><td>—</td><td>PF-S16</td><td>PF-S16</td><td>MM1-A</td><td>E-19</td><td>E-19</td><td></td></tr><tr><td></td><td>EW-EEF 1.6-3C (1C:E)</td><td>—</td><td>PF-S22</td><td>PF-S22</td><td>MM1-A</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td></td></tr><tr><td></td><td>EW-EEF 1.6-2C x 2 (1C:E)</td><td>—</td><td>PF-S22</td><td>PF-S22</td><td>MM1-A</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td></td></tr><tr><td></td><td>EW-EEF 2.0-3C (1C:E)</td><td>—</td><td>PF-S22</td><td>PF-S22</td><td>MM1-A</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td></td></tr></table> <div>注記1） 上記に於いて屋内露出配管となる部分は 室内：1種金属製線び(MM1-A)、その他：金属製電線管(E管)とする。</div> <div>注記2） 防火区画等の配管貫通部は「金属製電線管で保護」又は「国土交通大臣認定工法」による措置を行う事とする。</div> <div>注記3） コンクリート躯体内等保護必要箇所の配線はPF-S管にて保護とする。</div> <div>注記4） 露出配管（金属製電線管）は指定色塗装とする。</div> <div>注記5） 機器及び器具の取付位置、高さ等については、施工時再度打合せの上、施工する事。</div> <div>改修工事 凡例</div> <div><div> 今回工事 配線、配管を示す。</div><div> 既設 配線、配管を示す。</div><div> 今回工事 機器を示す。</div><div> 既設 機器を示す。</div><div><div> キ</div> 取外し既設機器 再取付を示す。</div><div><div> キ接続</div> 既設配線に接続を示す。</div><div><div> キ接続</div> 既設品に新設配線接続を示す。</div></div> <div>凡 例</div> <div><div><div> ジョイントボックス OB102×54（ブランクカバー共）</div><div><div> ノズルプレート （角型）</div><div><div> カバープレート （角型）</div><div><div> カバープレート （丸型）</div><div><div> カバープレート （角型） 防水型SUS製</div><div><div> 防雨入線カバー</div></div></div><div><div> 防火区画貫通部を示す。（注記2参照）</div></div></div></div></div></div></div> <div>※1 パワーアップ教室 天井改修に伴う感知器の再取付。（配線は既設接続とする）</div>		記 号	ケーブル・電線	配 管							二重天井内	壁内保護管	コンクリート打込部	屋内露出部（室内）	屋内露出部（その他）	屋外露出部	屋外埋設部		EW-EEF 1.6-2C	—	PF-S16	PF-S16	MM1-A	E-19	E-19			EW-EEF 1.6-3C	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25			EW-EEF 1.6-2C x 2	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25			EW-EEF 1.6-3C + 1.6-2C	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25			EW-EEF 1.6-3C x 2	—	PF-S28	PF-S28	MM1-A	E-31	E-31			EW-EEF 2.0-2C	—	PF-S16	PF-S16	MM1-A	E-19	E-19			EW-EEF 1.6-3C (1C:E)	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25			EW-EEF 1.6-2C x 2 (1C:E)	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25			EW-EEF 2.0-3C (1C:E)	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25		<div>※1 パワーアップ教室 天井改修に伴う感知器の再取付。（配線は既設接続とする）</div>																												
記 号	ケーブル・電線	配 管																																																																																																																															
		二重天井内	壁内保護管	コンクリート打込部	屋内露出部（室内）	屋内露出部（その他）	屋外露出部	屋外埋設部																																																																																																																									
	EW-EEF 1.6-2C	—	PF-S16	PF-S16	MM1-A	E-19	E-19																																																																																																																										
	EW-EEF 1.6-3C	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25																																																																																																																										
	EW-EEF 1.6-2C x 2	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25																																																																																																																										
	EW-EEF 1.6-3C + 1.6-2C	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25																																																																																																																										
	EW-EEF 1.6-3C x 2	—	PF-S28	PF-S28	MM1-A	E-31	E-31																																																																																																																										
	EW-EEF 2.0-2C	—	PF-S16	PF-S16	MM1-A	E-19	E-19																																																																																																																										
	EW-EEF 1.6-3C (1C:E)	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25																																																																																																																										
	EW-EEF 1.6-2C x 2 (1C:E)	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25																																																																																																																										
	EW-EEF 2.0-3C (1C:E)	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25																																																																																																																										
<div><div><div>廊下</div><div></div><div><div><div></div><div></div><div></div><div></div></div><div>パワーアップ教室</div><div><div><div></div><div></div><div></div><div></div></div></div></div><div><div>125</div><div>235</div><div>4,540</div><div>500</div><div>6,900</div><div>7,400</div></div></div></div> <div>※1 パワーアップ教室 天井改修に伴う感知器の取外し。（配線は現状のままとする）</div>		<div>線種記入なきは下記とする。</div> <table><tr><th rowspan="2">記 号</th><th rowspan="2">ケーブル・電線</th><th colspan="7">配 管</th></tr><tr><th>二重天井内</th><th>壁内保護管</th><th>コンクリート打込部</th><th>屋内露出部（室内）</th><th>屋内露出部（その他）</th><th>屋外露出部</th><th>屋外埋設部</th></tr><tr><td></td><td>EW-EEF 1.6-2C</td><td>—</td><td>PF-S16</td><td>PF-S16</td><td>MM1-A</td><td>E-19</td><td>E-19</td><td></td></tr><tr><td></td><td>EW-EEF 1.6-3C</td><td>—</td><td>PF-S22</td><td>PF-S22</td><td>MM1-A</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td></td></tr><tr><td></td><td>EW-EEF 1.6-2C x 2</td><td>—</td><td>PF-S22</td><td>PF-S22</td><td>MM1-A</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td></td></tr><tr><td></td><td>EW-EEF 1.6-3C + 1.6-2C</td><td>—</td><td>PF-S22</td><td>PF-S22</td><td>MM1-A</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td></td></tr><tr><td></td><td>EW-EEF 1.6-3C x 2</td><td>—</td><td>PF-S28</td><td>PF-S28</td><td>MM1-A</td><td>E-31</td><td>E-31</td><td></td></tr><tr><td></td><td>EW-EEF 2.</td></tr></table>		記 号	ケーブル・電線	配 管							二重天井内	壁内保護管	コンクリート打込部	屋内露出部（室内）	屋内露出部（その他）	屋外露出部	屋外埋設部		EW-EEF 1.6-2C	—	PF-S16	PF-S16	MM1-A	E-19	E-19			EW-EEF 1.6-3C	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25			EW-EEF 1.6-2C x 2	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25			EW-EEF 1.6-3C + 1.6-2C	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25			EW-EEF 1.6-3C x 2	—	PF-S28	PF-S28	MM1-A	E-31	E-31			EW-EEF 2.																																																															
記 号	ケーブル・電線	配 管																																																																																																																															
		二重天井内	壁内保護管	コンクリート打込部	屋内露出部（室内）	屋内露出部（その他）	屋外露出部	屋外埋設部																																																																																																																									
	EW-EEF 1.6-2C	—	PF-S16	PF-S16	MM1-A	E-19	E-19																																																																																																																										
	EW-EEF 1.6-3C	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25																																																																																																																										
	EW-EEF 1.6-2C x 2	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25																																																																																																																										
	EW-EEF 1.6-3C + 1.6-2C	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25																																																																																																																										
	EW-EEF 1.6-3C x 2	—	PF-S28	PF-S28	MM1-A	E-31	E-31																																																																																																																										
	EW-EEF 2.																																																																																																																																

改修前		特別教室棟 3階 トイレ 照明設備改修図 1/100				改修後		特別教室棟 3階 トイレ 照明設備改修図 1/100																																																																																																																																	
<div><div><div>廊下</div><div>3L-2</div><div></div></div><div><table><tr><th colspan="2">男子トイレ</th><th colspan="2">女子トイレ</th></tr><tr><td>a 4 0 1</td><td>2 撤去</td><td>a 4 0 1</td><td>2 撤去</td></tr><tr><td>c 4 0 1</td><td>1 撤去</td><td>c 4 0 1</td><td>1 撤去</td></tr><tr><td>d 6 0 1</td><td>2 撤去</td><td></td><td></td></tr></table><div><div>125</div><div>2,310</div><div>2,230</div><div>235</div><div>4,540</div></div></div></div> <div><div>※1 男子トイレ</div><div>※2 女子トイレ</div><div>トイレ改修に伴う照明設備の撤去。</div><div>トイレ改修に伴う照明設備の撤去。</div></div>						男子トイレ		女子トイレ		a 4 0 1	2 撤去	a 4 0 1	2 撤去	c 4 0 1	1 撤去	c 4 0 1	1 撤去	d 6 0 1	2 撤去			<div>線種記入なきは下記とする。</div> <table><tr><th rowspan="2">記 号</th><th rowspan="2">ケーブル・電線</th><th colspan="6">配 管</th></tr><tr><th>二重天井内</th><th>壁内保護管</th><th>コンクリート打込部</th><th>屋内露出部(室内)</th><th>屋内露出部(その他)</th><th>屋外露出部</th></tr><tr><td></td><td>1.2 x 2</td><td>E-19</td><td>E-19</td><td>E-19</td><td>E-19</td><td>E-19</td><td>E-19</td></tr><tr><td></td><td>1.2 x 3</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td>E-25</td></tr><tr><td></td><td>1.6 x 2</td><td>E-19</td><td>E-19</td><td>E-19</td><td>E-19</td><td>E-19</td><td>E-19</td></tr><tr><td></td><td>1.6 x 3</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td>E-25</td></tr><tr><td></td><td>1.6 x 4</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td>E-25</td></tr><tr><td></td><td>2.0 x 2</td><td>E-19</td><td>E-19</td><td>E-19</td><td>E-19</td><td>E-19</td><td>E-19</td></tr><tr><td></td><td>2.0 x 2 E2,0</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td>E-25</td></tr><tr><td></td><td>2.0 x 4 E2,0</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td>E-25</td></tr><tr><td></td><td>VV-F 1.6-2C (10:E)</td><td>—</td><td></td><td></td><td>MM1-A</td><td>MM1-A</td><td></td></tr><tr><td></td><td>VV-F 1.6-3C (10:E)</td><td>—</td><td></td><td></td><td>MM1-A</td><td>MM1-A</td><td></td></tr><tr><td></td><td>VV-F 2.0-3C (10:E)</td><td>—</td><td></td><td></td><td>MM1-A</td><td>MM1-A</td><td></td></tr><tr><td></td><td>VV-F 2.0-3C (10:E)</td><td>—</td><td></td><td></td><td>MM1-A</td><td>MM1-A</td><td></td></tr></table> <div>注記1) 撤去工事概要</div> <div><div>・図中に於いて撤去を示す機器は全て撤去とする。</div><div>・機器撤去に伴い不要となる配線、配管は原則として全て撤去とする。</div><div>・撤去工事に於いて、事前に工事前施工調査を行い既設設備の状況を把握した上で施工するものとする。</div><div>・図中明記無き場合でも改修工事に於いて不要となる機器は監督員と協議の上、原則撤去処分とする。</div><div>・撤去後再利用する機器は、清掃及び絶縁測定の上、良品のみ使用する。 但し、機器品質の良否判定は、監督員の指示に従う。</div><div>・撤去後、施設引き渡しとする機器は、清掃及び絶縁測定の上、リストを作成の上、引き渡しとする。</div></div> <div>注記2) 撤去工事区分</div> <div><div>・機器撤去 : 本工事</div><div>・二重天井内配管配線: 建築工事 (天井撤去に伴う部分)</div><div>・二重天井内配管配線: 本工事 (天井撤去無き部分)</div><div>・壁内配管配線 : 建築工事 (壁撤去に伴う部分)</div><div>・壁内配管配線 : 本工事 (壁撤去無き部分) *配線: 引抜き、配管: 現状のまま廃止</div></div> <div>撤去工事 凡例</div> <div><div> 配線、配管 配管現状のままを示す。</div><div> 配線: 撤去、配管: 撤去又は現状のまま廃止を示す。</div><div> 配線: 撤去、配管: 再利用を示す。</div><div> 機器 現状のままを示す。</div><div> 撤去 機器を示す。</div><div> 取外し (再利用) 機器を示す。</div></div> <div>凡 例</div> <div><div><div> 電気暖房機</div><div>取外し: 機械設備工事</div><div>1φ200V 2,000kW</div></div><div><div> 電気暖房機</div><div>取外し: 機械設備工事</div><div>1φ200V 1,500kW</div></div><div><div> 換気扇</div><div>撤去 : 機械設備工事</div><div></div></div><div><div> ダクト換気扇</div><div>撤去 : 機械設備工事</div><div></div></div><div><div> ノズルプレート (角型)</div><div></div><div></div></div><div><div> カバープレート (角型)</div><div></div><div></div></div><div><div><div>●</div></div><div>埋込スイッチ (1P15A×1)</div><div></div></div><div><div><div>●</div></div><div>埋込スイッチ (1P 4A×1) L付</div><div></div></div><div><div><div>○</div></div><div>パイロットランプ (AC100V)</div><div></div></div><div><div><div>Ⓡ2</div></div><div>リモコンスイッチ 2L</div><div></div></div><div><div><div>● RAS-W</div></div><div>熱線センサ付自動スイッチ 天井付型 親子式・親機</div><div>明るさセンサ付 広角検知型 MODEL) WTK24018</div></div><div><div><div>● RAS-S</div></div><div>熱線センサ付自動スイッチ 天井付型 親子式・子機</div><div>広角検知型 MODEL) WTK29129</div></div><div><div><div>● RAS-FW</div></div><div>熱線センサ付自動スイッチ 天井付型 親子式・子機</div><div>換気扇連動端子付 開欠遅延 MODEL) WTK2933K</div></div><div><div><div>● 2-SL</div></div><div>同上 (自, 切, 手) 切替スイッチ 2回路型 P: ガードプレート 取付高: FL+1800 MODEL) WTK5822W</div><div></div></div><div><div><div>①</div></div><div>埋込コンセント (2P15A×1)</div><div></div></div><div><div><div>① 2</div></div><div>埋込コンセント (2P15A×2)</div><div></div></div><div><div><div>① Lx</div></div><div>埋込コンセント (2P15A×1) 抜止め型 天井面取付</div><div></div></div><div><div><div>① EET</div></div><div>埋込コンセント (2P15A×1) E極・ET付</div><div></div></div><div><div><div>① ZEEF</div></div><div>埋込コンセント (2P15A×2) E極・ET付</div><div></div></div><div><div><div>⊖</div></div><div>差動式スポット型感知器 2種</div><div>既設取外し品再取付</div></div><div><div><div>★</div></div><div>ケーブル引下け部を1種金属線び (MM1-A) で保護を示す (今回工事)</div><div></div></div><div><div><div>▲</div></div><div>既設コンクリート壁 (ブロック壁) 貫通箇所を示す</div><div></div></div><div><div><div></div></div><div>新設天井点検口 (建築工事)</div><div></div></div></div>						記 号	ケーブル・電線	配 管						二重天井内	壁内保護管	コンクリート打込部	屋内露出部(室内)	屋内露出部(その他)	屋外露出部		1.2 x 2	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19		1.2 x 3	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25		1.6 x 2	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19		1.6 x 3	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25		1.6 x 4	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25		2.0 x 2	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19		2.0 x 2 E2,0	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25		2.0 x 4 E2,0	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25		VV-F 1.6-2C (10:E)	—			MM1-A	MM1-A			VV-F 1.6-3C (10:E)	—			MM1-A	MM1-A			VV-F 2.0-3C (10:E)	—			MM1-A	MM1-A			VV-F 2.0-3C (10:E)	—			MM1-A	MM1-A	
男子トイレ		女子トイレ																																																																																																																																							
a 4 0 1	2 撤去	a 4 0 1	2 撤去																																																																																																																																						
c 4 0 1	1 撤去	c 4 0 1	1 撤去																																																																																																																																						
d 6 0 1	2 撤去																																																																																																																																								
記 号	ケーブル・電線	配 管																																																																																																																																							
		二重天井内	壁内保護管	コンクリート打込部	屋内露出部(室内)	屋内露出部(その他)	屋外露出部																																																																																																																																		
	1.2 x 2	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19																																																																																																																																		
	1.2 x 3	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25																																																																																																																																		
	1.6 x 2	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19																																																																																																																																		
	1.6 x 3	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25																																																																																																																																		
	1.6 x 4	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25																																																																																																																																		
	2.0 x 2	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19																																																																																																																																		
	2.0 x 2 E2,0	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25																																																																																																																																		
	2.0 x 4 E2,0	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25																																																																																																																																		
	VV-F 1.6-2C (10:E)	—			MM1-A	MM1-A																																																																																																																																			
	VV-F 1.6-3C (10:E)	—			MM1-A	MM1-A																																																																																																																																			
	VV-F 2.0-3C (10:E)	—			MM1-A	MM1-A																																																																																																																																			
	VV-F 2.0-3C (10:E)	—			MM1-A	MM1-A																																																																																																																																			
改修前		特別教室棟 3階 トイレ コンセント設備改修図 1/100				改修後		特別教室棟 3階 トイレ コンセント設備改修図 1/100																																																																																																																																	
<div><div><div>廊下</div><div>3L-2</div><div></div></div><div><table><tr><th colspan="2">男子トイレ</th><th colspan="2">女子トイレ</th></tr><tr><td>a 4 0 1</td><td>2 撤去</td><td>a 4 0 1</td><td>2 撤去</td></tr><tr><td>c 4 0 1</td><td>1 撤去</td><td>c 4 0 1</td><td>1 撤去</td></tr><tr><td>d 6 0 1</td><td>2 撤去</td><td></td><td></td></tr></table><div><div>125</div><div>2,310</div><div>2,230</div><div>235</div><div>4,540</div></div></div></div> <div><div>※1 男子トイレ</div><div>※2 女子トイレ</div><div>トイレ改修に伴うコンセント設備の撤去。</div><div>トイレ改修に伴うコンセント設備の撤去。</div></div>						男子トイレ		女子トイレ		a 4 0 1	2 撤去	a 4 0 1	2 撤去	c 4 0 1	1 撤去	c 4 0 1	1 撤去	d 6 0 1	2 撤去			<div>線路内訳表 (幹線)</div> <table><tr><th rowspan="2">番号</th><th rowspan="2">ケーブル・電線</th><th colspan="2">配 管</th><th rowspan="2">相電圧</th><th rowspan="2">用 途</th><th rowspan="2">送り元 (接続箇所)</th></tr><tr><th>二重天井内</th><th>壁内</th></tr><tr><td>3L-21</td><td>EW-OE 8sq-3C EW-IE 5,5sq</td><td>—</td><td>PF-S36</td><td>MM1-B</td><td>1φ3W 200/100V</td><td>3L-2-1</td></tr></table> <div>※1 廊下</div> <div>電灯分電盤3L-2-1の新設。 新設幹線を既設電灯分電盤3L-2主開閉器一次側へ接続の上、新設3L-2-1まで施工。</div> <div>※2 男子トイレ</div> <div>新設ウォシュレット用コンセント及び配線・配管の新設。 新設電灯分電盤3L-2-1へ接続。 新設電気暖房機用ノズルプレート及び配線・配管の新設。 既設電灯分電盤3L-2内既設回路へ接続。</div> <div>※3 女子トイレ</div> <div>新設ウォシュレット用コンセント及び配線・配管の新設。 新設電灯分電盤3L-2-1へ接続。 新設電気暖房機用ノズルプレート及び配線・配管の新設。 既設電灯分電盤3L-2内既設回路へ接続。</div>						番号	ケーブル・電線	配 管		相電圧	用 途	送り元 (接続箇所)	二重天井内	壁内	3L-21	EW-OE 8sq-3C EW-IE 5,5sq	—	PF-S36	MM1-B	1φ3W 200/100V	3L-2-1																																																																																														
男子トイレ		女子トイレ																																																																																																																																							
a 4 0 1	2 撤去	a 4 0 1	2 撤去																																																																																																																																						
c 4 0 1	1 撤去	c 4 0 1	1 撤去																																																																																																																																						
d 6 0 1	2 撤去																																																																																																																																								
番号	ケーブル・電線	配 管		相電圧	用 途	送り元 (接続箇所)																																																																																																																																			
		二重天井内	壁内																																																																																																																																						
3L-21	EW-OE 8sq-3C EW-IE 5,5sq	—	PF-S36	MM1-B	1φ3W 200/100V	3L-2-1																																																																																																																																			
原設計図【A2】						工事名 花里小学校校舎トイレ改修工事 図 名 特別教室棟 3階 トイレ 電気設備改修図 縮 尺 1/100 番号 E09 枚の内 09 号 設 計 令和 8 年 1 月 設 計 設計室 A L L 株式会社 一級建築士 第206813号 古垣内 克幸 高 山 市																																																																																																																																			

★

ケーブル引下け部を1種金属線び(MM1-A)で保護を示す

■

ケーブル引下け部を硬質ビニル電線管(VE-16)で保護を示す



● 一般共通事項

32. 鋼管用伸縮管継手

33. 防振吊り金物及び防振支持金物

34. 保温工事

35. 塗 装

36. はつり

37. 天井仕上区分

38. 他工事又は他工種とのとりあい

39. 電線類

40. その他

・ ベローズ形 ・ スリーブ形

図示の位置に取り付ける。

1) 標準仕様書第2編3章1節によるほか次による。ただし各工事種目で別に指定されたものは除く。  
・ 多湿箇所 室 名：  
・ 共同溝内 ダクト： 配管：

2) 保温の種別（下記表の他は標準仕様書による）  
保温材の種類：（イ）ロックウール保温材 （ロ）グラスウール保温材 （ハ）ポリスチレンフォーム保温材

種 別	衛 生 設 備			空 調 設 備			
仕様区分	給水管	排水管	給湯管	冷媒管	ドレン管	長方形ダクト	パイプダクト
屋内露出部							
機械室等							
天井内・壁内等	ｃ・ロ・Ⅶ	ｃ・ロ・Ⅶ					
床下等							
屋外露出等							
土間							

・ 保温無し屋内露出の配管及びダクトは塗装を行う。（ただし、機械室内及び屋上は除く）  
・  
既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開けは、図面に特記のない場合はダイヤモンドカッターによる。  
穴開けを行う際は、電磁誘導等の機器で鉄筋探査を行う。  
（ ） 書きの室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。  
図面に特記なき場合は、「工事区分表」による。

電線及びＥＭケーブルの規格は標準仕様書第4編1.5.1表4.1.11による。  
電線類は、ＥＭケーブルを使用する。（機器・盤類を除いてもよい）  
屋外設置のマノホール類には用途名を入れる。  
屋外で使用する鋼材等は、（ ・ 溶融亜鉛めっき仕上げ ・ ステンレス鋼材 ）とする。

● 改修関係事項

1. 既設との取合い

2. 施工調査

3. 仮設囲仕切

4. 養 生

5. 既設ダクトの再利用

6. 非破壊検査

7. 試 験

8. あと施工アンカー

9. 撤去工事

10. 冷媒（フロン類）の回収

● 冷暖房設備・凍結防止設備

1. 設計温湿度

2. ばいじん量測定口

3. ばい煙濃度計取付座

4. ダクト

5. チャンバー

6. ダンパー

7. 風量測定口

8. 配管材料

9. 弁 類

10. 温度計・圧力計

11. 瞬間流量計

12. 油面制御装置

13. 保温及び消音内貼

	外 気				屋内（調整目標値）			
	一 般 系 統				一 般 系 統		凍結防止系統	
	温度（DB）	湿度（RH）	温度（DB）	湿度（RH）	温度（DB）	湿度（RH）	温度（DB）	湿度（RH）
夏季	34.4℃	45.1%	℃	%	28.0℃	(50)%	℃	%
冬季	－7.6℃	82.6%	℃	%	19.0℃	(40)%	5.0℃	%

設ける（測定口は80mm以上とし、取り付け箇所は煙道の直線部とする）  
・ 設ける ・ 設けない  
・ 低圧ダクト ・ コーナーボルト工法（長辺の長さが1,500mm以下の部分）  
・ アングルフランジ工法  
・ 高圧1ダクト（範囲は図示による。）  
1) 内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。  
2) 空気調和機に取り付けるサブライチャンバー、レタンチャンバー及びダクト系で消音内貼したチャンバーには内貼したチャンバーには点検口を設置し、寸法は図示による。  
3) 外壁に面するガラリーに直接取り付けるチャンバー及びホッパーは雨水の滞留のないように施工する。  
1) 防煙ダンパー 復州方式（ ・ 遠隔（定格入力はDC24V 0.7A以下） ・ ）  
2) ピストンダンパー 復州方式（ ・ 遠隔 ・ ）  
図示の位置に取り付ける。  
1) 冷温水管 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・  
・ 架橋ポリエチレン管（20A以下）  
2) 冷却水管 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・  
3) 空調用排水管 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白）※屋外露出部 ・  
・ 硬質ポリ塩化ビニル管  
4) 冷媒管 ・ 断熱材被覆鋼管（難燃性）  
5) 膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管は配管用炭素鋼鋼管（白）とする。  
6) 加湿用給水管 ・ ステンレス鋼管 ・ ポリ粉体鋼管（PA又はPB）  
・ 塩ビライニング鋼管（VA又はVB）  
7) 蒸気管 給気管 ・ 配管用炭素鋼鋼管（黒） ・  
・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（黒）Sch40  
還管 ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（黒）Sch80  
・ 配管用炭素鋼鋼管（黒） ・ ポリエチレン被覆鋼管 ・ 灯油用被覆鋼管  
1) 冷温水コイル廻り（標準図）の弁は（ ・ 仕切弁 ・ バタフライ弁 ）とする。  
2) 蒸気加熱コイル廻り（標準図）の弁は仕切弁とする。  
3) ファンコイルユニットと冷水管の接続部（往・還）には、ボール弁を取付ける。  
また、ファンコイルユニットには、（ ・ 流量調整弁 ・ 定流量弁 ）を設置する。  
下記の表に○をつけた箇所に設置する。なお円形指示計は100mmφ以上とする。

機材名	計測部位	温度計の種類	温度計		圧力計	
			入口側	出口側	入口側	出口側
冷温水機	冷温水	円形指示計	－	－	－	－
冷凍機	冷却水	円形指示計	－	－	－	－
パッケージ形	サブライチャンバー	円形指示計	－	－	－	－
空気調和機	レタンチャンバー	円形指示計	－	－	－	－
ユニット形	冷温水	円形指示計	－	－	－	－
空気調和機	サブライチャンバー	円形指示計	－	－	－	－
	レタンチャンバー					
熱交換器	防振支持の機器	円形指示計	－	－	－	－
ヘッダー	水槽類	円形指示計	－	－	－	－

瞬間流量計はビーター管方式によるもので、止水コック付とし、図示の位置に取り付ける。  
なお瞬間流量計の形式は、（ ・ 固定式 ・ 着脱式 ）とする。  
着脱式の場合、（40A 個 100A 個 ）を付属する。  
制御盤には（ ・ 給油ポンプ制御 ・ 返油ポンプ制御 ・ 漏えい検知警報 ・ 満油警報 ・ 減油警報 ・ 遠隔警報 ・ 電磁弁制御 ）の端子を設ける。  
なお、フロートスイッチ部と制御盤間の配管配線は製造者の標準仕様とする。  
また、フロートスイッチ部はステンレス鋼製（油面検出部）とする。  
標準仕様書第2編3.1.4によるほか、次による。  
・ 膨張管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管の保温は、標準仕様書第2編3.1.4の温水管の項による。  
・ 建物内の空気抜き管の保温は標準仕様書第2編3.1.4の温水管の項により、空気抜き対象管から空気抜きまでとする。  
・ 空気調和機及びファンコイルユニットの排水管の保温は、標準仕様書第2編3.1.5の排水管の項による。  
・ 冷媒管の保温外装は下記による。（ただし、天井内、機械室内、PS内は保温外装不要）  
屋内露出（ ・ 合成樹脂製カバー ・ 保温化粧ケース（材質： ））  
屋外露出（ ・ ステンレス鋼板 ・ 保温化粧ケース（材質： 鋼板ダクト及び樹脂カバー）  
・ カラー亜鉛鉄板 ・ 溶融アルミニウム亜鉛鉄板 ）  
・ 外気取入れ用ダクトの保温要 （保温の厚さ25mm、範囲は図示による）  
・ 排気用ダクトの保温要 （保温の厚さ25mm、範囲は図示による）  
・ 還気用ダクトの保温要 （保温の厚さ25mm、範囲は図示による）

● 換気設備

1. ダクト

2. 風量測定口

3. ダンパー

4. シールする排気

5. チャンバー

6. 保 温

○ 排煙設備

○ 自動制御設備

・ 低圧ダクト ・ コーナーボルト工法（長辺の長さが1,500mm以下の部分）  
・ アングルフランジ工法  
・ スパイラルダクト ・ フレキシブルダクト（ ・ 保温付 ・ 保温無 ）  
・ 高圧1ダクト（範囲は図示による。）  
・ ステンレスダクト及び塩化ビニルダクト（範囲及び仕様は図示による）  
・ 厨房系統の排気ダクトは標準仕様書第3編2.2.2.2のダクトの板厚の項より一番手厚いものを使用する。  
（範囲は図示による）  
図示の位置に取り付ける。  
空気調和設備の当該項目による。  
・ 厨房系統 ・ 浴室（シャワー室、脱衣室を含む）系統 ・  
空気調和設備の当該項目による。  
次のダクトは保温を行う。  
・ 外気取入れ用ダクトの保温要 （保温の厚さ25mm、範囲は図示による）  
・ 排気用ダクトの保温要 （保温の厚さ25mm、範囲は図示による） ※外壁より1m  
・ 多湿箇所のダクトの保温要 （保温の厚さ50mm、範囲は図示による）  
・ 厨房及び湯沸室の排気ダクトの保温要 （保温の厚さ50mm（RW）、範囲は図示による）

・ 亜鉛鉄板 ・ 普通鋼板（厚1.6mm）  
・ 天井取付（ ・ スリット形 ・ パネル形 ）  
・ 壁取付（ ・ スリット形 ・ パネル形 ） ・  
・ 電気式（遠隔復帰 ・ 要 ・ 不要） ・ ファイヤー式  
及び復帰方式  
4. 排煙風量測定  
建築設備定期検査業務基準書平成20年版（（一財）日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準じる。

・ あり（ ・ 新設 ・ 既設 ） ・ なし  
別図による  
電線及びＥＭケーブルの規格は標準仕様書第4編1.5.1表4.1.11による。  
屋外、屋内露出の配線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。  
天井内隠ぺいの配線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。

原設計図【A2】

工事名

図 名

縮 尺

設 計  
年月日

設 計

高 山 市

花里小学校校舎トイレ改修工事

機械設備工事特記仕様書－2

N.S

番 号

M15 枚の内 02 号

令和 8年 1月

設計室A L L株式会社

一級建築士 第206813号  
古垣内 克幸

[illegible]



D. 高山市特記事項

1. 下請契約について
- 本工事において、下請契約を締結する場合には、「高山市公契約条例」（平成30年4月1日施行）に基づき、当該契約の相手方を高山市内に本店（建設業法（昭和24年法律第100号）に規定する主たる営業所含む。）を有する者の中から選定するよう努めること。
- 下請け業者の選定に当たっては高山市入札参加資格停止の処置がされていないこと。
2. 使用資材について
- 本工事において、工事材料に係る納入契約を締結する場合には、「高山市公契約条例」（平成30年4月1日施行）に基づき、当該契約の相手方は、高山市内に本店を有する者の中から選定するよう努めるとともに、調達する工事材料は高山市内での生産品（高山市内での生産のないものにあつては、岐阜県産）を選定するよう努めること。
3. 実施状況の提出について
- 受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は地域社会への貢献として評価できる項目について、工事完了までに所定の様式により提出することができる。
4. 工事着手前協議について
- 1）本工事の受注者は、契約後1～2週間以内に設計書内容等について、監督員と工事着手前協議を行うこと。
- 2）協議にあたっては、別に定める「施工打ち合わせ記録簿」に協議事項を記入し、打ち合わせに持参すること。なお、協議日の設定については、受注者側が事前に監督員と連絡をとり設定しておくこと。
- 3）協議にあたって、発注者側は監督員及び担当係長又は課長、受注者側は現場代理人及び主任技術者が出席するものとする。
- 4）協議時、「施工打ち合わせ記録簿」の回答（その他）欄は監督員が記入し、最後に確認を行い監督員・担当係長又は課長の確認印を押印し、写しを現場代理人（主任技術者）が受け取ること。
5. 電子メールの利用
- 本工事の施工中における受発注者間の情報共有は、電子メールを利用すること。運用にあたっては「電子メールを活用した情報共有における運用指針」による他、工事着手前協議時に監督員と協議の上、決定するものとする。
6. ディーゼルエンジン車両の適正燃料の使用について
- 1）ディーゼルエンジンを動力とする車両には、JIS規格の軽油を使用すること。
- 2）ディーゼルエンジンを動力とする車両の燃料検査があった場合には、協力すること。
7. 工事書類の簡素化について
- 1）実施にあたっては、市の基準に準じ簡素化に取り組むこと。
8. 施工中の安全確保
- 1）「建築基準法」「労働安全衛生法」その他関係法令等に定めるところによるほか、「建設工事公衆災害防止対策要綱建築工事編」に従うとともに「建築工事安全施工技術基準指針」を参考に施工に伴う災害及び事故の防止に努める。
- 2）安全委員会の組織を構成するとともに、「日常活動（安全朝礼・ミーティング・KY活動・工事打合せ等）」及び「月例行事（安全パトロール・安全協議会・安全大会等）」の実施と記録を行うこと。
9. 事故報告
- 工事施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督員に通報するとともに、事故発生報告書を監督員に提出する。
10. 重点監督対象工事
- 当該工事が高山市重点監督対象工事となった場合は、その取扱いによるものとする。
11. 提出書類・完成図等
- 高山市ホームページ上に示された書類とし、監督員協議によりその一部を省略することができる。
- 作成する

作成しない

完成図

提出部数

各2部（A2各2部 製本及び電子媒体（CD-R））

施工計画書

提出部数

各1部

施工図

提出部数

各1部

保全に関する資料

提出部数

各1部
- 発注図としてCAD製図基準に基づいたCADデータの貸与を受けた場合は、完成図をCADデータで納品すること。なお、完成図として提出する図面については、監督員の指示によるものとする。
12. 写真等
- （1）工事写真

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「営繕工事写真撮影要領（令和5年版）・同解説 工事写真の撮り方（建築設備編）」による他、監督員の指示により撮影し提出する。

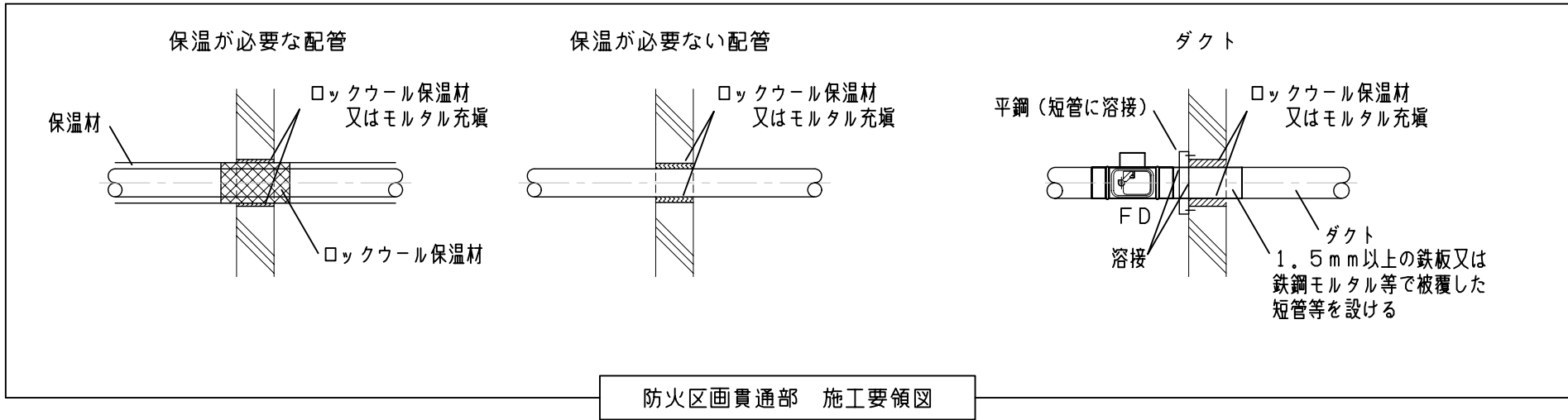
（2）完成写真

下記のことを監督職員に提出する。ただし、原版は撮影業者の保管とする。

15A-80A	撮影箇所数	提出部数	原版の大きさ（mm）
<div><div>カラー</div><div>キャビネ版</div><div>べた焼</div></div> <div>（他に外観正面1カットのみ5枚（カラーキャビネ版）提出）</div>	外部（     ） 内部（     ）	2部	<div>100x125以上</div>
<div>カラー半切木製パネル</div> <div>324x400（mm）</div>	外部（     ） 内部（     ）	2部	
	監督員の指示による		
<div>電子データ</div>	外部（     ） 内部（     ）	2部	<div>200万画素以上</div> <div>300dpi以上</div>
14. その他
- 1）本工事は学校において児童の教育活動と併行して施工をするものであるから、児童への危険防止には細心の注意を払うことはもとより、仮設並びに施工方法について、監督員及び学校関係者と充分協議の上、施工すること。
- 2）断水等は学校の運用に支障とならぬ様、十分な協議等を実施すること。

凡 例

記 号	名 称	備 考	記 号	備 考
-----	給 水 管		<del>既設</del> <del>撤去</del>	既設配管切断撤去後、プラグ止め箇所を示す。
————	排 水 管		<del>既設</del> <del>新設</del> （撤去）	既設配管切断撤去後、新設配管接続箇所を示す。
-----	通 気 管		—X— —X—	既設配管切断後プラグ止め、残置配管箇所を示す。
⊗	洗 淨 弁			
⊕	水 栓 類			
⓪	床上掃除口			
⊙	排水金具			



工事名	花里小学校校舎トイレ改修工事		
図 名	機械設備工事特記仕様書ー4		
縮 尺	N.S	番 号	M15 枚の内 04 号
設 計 年月日	令和 8年 1月		
設 計	設計室A.L.L株式会社	一級建築士 古垣内 克幸	第206813号
高 山 市			

空調 機器一覧表

改修前				改修後			消費電力	管理普通教室棟								特別教室棟				総計	
名 称	種別	記 号	仕 様	種別	記 号	仕 様		1階				2階		3階		1階		3階			
								職員男子	職員女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子		
壁付換気扇	撤去・処分	KF-1	φ200、スタンダードタイプ、電気式シャッター、※本体のみ。	新 設	FE-1	φ200×480m <sup>3</sup> /h、格子タイプ、電気式シャッター。	1φ100V 30w	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
パネルヒーター	取 外	KEH-1	壁掛形、附属品共。点検・清掃共。	再取付	KEH-1	壁掛形、附属品共。	1φ200V 2.0kw	1	1	1	1	1	1	1	1	1	-	1	1	1	11
パネルヒーター	取 外	KEH-2	壁掛形、附属品共。点検・清掃共。	再取付	KEH-2	壁掛形、附属品共。	1φ200V 1.5kw	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	

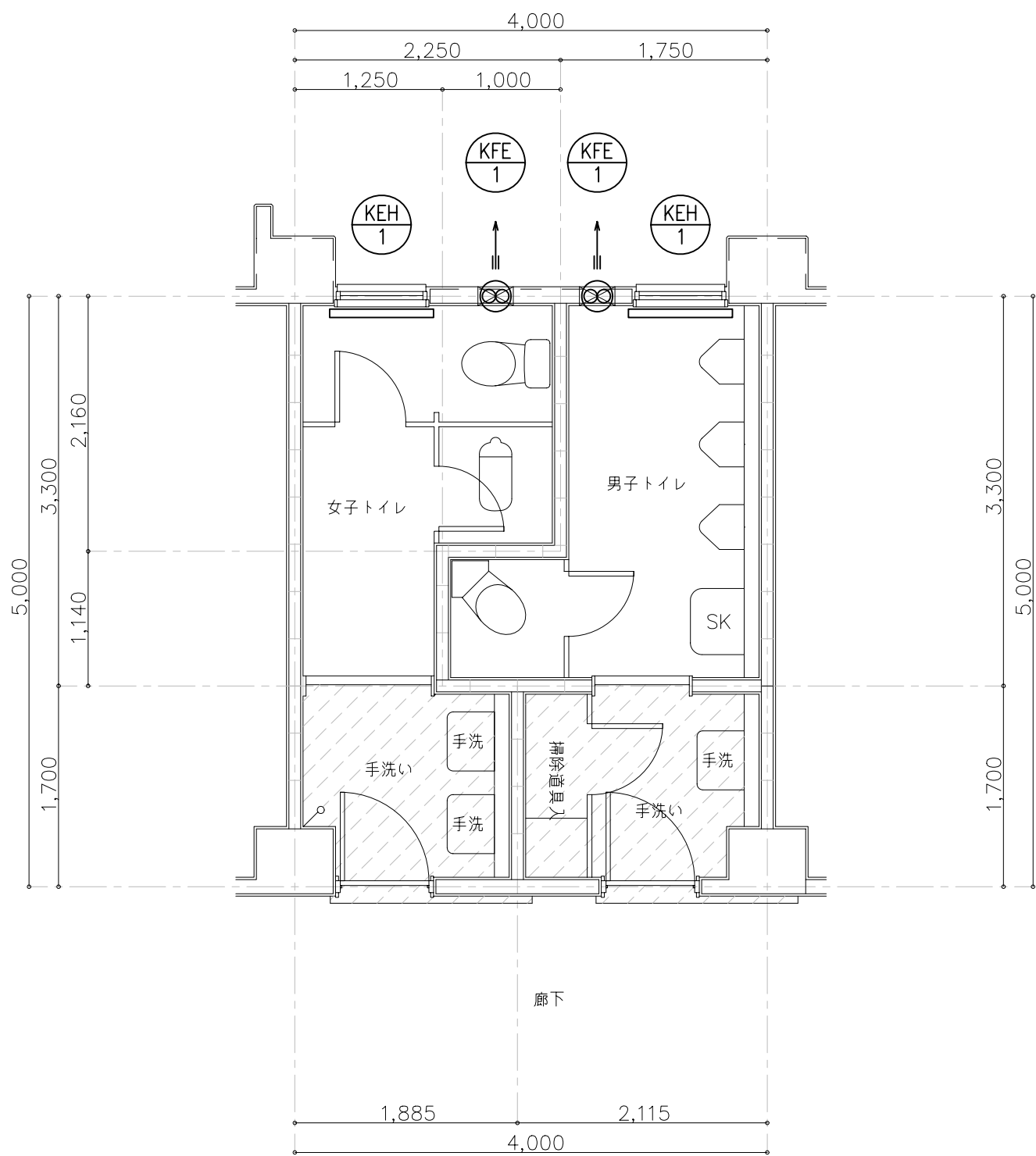
衛生 器具一覧表

名 称	記 号	仕 様	消費電力	参考品番（TOTO）	参考品番（LIXIL）	管理普通教室棟								特別教室棟				総計
						1階				2階		3階		1階		3階		
						職員女子	職員男子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	
壁掛便器	C-1	パブリック向け。床置床排水便器。リモデル対応。フラッシュバルブ式（床給水）。 附属金具一式。温水洗浄暖房便座（蓋あり・本体操作）。棚付二連紙巻器（SUS製）。	1φ100V 350w	CFS494MNHNS、T56PH、TH343R、HP4307、 TCF587、YH701。	C-P25H、CF-T7114A、CF-115-1、CF-115-2、 CF-103BB、CW-PB21-NE、K-T001A、CF-63HST。	2	1	2	4	2	4	2	4	2	3	2	3	31
壁掛小便器	U-1	低リップ形。壁排水。自動洗浄弁（乾電池式）。排水ソケット（塩ビ管用）。		UFH500、TEA62ADS、T9R。	U-406RU、OKU-AT131SD、UF-506BWP、SF-10E。	-	2	4	-	4	-	4	-	4	-	4	-	22
掃除用流し	SK-1	バック付。リムカバー。20mm送り座付横水栓。アングル形止水栓（給水ホース）。 床排水金具（ストラップ）。取付金具。		SK22A、TK22、T23AE20C、TN114、T37SGEP、T9R。	S-202A、LF-7E-19-U、SF-202、 SF-20SAF-P、SF-10E。	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11
L型手すり	TR-1	700×700×120。樹脂被覆タイプ。取付金具。		T112CL10。	KF-920AE70D12J。	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
小便器用手すり	TR-2	600×550～600×390～470。樹脂被覆タイプ。取付金具。		T112CU22。	KF-701AEJ。	-	1	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	6
化粧棚	MC-1	320×110×60。壁付。ステンレス製。		YKH402R。	.....	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
手洗流水栓	F-1	乾電池式。壁付。		TEL20DSA。	AM-160CD。	-	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
掃除流水栓	F-2	横水栓。レバー式。20mm。		T23AEQ20。	LF-7KEZ-19-U。	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	4

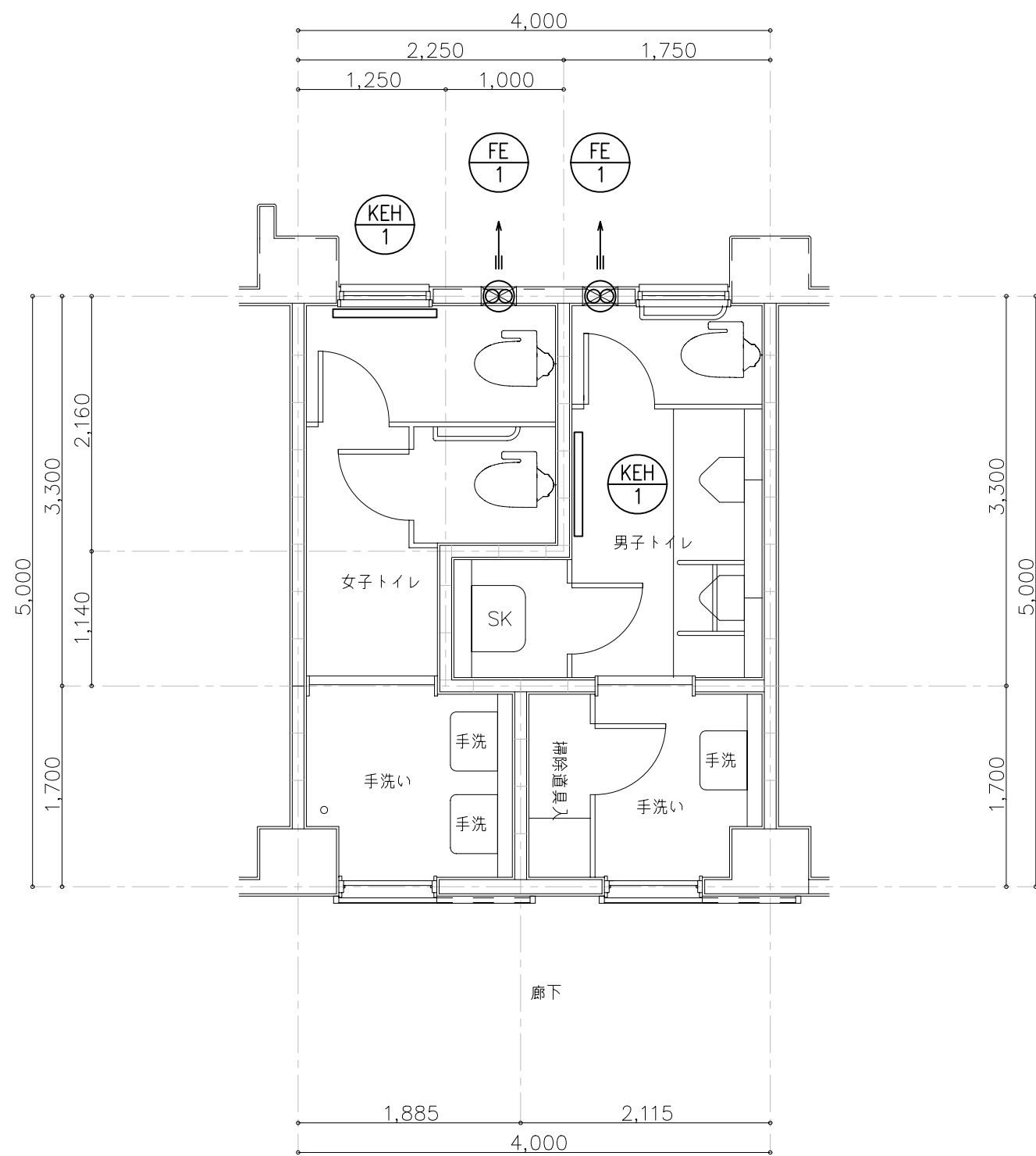
原設計図  
【A2】

工 事 名	花里小学校校舎トイレ改修工事		
図 名	空調機器一覧表・衛生器具一覧表		
縮 尺	N.S	番 号	M15 枚の内 05 号
設 計 年月日	令和 8年 1月		
設 計	設計室 A L L 株式会社	一級建築士 古垣内 克幸	第206813号
高 山 市			

改修前



改修後

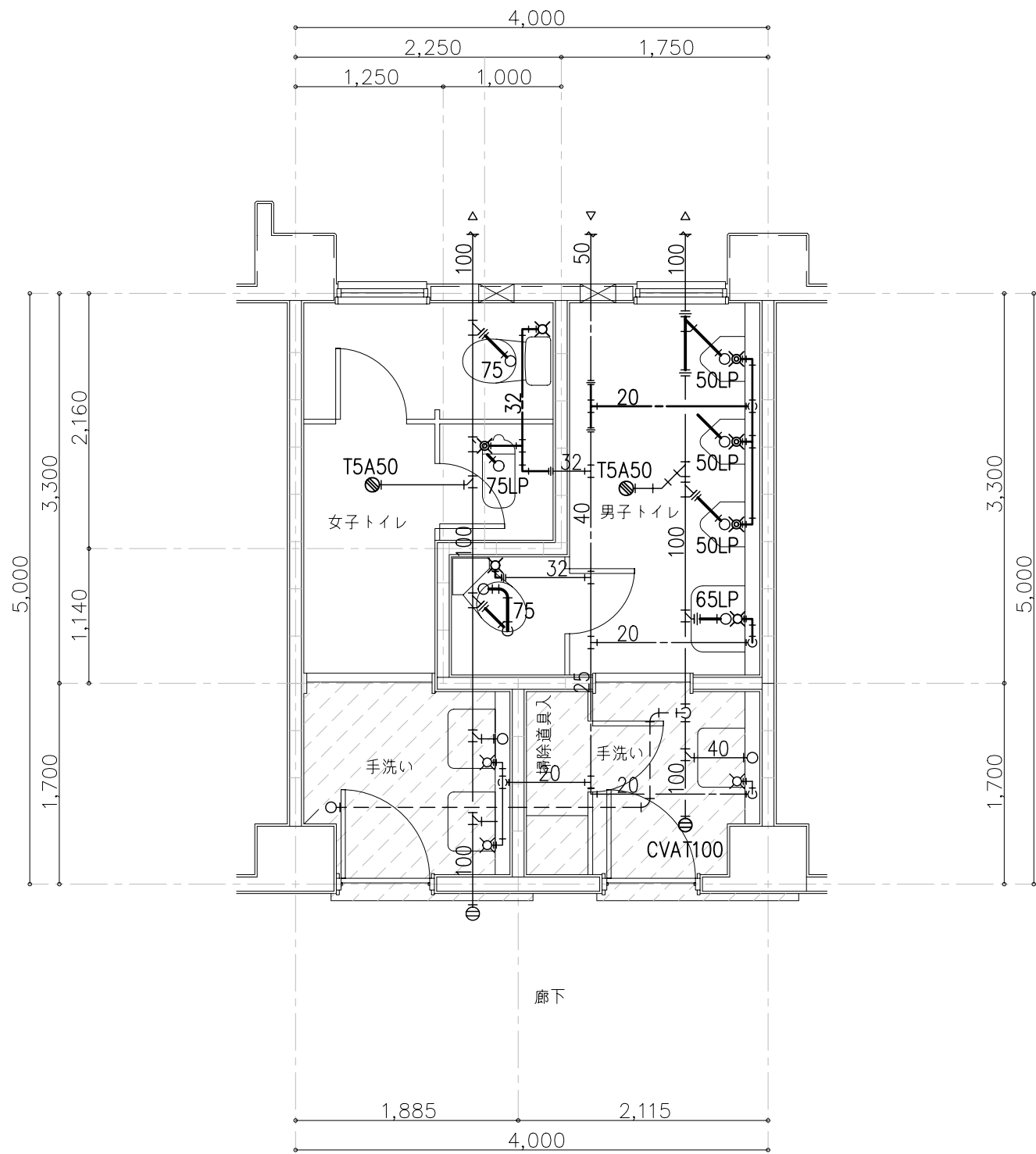


原設計図  
【A2】

工事名	花里小学校校舎トイレ改修工事		
図名	管理普通教室棟 職員トイレ 空調平面図		
縮尺	1/50	番号	M15 枚の内 06 号
設計年月日	令和 8年 1月		
設計	設計室 A L L 株式会社	一級建築士	第206813号 古垣内 克幸
高 山 市			

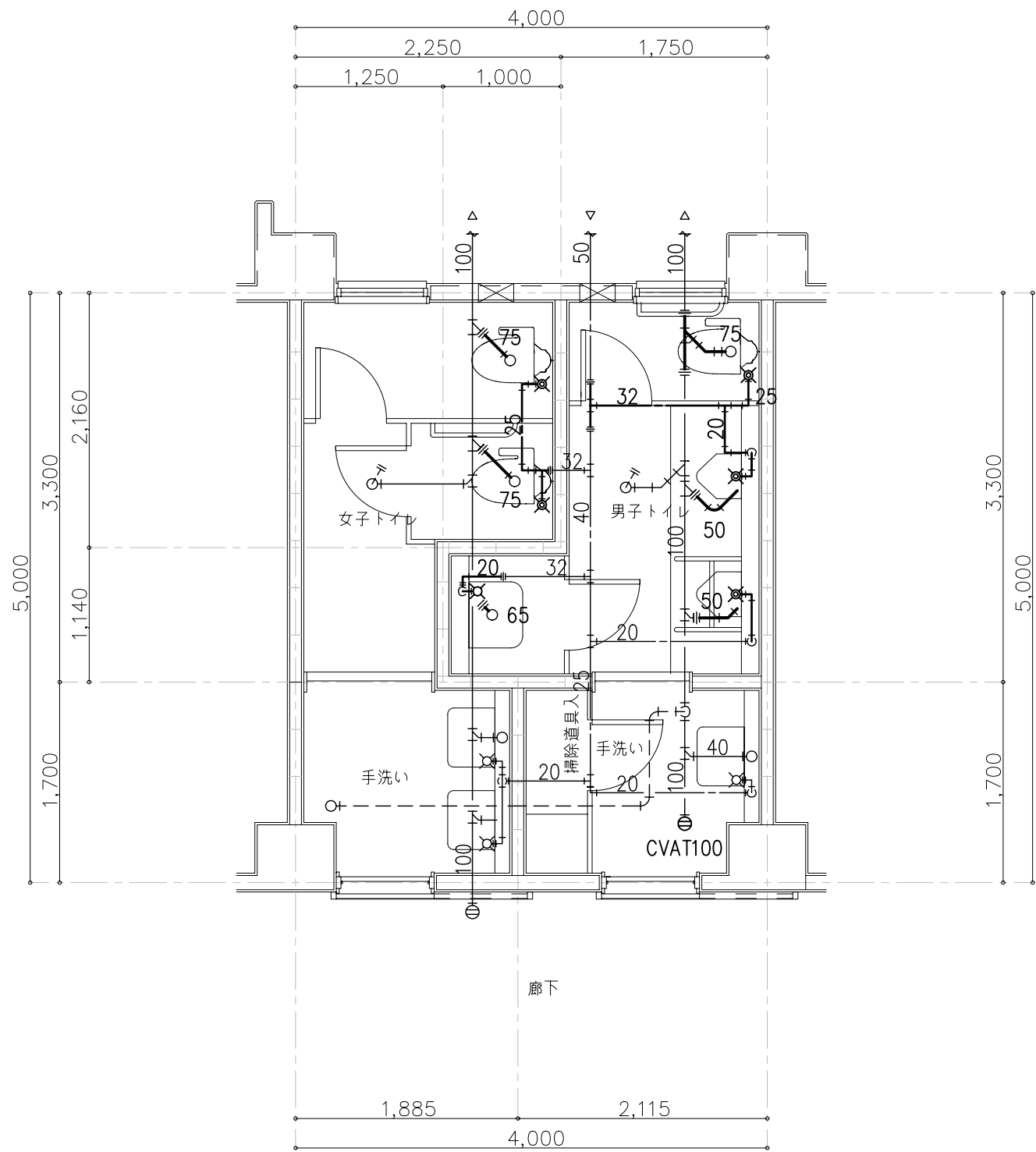


改修前



便 所		女子	男子	種 別
懸掛便器	L T式・附属品共	1	1	撤去・処分
和風便器	F V式・附属品共	2	-	撤去・処分
床置小便器	F V式・附属品共	-	3	撤去・処分
掃除用流し	バック付・附属品共	-	1	撤去・処分

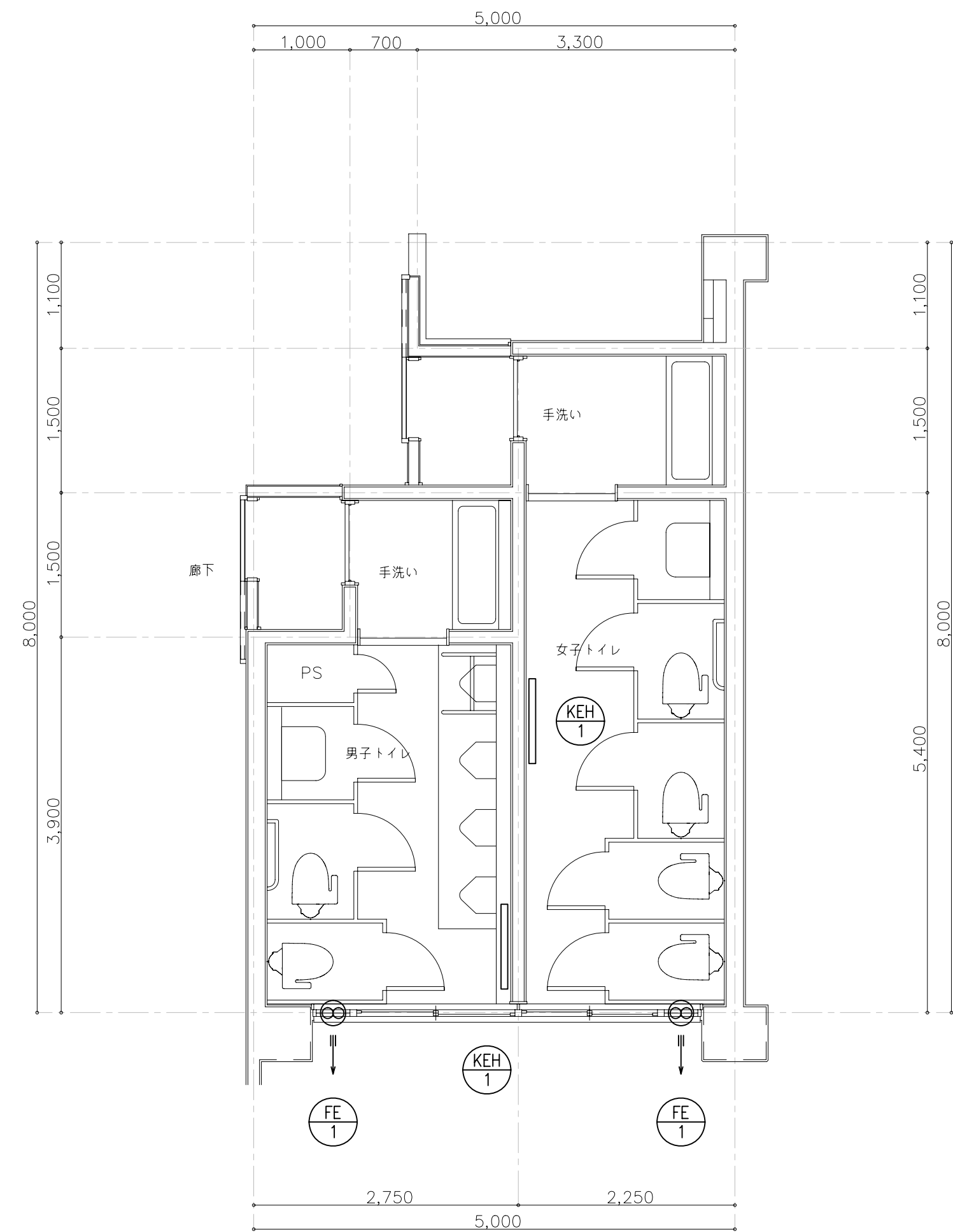
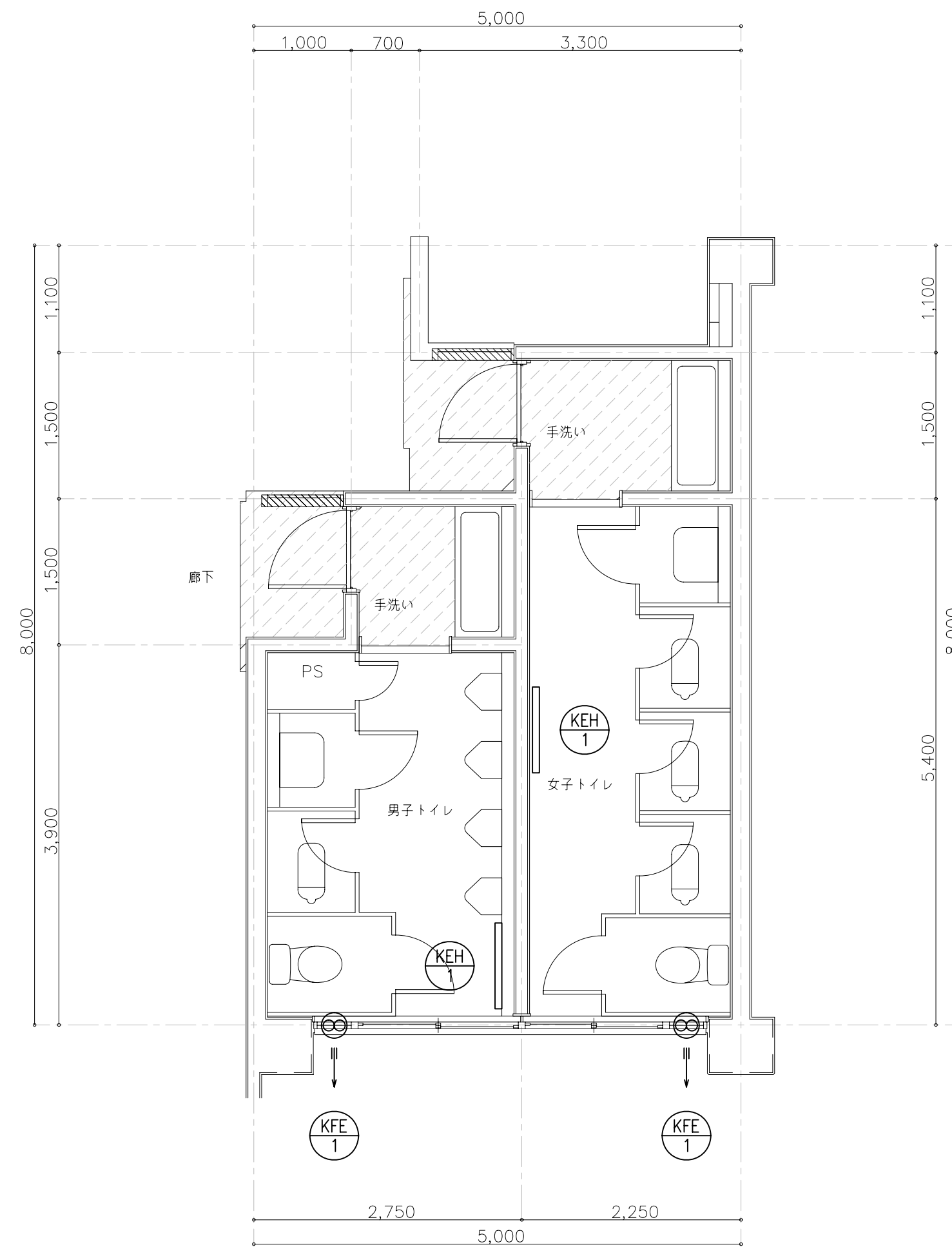
改修後



便 所		女子	男子	種 別
懸掛便器	C-1	2	1	新設
L型手すり	TR-1	1	1	新設
壁掛小便器	U-1	-	2	新設
小便器用手すり	TR-2	-	1	新設
掃除用流し	SK-1	-	1	新設
化粧棚	MC-1	1	1	新設

原設計図  
【A2】

工事名	花里小学校校舎トイレ改修工事		
図 名	管理普通教室棟 職員トイレ 衛生平面図		
縮 尺	1/50	番 号	M15 枚の内 07 号
設 計 年月日	令和 8年 1月		
設 計	設計室A L L株式会社	一級建築士 第206813号 古垣内 克幸	
高 山 市			



工事名	花里小学校校舎トイレ改修工事		
図 名	管理普通教室棟トイレ 空調 1・2・3 階平面図		
縮 尺	1/50	番 号	M15 枚の内 08 号
設 計 年月日	令和 8年 1月		
設 計	設計室 A L L 株式会社		一級建築士 第206813号 古垣内 克幸
図 号	高 山 市		

原設計図  
【A 2】



工事名	花里小学校校舎トイレ改修工事		
図 名	管理普通教室棟トイレ 衛生1階平面図		
縮 尺	1/50	番 号	M15 枚の内 09 号
設 計 年月日	令和 8年 1月		
設 計	設計室 A L L 株式会社	一級建築士 古垣内 克幸	第206813号
高 山 市			



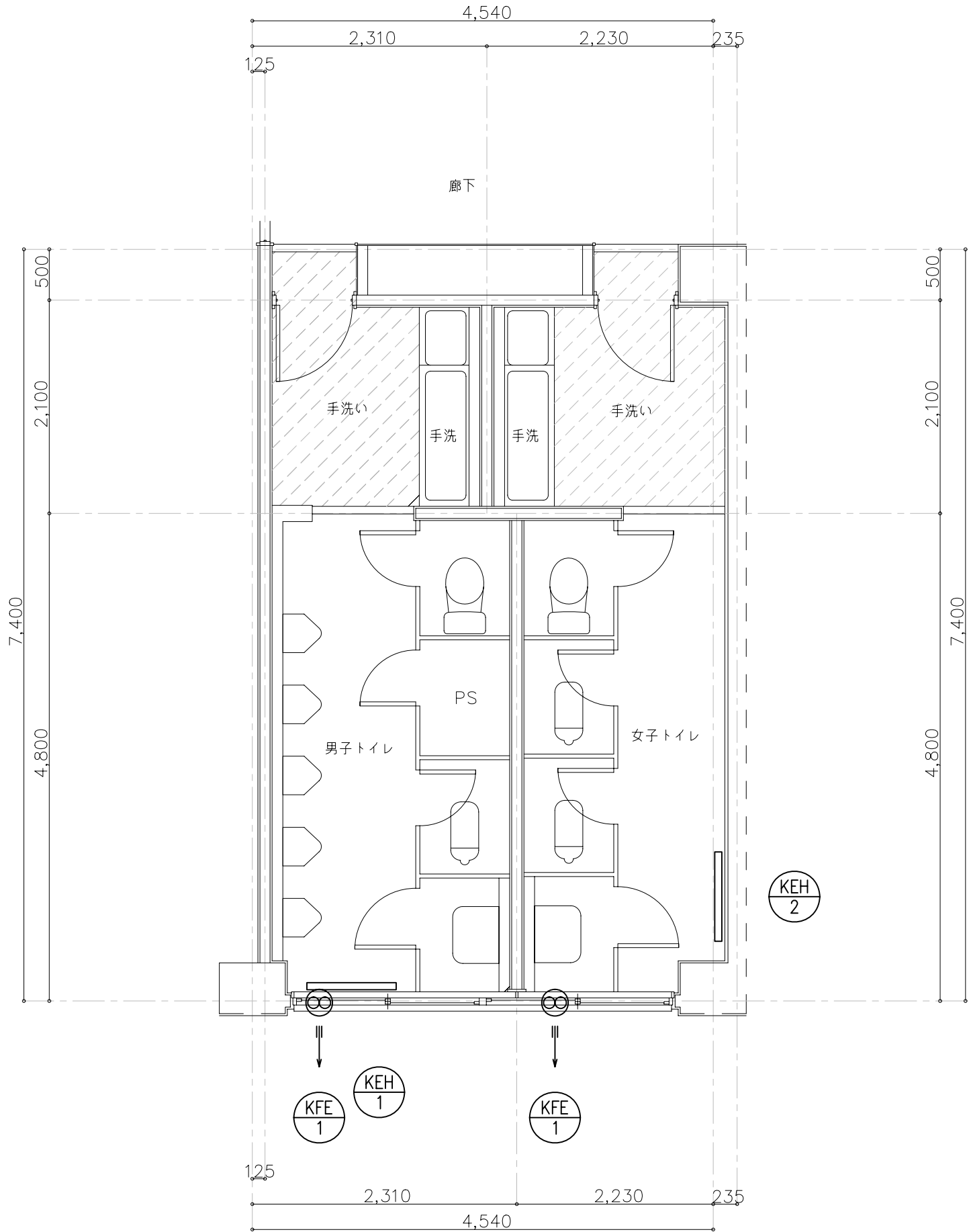
改修後



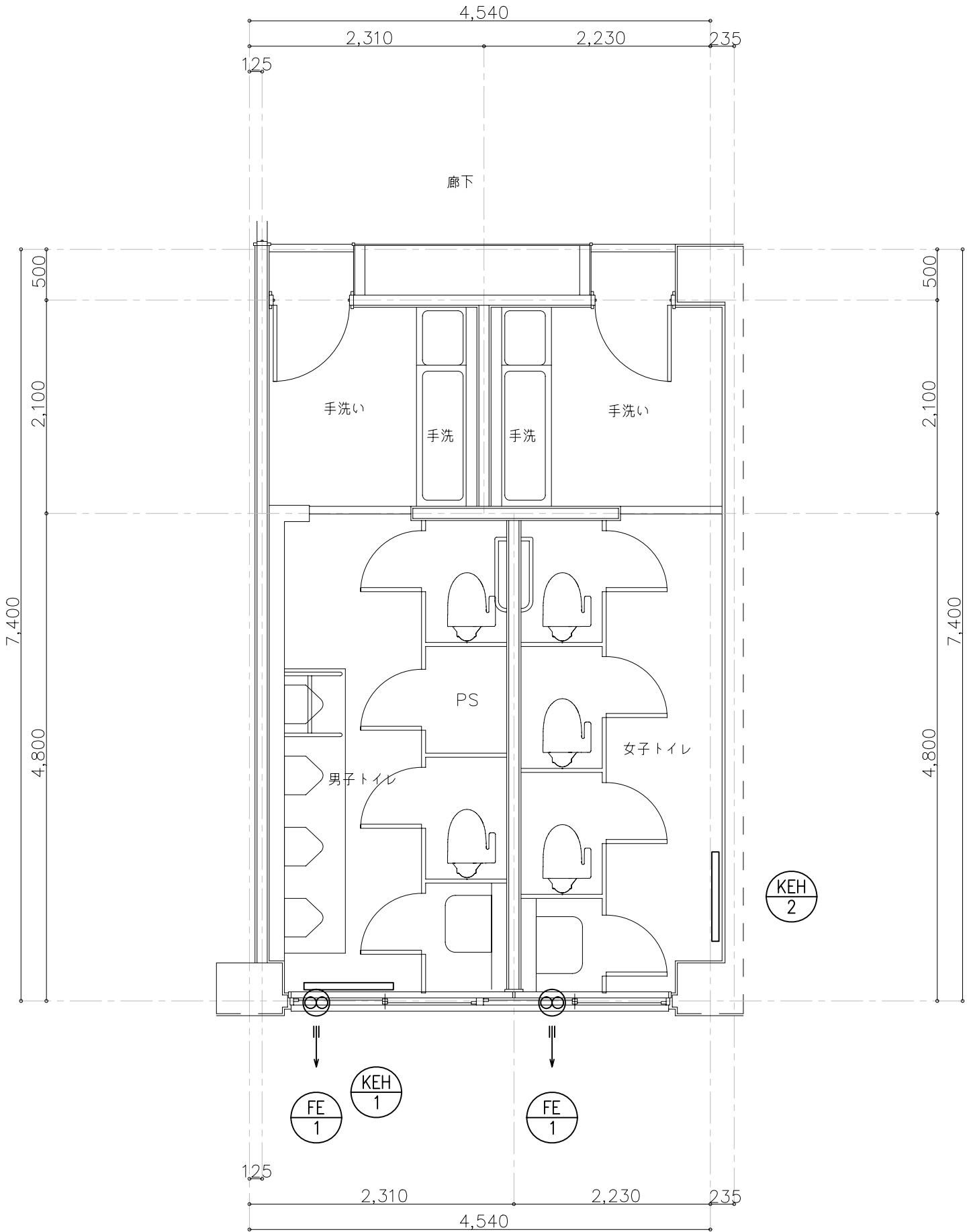
工事名	花里小学校校舎トイレ改修工事		
図 名	管理普通教室棟トイレ 衛生 2・3 階平面図		
縮 尺	1/50	番 号	M15 枚の内 10 号
設 計 年月日	令和 8年 1月		
設 計	設計室 A L L 株式会社	一級建築士 古垣内	第206813号 克幸
高 山 市			

原設計図  
【A2】

改修前



改修後

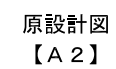


工事名	花里小学校校舎トイレ改修工事		
図 名	特別教室棟トイレ 空調 1 階平面図		
縮 尺	1/50	番 号	M15 枚の内 11 号
設 計 年月日	令和 8 年 1 月		
設 計	設計室 A L L 株式会社	一級建築士 第206813号 古垣内 克幸	
高 山 市			

原設計図  
【A2】

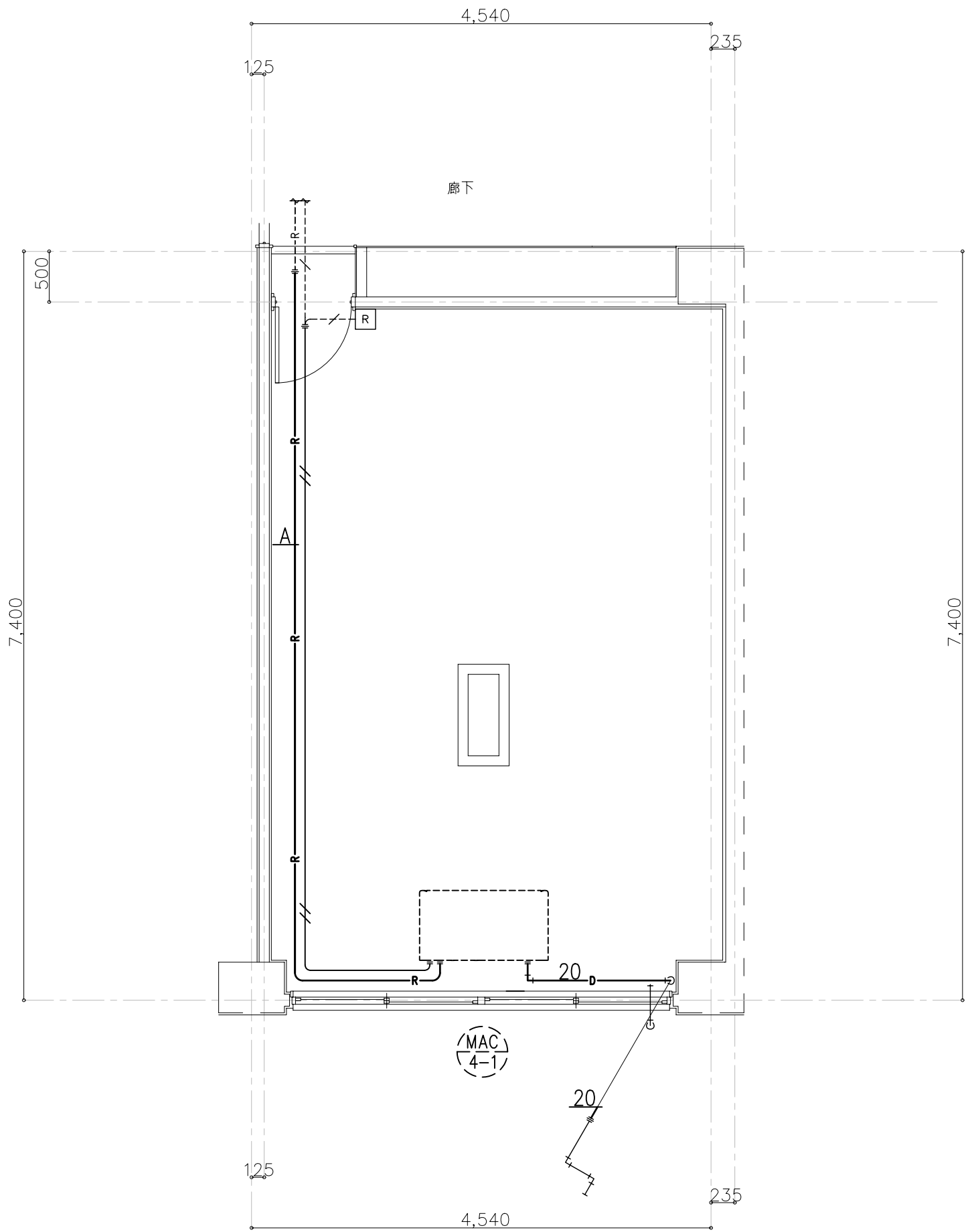


便 所		男子	女子	種 別
壁掛便器	C-1	2	3	新設
L型手摺り	TR-1	1	1	新設
壁掛小便器	U-1	4	-	新設
小便器用手摺り	TR-2	1	-	新設
掃除用流し	SK-1	1	1	新設
手洗流水栓	F-1	1	1	新設
掃除流水栓	F-2	1	1	新設

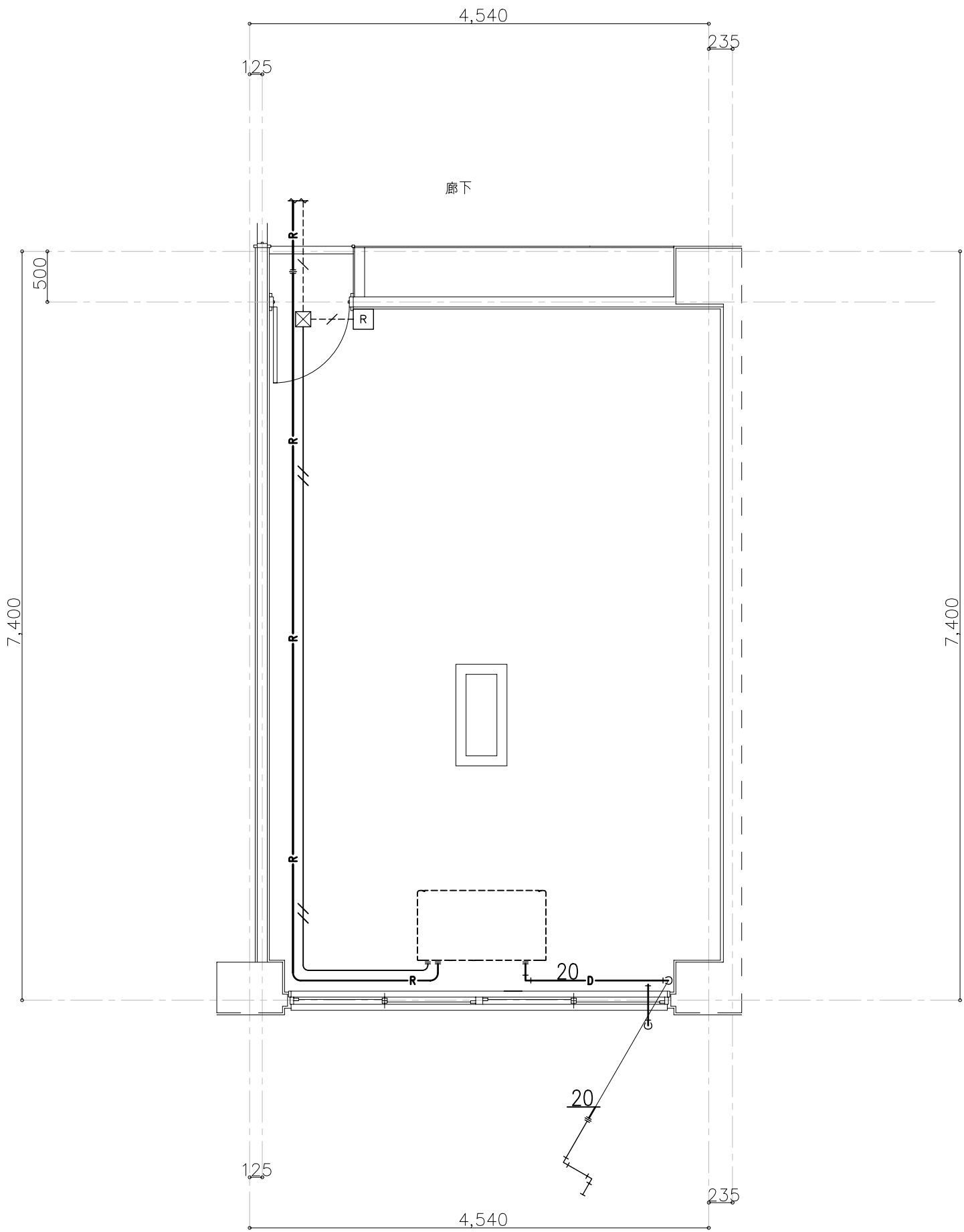


工事名	花里小学校校舎トイレ改修工事		
図 名	特別教室棟トイレ 衛生 1階平面図		
縮 尺	1/50	番 号	M15 枚の内 12 号
設 計 年月日	令和 8年 1月		
設 計	設計室 A L L 株式会社		一級建築士 第206813号 古垣内 克幸
高 山 市			

改修前



改修後

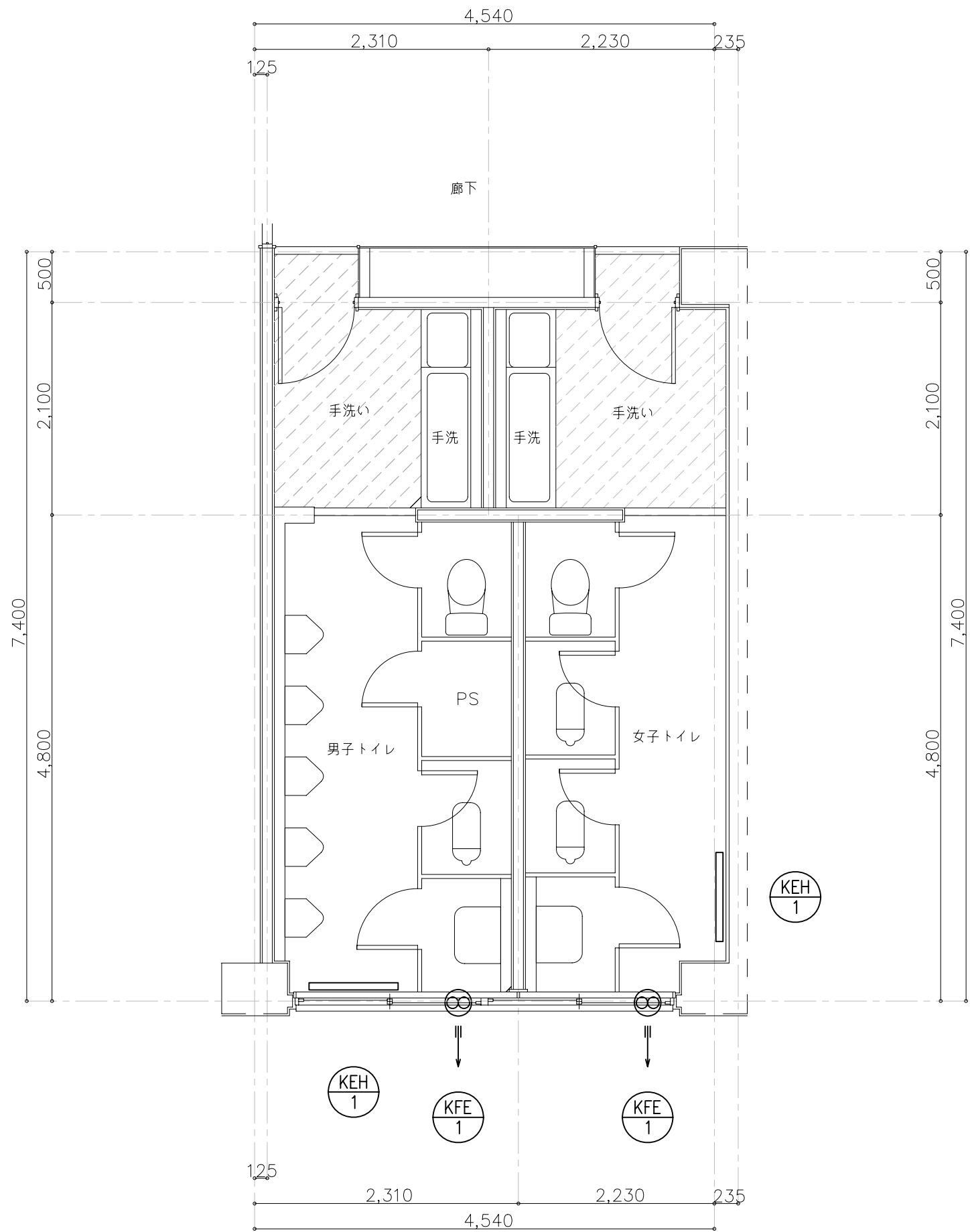


冷媒管・制御配線他				
名 称	記 号	施工箇所	機器仕様・配管・配線種	種 別
空調室内機	MAC 4-1	天吊形	天吊形。冷房：8.0kw。暖房：9.0kw。参考品番：FXYHP80MG	取外・再取付
冷媒管	—R—	屋内露出 (化粧ダクト内)	ガス管：φ15.9 (20mm) 液管：φ9.5 (10mm)	撤去・新設
ドレン管	—D—	屋内露出	結露防止層付硬質強化ビニル管	撤去・新設
室内外連絡線 (マルチエアコン) 集中リモコン線	—/—	冷媒共巻	EM-KPEE-S 1,25mm <sup>2</sup> -1P	撤去・新設
ブルボックス	☒	屋内露出	既設配線結線部。150×150×100。	新設
個別リモコン	☒	室内	既設品	現状維持

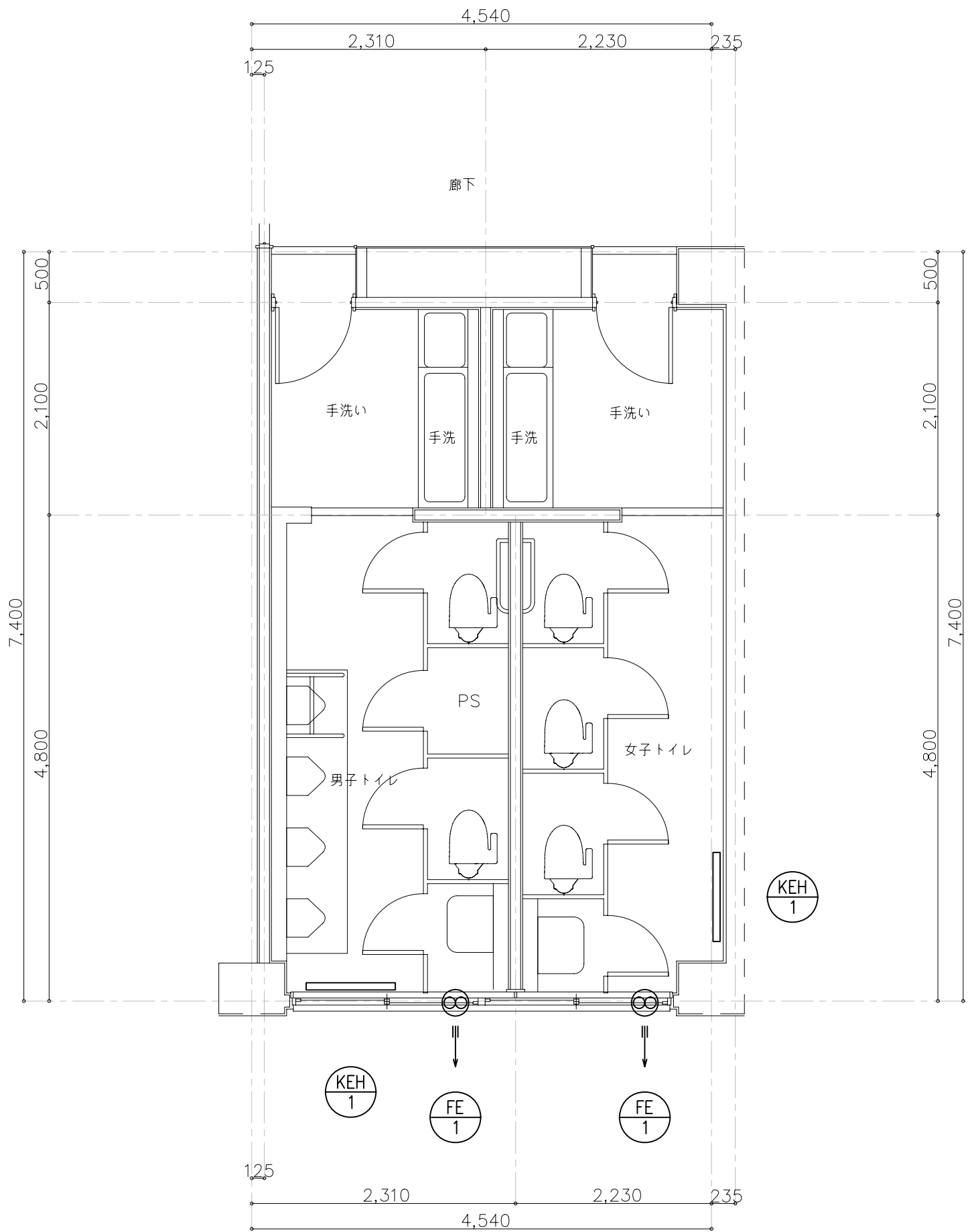
工事名	花里小学校校舎トイレ改修工事		
図 名	特別教室棟トイレ 空調2階平面図		
縮 尺	1/50	番 号	M15 枚の内 13 号
設 計 年月日	令和 8年 1月		
設 計	設計室 A L L 株式会社	一級建築士 古垣内 克幸	第206813号
高 山 市			

原設計図  
【A2】

改修前



改修後

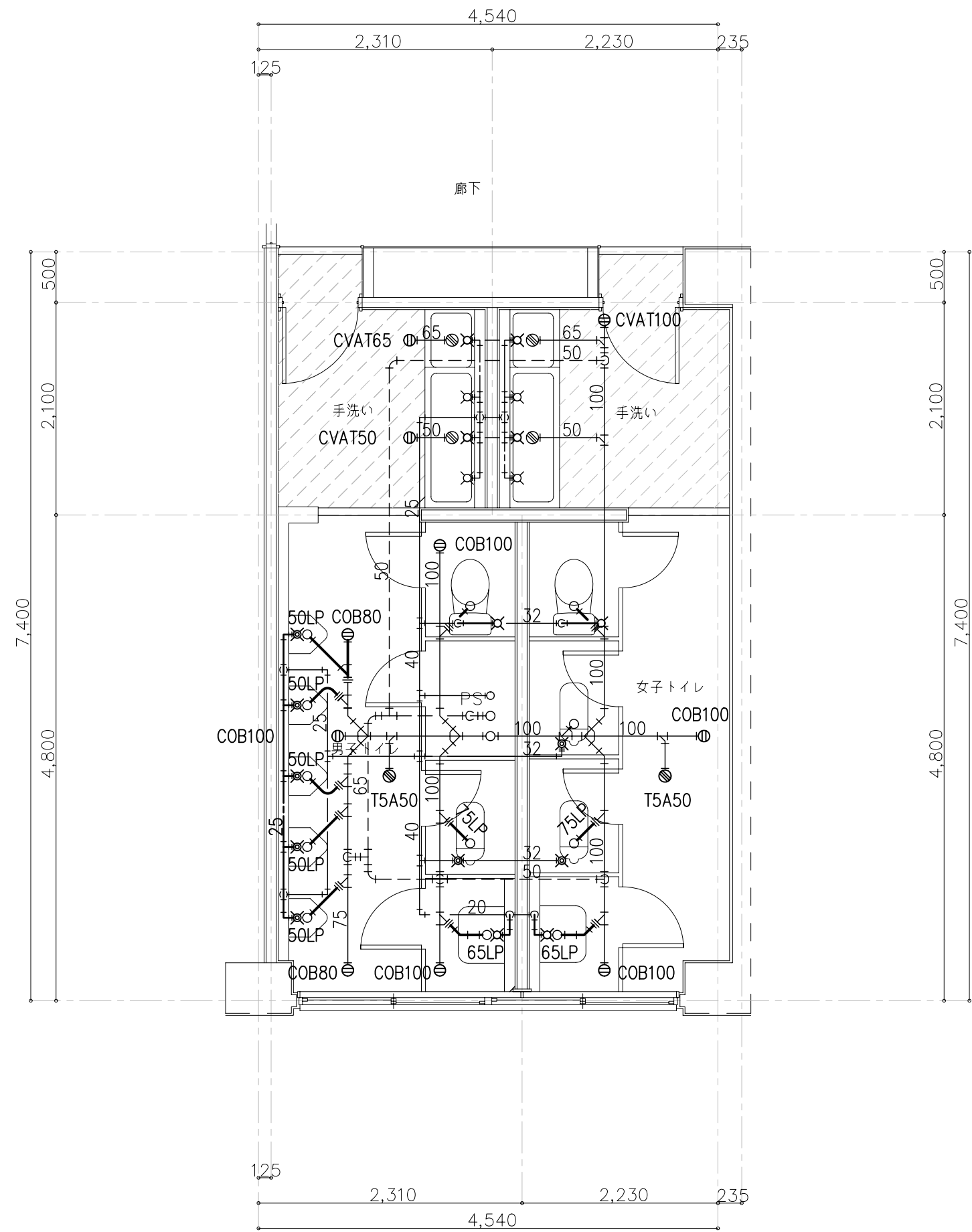


工事名	花里小学校校舎トイレ改修工事		
図 名	特別教室棟トイレ 空調3階平面図		
縮 尺	1/50	番 号	M15 枚の内 14 号
設 計 年月日	令和 8年 1月		
設 計	設計室A L L 株式会社	一級建築士	第206813号 古垣内 克幸
高 山 市			

原設計図  
【A2】

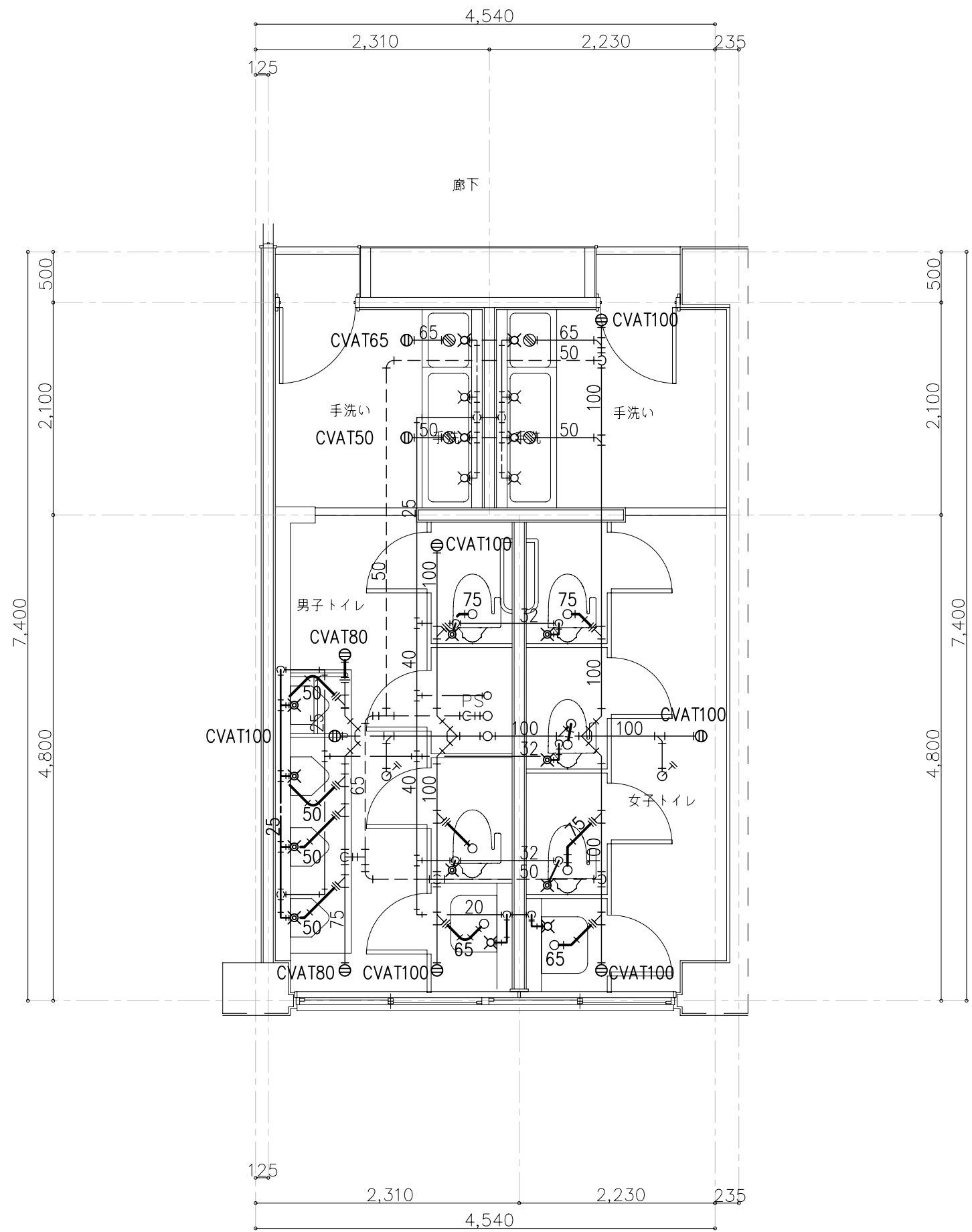


改修前



便 所		男子	女子	種 別
腰掛便器	L T式・附属品共	1	1	撤去・処分
和風便器	F V式・附属品共	1	2	撤去・処分
床置小便器	F V式・附属品共	5	-	撤去・処分
掃除用流し	バック付・附属品共	1	1	撤去・処分
手洗流水栓	ハンドル式・13mm	1	1	撤去・処分
掃除流水栓	ハンドル式・19mm	1	1	撤去・処分

改修後



便 所		男子	女子	種 別
腰掛便器	C-1	2	3	新設
L型手摺り	TR-1	1	1	新設
壁掛小便器	U-1	4	-	新設
小便器用手摺り	TR-2	1	-	新設
掃除用流し	SK-1	1	1	新設
手洗流水栓	F-1	1	1	新設
掃除流水栓	F-2	1	1	新設

原設計図  
【A2】

工 事 名	花里小学校校舎トイレ改修工事			
図 名	特別教室棟トイレ 衛生3階平面図			
縮 尺	1/50	番 号	M15 枚の内	15 号
設 計 年月日	令和 8年 1月			
設 計	設計室 A L L 株式会社		一級建築士 第206813号 古垣内 克幸	
高 山 市				